

**令和元年度（2019年度）**

**鎌倉市民意識調査報告書**

**令和2年（2020年）4月**

**鎌倉市**



# 目 次

## 第1章 調査の概要

1 調査の枠組みについて .....	1
2 調査票回収状況と回収率について .....	1
3 標本誤差について .....	2
4 回答者の基本属性 .....	3
5 集計と分析について .....	6
6 各質問の回答結果が示す市民意識 .....	7
7 調査結果概要 .....	9

## 第2章 調査結果

1 各施策の結果一覧.....	43
2 自由記述一覧 .....	97
3 集計データ.....	126

## 参考資料

- ・令和元年度鎌倉市民意識調査アンケート用紙



## 第1章 調査の概要



## 1 調査の枠組みについて

### (1) 調査目的

社会情勢の変化を把握するとともに、行政評価等の参考資料とするため、第3次鎌倉市総合計画第3期基本計画（以下、「基本計画」）の51の「施策の方針」及び4つの「計画の推進に向けた考え方」のうち3つ（以下「54の施策」という。）について、市の取組に対する「認知度」、鎌倉市民が感じている費用対効果の「妥当性」、市民ニーズ、重要度の主に4点及びその他、鎌倉市で取り組む施策のうち、特に伺いたい点について調査しました。

### (2) 対象

令和2年(2020年)1月1日現在、鎌倉市在住の18歳以上の市民のうち、2,000人を単純無作為で抽出し、対象としました。

### (3) 調査の構成

調査の構成は、以下のとおりです。

○ 基本属性	8問
○ 第3次鎌倉市総合計画第3期基本計画の「施策の方針」ごとに「仕事の効果」、「お金の使い方」及び「今後の進め方」する設問	54問
○ 「施策の方針」間の重要度指標としての設問	1問
○ 雇用環境に関する質問	1問
○ 仕事と生活のバランスに関する質問	1問
○ 子育ての情報に関する質問	1問
○ 観光に関する質問	2問
○ 電力会社の選択に関する質問	1問
○ 鎌倉市の「まちのイメージ」に関する質問	1問
○ 鎌倉に住み続けることへの意識とその理由	1問
○ 自由記入欄	1問

### (4) 調査の実施方法

令和2年(2020年)2月12日(水)から3月5日(木)までを調査期間とし、郵送配付、郵送回収により実施しました。

## 2 調査票回収状況と回収率について

調査票の回収状況と回収率は、以下のとおりです。

【表1】 調査票回収状況及び回収率

配布数	回答数	有効回答数	有効回答回収率
2,000通	634件	625件	31.3%

### 3 標本誤差について

今回の鎌倉市民意識調査は、令和2年(2020年)1月1日時点で18歳以上の鎌倉市民という母集団から2,000名を標本として抜き出し、それについて調査し、数学的(確率論的)に母集団の性質を推測しています。そのため一定の範囲で誤差が含まれる可能性があります。誤差については下記の式で示されます。

$$\text{標本誤差(\%)} = k \times \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p \times (1-p)}{n}}$$

N=母集団体

(令和2年(2020年)1月1日現在の鎌倉市の18歳以上人口：151,625人)

n=比率算出の基数(抽出サンプル数：2,000名 有効回答者数：625人)

p=回答の比率(%)

k※=1.96

※ 信頼度は、統計的な慣習として95%とすることが多く、信頼度95%ならばkは1.96となる。

【表2 今回の調査における標本誤差】

n \ p	10%	20%	30%	40%	50%
	または 90%	または 80%	または 70%	または 60%	
625 (実際の有効回答数)	2.3%	3.1%	3.6%	3.8%	3.9%
1,000 (回答率 50%の場合)	1.9%	2.5%	2.8%	3.0%	3.1%
1,600 (回答率 80%の場合)	1.5%	1.9%	2.2%	2.4%	2.4%

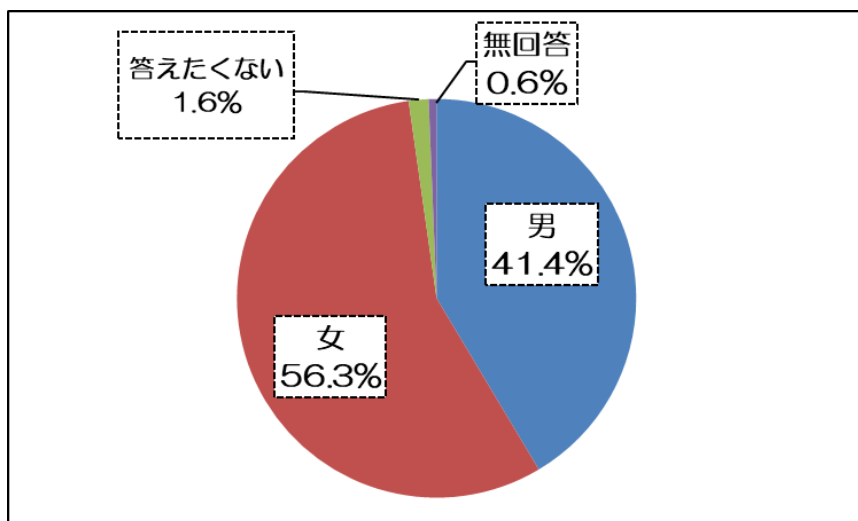
今回の実際の質問にあてはめると、例えば、今回の調査の質問に答えた人(有効回答者数)は625人(=回答数(n))であり、そのうち、80.0%(=回答の比率(p))の人が「効果がちょうどよい」と答えた場合、今回の調査対象となった18歳以上の鎌倉市民の人口は151,625人(=N, 令和2年(2020年)1月1日現在, 住民基本台帳より)であるため、それぞれの数値を上記公式に代入すると、±3.1%が誤差の範囲となります。つまり、回答の割合が80%であった場合には、真の「効果がちょうどよい」の割合は、80.0%±3.1%=76.9%~83.1%の間と考えられます。



#### 4 回答者の基本属性（問1～問8）

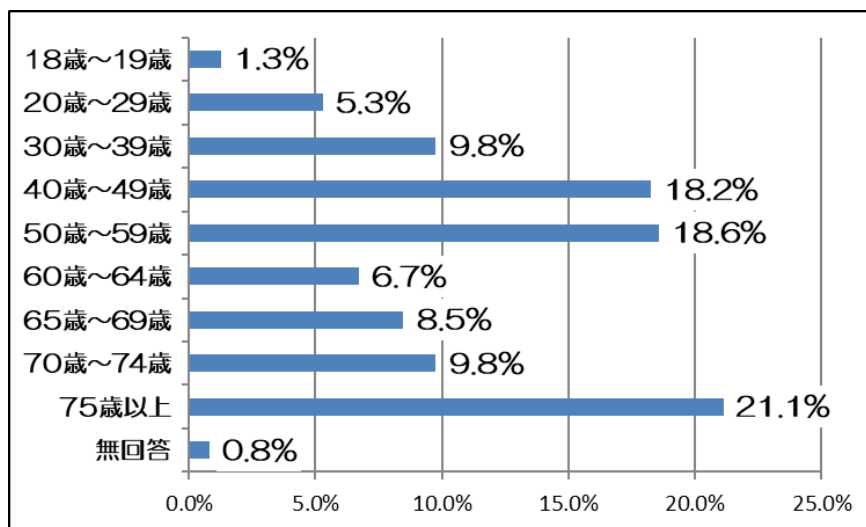
回答者の性別、年齢分布等の基本的な属性については、次のとおりです。

##### (1) 性別 (n=625)



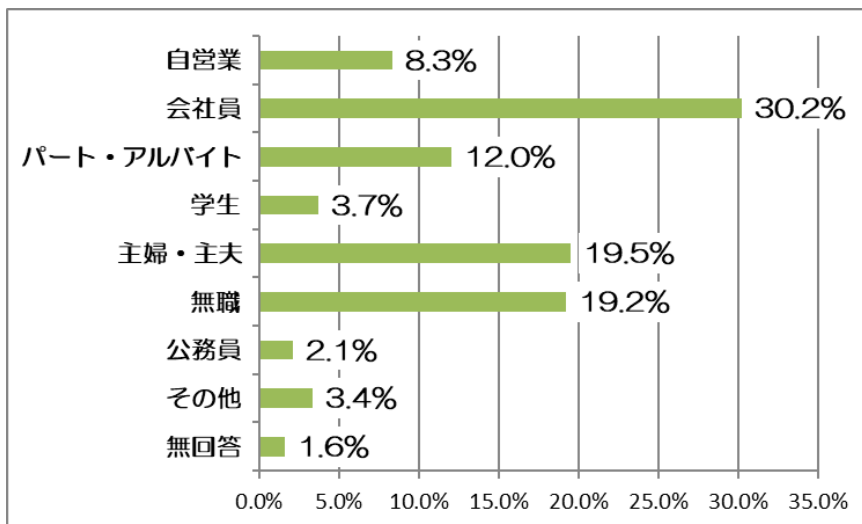
【図 1-1】 男女比率

##### (2) 年齢分布 (n=625)



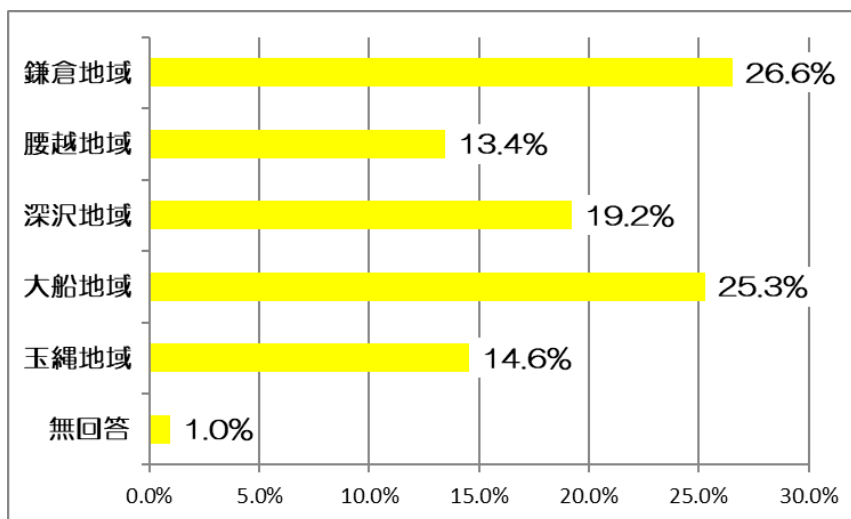
【図 1-2】 年齢構成比率

(3) 職業 (n=625)



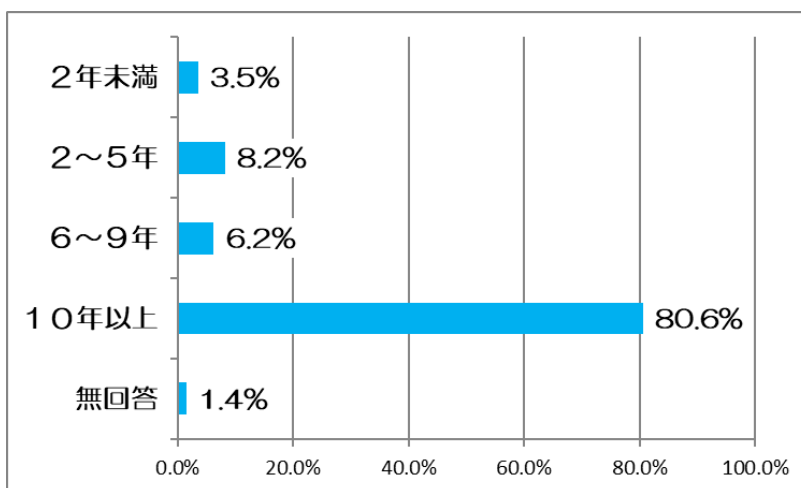
【図 1-3】 職業比率

(4) 住まい (n=625)



【図 1-4】 居住地域比率

(5) 鎌倉市の居住期間 (n=625)



【図 1-5】 回答者の居住期間比率

(6) 家族構成 (n=642)

【表 3-1】 家族構成

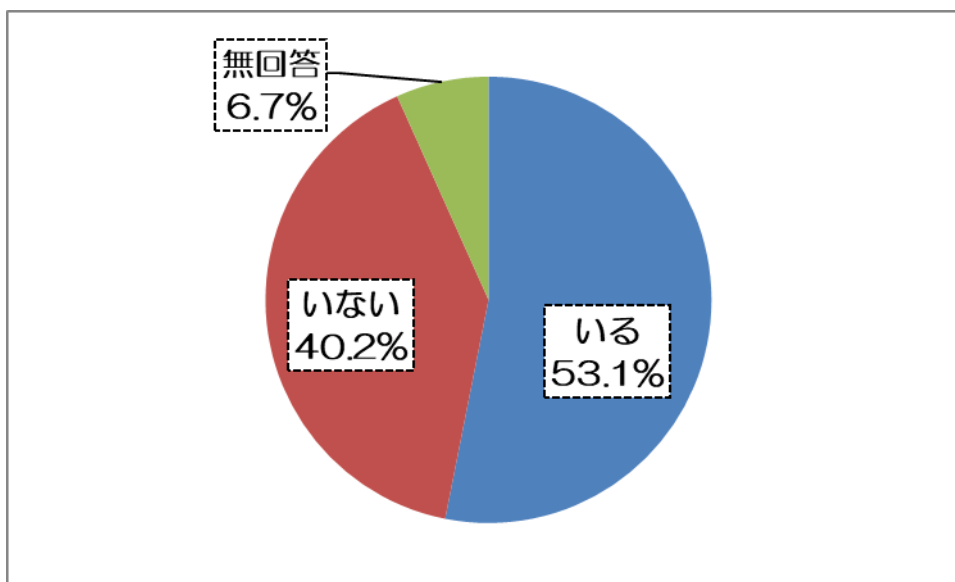
ひとり暮らし	67
夫婦のみ (あなたと配偶者のみ)	171
親と子の世帯 (5歳以下のこどもがいる)	46
親と子の世帯 (6歳以上18歳以下のこどもがいる)	107
親と子の世帯 (18歳以下のこどもがいない)	141
三世帯世帯 (親と子と同居、子と孫と同居など)	60
その他	50
回答総数	642

(7) 家族構成員 (n=289)

【表 3-2】 家族構成員数

保育所・認定こども園・幼稚園に通園している方	46
小学校に通学されている方	78
中学校に通学されている方	53
0～5歳の方で障害のある方	2
6～17歳の方で障害のある方	5
18～64歳の方で障害のある方	19
65歳以上の方で障害のある方	13
65歳以上の方で介護保険の要支援及び認定を受けている方	73
回答総数	289

(8) 身近に頼れる方が住んでいる (n=625)



【図 1-6】 回答者の身近に頼れる人が住んでいる比率

## 5 集計と分析について

### (1) アンケート票 (問9)

基本計画の「54 の施策の方針等」について、それぞれ「令和元年度の主な事業」及び「この施策にかかる経費」を示し、この情報と日頃の印象をもとに、次の選択肢から回答をいただきました。

【表 4-1】 アンケート「仕事の効果」の回答選択肢及びその説明

仕事の効果	1	必要以上の効果	効果があったことは良いが、必要以上の効果を出しているのでやりすぎていると思う。
	2	ちょうどよい	市民にとって、ちょうどよい効果が得られていると思う。
	3	効果不十分	効果が得られていないので、もっと力を入れて取り組むべき。
	4	取組を知らない・分からない	そもそも、取組自体について知らない、よく分からない。

【表 4-2】 アンケート「お金の使い方」の回答選択肢及びその説明

お金の使い方	1	使いすぎ	この施策にお金(税金)をかけ過ぎだと思う。
	2	ちょうどよい	この施策にかけるお金(税金)としては、ちょうど良いと思う。
	3	足りない	この施策にはもっとお金(税金)をかける必要があると思う。

【表 4-3】 アンケート「今後の進め方」の回答選択肢及びその説明

今後の進め方	1	もっと力を入れるべき	この施策にこれからもっと力を入れて取り組んでいくべきだと思う。
	2	現状のままでよい	この施策はこれまでどおり、取り組んでいけばよいと思う。
	3	力をいれなくてよい	この施策には今後、あまり力を入れて取り組む必要はない。

### (2) アンケート票 (問10)

問10については、基本計画の51の「施策の方針」のうち、「重要なもの」、「重要でないもの」を5つずつ挙げていただきました。

### (3) アンケート票 (問11)

問11については、現在、鎌倉市内もしくは市外という視点で、希望する職場で就労できているか、また今後の意向について5つの選択肢のいずれかから回答していただきました。

### (4) アンケート票 (問12)

問12については、現在、仕事と生活のバランスが取れているかを3つの選択肢からお選びいただき、取れていないとお答えの方からはその理由もお聞きました。

### (5) アンケート票 (問13)

問13については、子育てに関する情報入手の容易さに関する質問を3つの選択肢から回答いただき、情報を得やすいと回答いただいた方には、その情報源についても回答していただきました。

#### (6) アンケート票 (問 14、15)

問 14、15 については、鎌倉市の観光に関連する満足度、観光の振興の理解に関して回答いただきました。

#### (7) アンケート票 (問 16)

問 16 については 2016 年 (平成 28 年) 4 月 1 日以降の電力自由化に伴う電力会社の選択に関して回答いただきました。

#### (8) アンケート票 (問 17)

問 17 については、まちのイメージについて、文化、自然等の視点からその印象について回答いただきました。

#### (9) アンケート票 (問 18-1、18-2)

問 18 については、今後も「鎌倉に住み続けたいかどうか」を「1 住み続けたいと思う」もしくは「2 住み続けたいと思わない」のいずれかで回答いただきました。

また、平成 30 年度から問 18-1 で「1. 住み続けたいと思う」と回答された場合には、その理由について回答いただきました。

#### (10) アンケート票 (自由記述欄)

調査票の最後に自由記述欄を設けて鎌倉市民の皆様の意見をお聞きしました。

## **6 各質問の回答結果が示す市民意識**

問 9 から問 18 及び自由記入欄の回答結果により、市の取組に対する市民意識を示しています。

#### (1) 施策に対する認知度

問 9 の「仕事の効果」において、「取組を知らない・分からない」の回答率により施策に対する認知度を示しています。

#### (2) 鎌倉市民が感じている費用対効果の「妥当性」

問 9 のうち「仕事の効果」と「お金の使い方」の回答の組合せから、それぞれの施策についての費用対効果に対する「妥当性」を示しています。

#### (3) 施策の重要度

問 9 「今後の進め方」については、その施策について「もっと力をいれるべき」、「現状のままで満足」、「力を入れなくてよい」の回答率により、鎌倉市民の皆様が考えるその施策に対する今後の優先性・重要性を示しています。

#### (4) 施策間の重要度

問 10 の基本計画の 51 の「施策の方針」のうち、「重要なもの」、「重要でないもの」のそれぞれの回答数により、51 の施策の中で鎌倉市民の皆様がもつ施策間の重

要度を示しています。

#### (5) 鎌倉市内での就労の意向

問 11「現在、希望する職場で就労できていますか」の回答から、鎌倉市内で就労したい、もしくは市内で希望する職場があれば就労したい等の回答数から鎌倉市民の皆様がもつ鎌倉市内での就労意向を示しています。

#### (6) ワークライフバランスの現状

問 12「現在、仕事と生活のバランスが取れていると感じますか」の回答からワークライフバランスの現状を示しています。

#### (7) 子育てに関する情報発信について

問 13「鎌倉市は子育てに関する情報を得やすいまちだと感じていますか」の回答から、子育てに関する情報の入手しやすさを示しています。

#### (8) 観光に関する鎌倉市民としての意識について

問 14にて、観光に対する満足度、問 15にて観光振興の推進に関する理解度の2点について鎌倉市民としての意識を示しています。

#### (9) 電力自由化に伴う電力会社の選択について

問 16にて、2016年（平成28年）4月1日以降の電力自由化に伴う鎌倉市民の電力会社の選択の傾向を示しています。

#### (10) 鎌倉市のまちのイメージについて

問 17にて、文化、自然環境、生活のしやすさ、歩行道路整備、地域活動に関する等の鎌倉市民としての意識を示しています。

#### (11) 鎌倉に住み続けたいかどうか

問 18にて、今後も「鎌倉に住み続けたいかどうか」の回答率により、鎌倉市民の皆様の鎌倉市への愛着度を示しています。

#### (12) 自由記述欄

今回の調査票以外で日ごろ思われていること、希望などをお聞きすることで、主に鎌倉市民の皆様の潜在的ニーズを示しています。

## 7 調査結果概要

問9から自由記述の質問に対する調査結果概要は次のとおりです。

### (1) 認知度 (問9)

問9の「仕事の効果」において、「取組を知らない・分からない」の回答率から、施策の認知度を測りました。

令和元年度の回答では、認知度が低い（「取組を知らない・分からない」の回答率が高い）施策は、「1 平和推進事業の充実」（回答率45.8%）、「49 働く環境の充実」（回答率41.4%）、「2 人権施策の充実」（回答率40.5%）が挙げられています。

一方で「取組を知らない・分からない」の回答率が低い（認知度が高い）施策は「11 3Rの推進・ごみの適正処理」（回答率8.2%）、「13 まちの美化」、「18 市民の健康と安心づくりの推進」（ともに回答率10.4%）、となっています。

昨年度と比較し、認知度が最も下がっている施策は、「37 公共交通機関の輸送力の向上と利用の促進」（7.4ポイント増）、認知度が最も上がっている施策は、「42 下水道資源の有効利用」、（9.3ポイント減）となっています。

【表5】 認知度「取組を知らない・わからない」回答率

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年度比
1 平和推進事業の充実	46.2%	48.7%	48.7%	49.6%	45.8%	3.8p 減
2 人権施策の充実	42.9%	43.7%	43.7%	41.7%	40.5%	1.2p 減
3 多文化共生社会の推進	40.6%	42.5%	38.7%	37.2%	35.7%	1.5p 減
4 歴史的風土の保存	18.0%	17.8%	17.9%	17.0%	19.8%	2.8p 増
5 史跡の指定、保存・管理、設備及び活用	16.3%	16.3%	16.3%	15.7%	16.2%	0.5p 増
6 文化財の保存、調査・研究、情報の充実	18.6%	18.8%	18.1%	16.0%	18.4%	2.4p 増
7 文化活動の支援・推進	18.9%	18.3%	20.2%	17.5%	22.9%	5.4p 増
8 緑の保全等	17.7%	15.6%	18.1%	18.0%	19.5%	1.5p 増
9 都市公園等の整備・管理	16.9%	14.7%	17.8%	16.9%	18.2%	1.3p 増
10 良好な都市景観形成事業の推進	21.0%	23.4%	27.2%	26.9%	23.8%	3.1p 減
11 3Rの推進・ごみの適正処理	9.3%	8.3%	8.6%	7.9%	8.2%	0.3p 増
12 環境汚染の防止	18.7%	17.4%	17.8%	16.2%	19.0%	2.8p 増
13 まちの美化	10.6%	10.1%	9.7%	9.6%	10.4%	0.8p 増
14 次代に向けたエネルギー・環境対策の推進	33.6%	29.1%	31.3%	31.9%	31.4%	0.5p 減
15 野生鳥獣等への対応	17.7%	14.7%	17.9%	15.2%	20.3%	5.1p 増
16 海浜の環境保全	17.6%	17.6%	17.0%	15.2%	17.8%	2.6p 増
17 地域生活の支援サービス	17.6%	15.5%	16.7%	15.4%	16.8%	1.4p 増
18 市民の健康と安心づくりの推進	11.3%	10.3%	10.0%	9.3%	10.4%	1.1p 増
19 すべての子育て家庭への支援	20.5%	21.1%	19.9%	18.3%	20.0%	1.7p 増
20 子育て支援施設の整備	24.9%	23.4%	21.1%	23.8%	21.9%	1.9p 減

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年度比
21 安全・安心で開かれた学校づくり	24.6%	21.0%	19.2%	20.3%	21.1%	0.8p 増
22 教育内容・教育環境の充実	23.7%	23.4%	20.9%	21.2%	21.8%	0.6p 増
23 学校施設の整備	25.3%	21.3%	21.3%	18.8%	21.0%	2.2p 増
24 青少年の育成・支援	28.6%	24.2%	25.3%	26.8%	23.4%	3.4p 減
25 多様な学習機会の提供と学習成果の活用	24.9%	34.3%	36.9%	36.2%	33.6%	2.6p 減
26 学習環境の整備・充実	17.5%	14.6%	17.2%	14.7%	17.9%	3.2p 増
27 市民スポーツ・レクリエーションの推進	21.5%	20.1%	18.8%	22.1%	20.3%	1.8p 減
28 スポーツ施設の整備	25.3%	21.8%	22.8%	27.8%	25.3%	2.5p 減
29 地震対策・風水害対策の充実	13.3%	12.4%	12.8%	13.2%	11.4%	1.8p 減
30 危機管理対策	21.5%	22.7%	22.8%	25.5%	22.4%	3.1p 減
31 消防機能の整備・充実	16.7%	14.7%	14.8%	16.2%	13.4%	2.8p 減
32 防犯活動の充実・強化	12.0%	13.0%	12.8%	12.9%	13.0%	0.1p 増
33 市街地整備の推進	22.5%	19.4%	18.8%	19.5%	18.7%	0.8p 減
34 道路・交通体系の検討	19.0%	19.2%	18.1%	16.4%	18.1%	1.7p 増
35 交通安全意識の高揚	17.6%	16.2%	17.0%	15.9%	16.5%	0.6p 増
36 駐輪対策の推進	13.7%	13.1%	15.1%	14.7%	14.1%	0.6p 減
37 公共交通機関の輸送力の向上と利用の促進	21.9%	17.8%	20.7%	17.7%	25.1%	7.4p 増
38 道路・橋りょうの整備・維持管理	19.5%	20.6%	18.6%	15.9%	16.0%	0.1p 増
39 鎌倉らしい住まいづくり	27.6%	27.0%	25.8%	23.6%	27.2%	3.6p 増
40 下水道の整備・管理	19.2%	16.7%	19.2%	19.0%	18.4%	0.6p 減
41 水辺環境の整備・創出・管理	27.8%	23.6%	26.2%	27.6%	23.0%	4.6p 減
42 下水道資源の有効利用	33.6%	30.0%	32.2%	45.6%	36.3%	9.3p 減
43 農業・漁業の振興	23.9%	22.7%	23.4%	26.3%	25.3%	1.0p 減
44 商工業振興の充実	29.3%	27.0%	36.6%	36.9%	34.7%	2.2p 減
45 観光都市としての質の向上	14.7%	14.4%	14.2%	13.9%	14.2%	0.3p 増
46 安全で快適な観光空間の整備	11.4%	11.7%	11.6%	12.4%	13.9%	1.5p 増
47 地域が一体となった観光振興の推進	14.7%	15.5%	15.8%	16.9%	20.5%	3.6p 増
48 雇用支援の充実	34.2%	35.0%	32.7%	35.5%	33.9%	1.6p 減
49 働く環境の充実	39.9%	42.3%	43.1%	43.1%	41.4%	1.7p 減
50 技能振興の充実	32.0%	32.7%	34.8%	35.2%	33.3%	1.9p 減
51 消費者施策の推進	27.6%	26.8%	32.3%	29.6%	28.0%	1.6p 減
0-1 市民自治	27.8%	21.5%	27.1%	24.1%	24.6%	0.5p 増
0-2 行財政運営	25.6%	21.3%	25.5%	24.8%	25.3%	0.5p 増
0-3 歴史的遺産と共生するまちづくり	21.2%	21.1%	25.3%	26.3%	26.6%	0.3p 増

## (2) 妥当性 (問9)

これまで行ってきたアンケートに引き続き、今年度のアンケートでも、問9において調査票に記載の情報や日頃の生活での印象からそれぞれの施策の「仕事の効果」と「お金の使い方」を選択していただきました。この「仕事の効果」と「お金の使い方」の回答の組合せにより、それぞれの施策についての費用対効果に対する「妥当性」と定義し、費用対効果の鎌倉市民の皆様の意識の傾向を【表6-1】のとおり9つに分類し、【表6-2】のとおり、【表6-1】の分類から推定される市民意識の傾向を示しています。



【表 6-1】「仕事の効果」×「お金の使い方」分類表

		お金の使い方		
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
仕事の効果	必要以上の効果	①	②	③
	ちょうどよい	④	⑤	⑥
	効果不十分	⑦	⑧	⑨

【表 6-2】 【表 6-1】 の分類から推定される市民意識の傾向

調査結果から得られる情報			
分類	仕事の効果	お金の使い方	推定される鎌倉市民の意識の傾向
①	必要以上	使いすぎ	効果が必要以上に対して税金の投入は多すぎる
②	必要以上	ちょうどよい	必要以上の効果に対して税金の投入は十分
			効果を適正にし、より税金投入を抑えたほうがよい
③	必要以上	足りない	必要以上の効果だが、税金の投入がもっとあってもよい
④	ちょうどよい	使いすぎ	効果が十分に対し、税金投入が多すぎる
⑤	ちょうどよい	ちょうどよい	効果、投入されている税金共に適正である
⑥	ちょうどよい	足りない	効果が十分に対し、税金投入が低く抑えられている
			効果が十分であるが、さらに効果をあげるため、もっと税金を投入してもいい
⑦	効果不十分	使いすぎ	効果が不十分な上、税金投入し過ぎ
⑧	効果不十分	ちょうどよい	効果が不十分であるが、税金投入は妥当であるため、効果を高める努力が必要
⑨	効果不十分	足りない	効果が不十分であり、税金投入も不足している

上記の9つのそれぞれの分類の回答率の平均値は以下のとおりです。

【表7】「仕事の効果」×「お金の使い方」の分類ごとの回答率の平均及び標準偏差

(上段：平均値 下段：標準偏差)

		お金の使い方		
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
仕事の効果	必要以上の効果	① 2.0%	② 1.2%	③ 0.3%
		1.32	0.74	0.28
	ちょうどよい	④ 3.2%	⑤ 43.3%	⑥ 1.4%
		2.42	7.52	0.69
	効果不十分	⑦ 4.4%	⑧ 4.0%	⑨ 12.0%
		3.02	1.68	6.28

※ 標準偏差とは、施策ごとの集計のばらつきの度合い、標準の振れ幅を示しています。標準偏差が小さければ小さいほど、どの施策でも平均値に近い回答になっていると言えます。また標準偏差が大きければ大きいほど、施策ごとにばらつきがあることとなります。

市の取組に対する意識の傾向については【表7】より以下のとおりに読み取れます。

- (1) 回答者のうち、約43.3%が⑤の「仕事の効果」が「ちょうどよい」、かつ「お金の使い方」が「ちょうどよい」を選択しています。
- (2) 回答者のうち、約12.0%が⑨の「仕事の効果」が「効果不十分」、かつ「お金の使い方」が「足りない」を選択しています。
- (3) 上記の①、②、③、④、⑥、⑦、⑧についてはそれぞれ、約0.2～4.4%前後となっており、②、③、⑥はほとんど選択されていません。
- (4) 回答者のうち、約12.0%が「仕事の効果」が「効果不十分」、かつ「お金の使い方」が「足りない」と共に低い(⑨)と評価していることをはじめ、約28.5%の回答者が「仕事の効果」、「お金の使い方」のいずれか、もしくは両方に納得していない(⑤以外)という選択をしています。

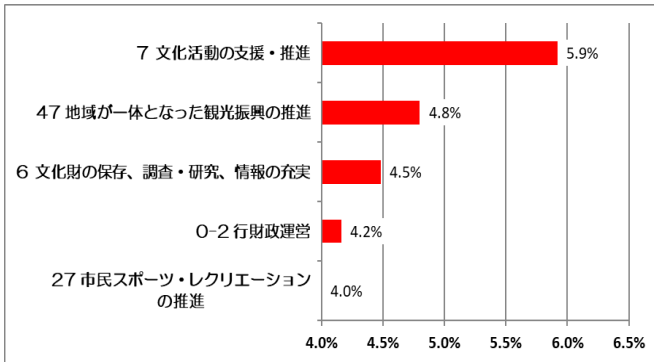
市の取組に対する意識の傾向を以下のとおり9つに分類した結果については次のとおりです。

なお、今回の調査は鎌倉市民の皆様の意識の大きな傾向をみることから、【表6-1】の分類のうち、②「仕事の効果」が「必要以上」、かつ「お金の使い方」が「ちょうどよい」、③「仕事の効果」が「必要以上」、かつ「お金の使い方」が「足りない」、⑥「仕事の効果」が「ちょうどよい」、かつ「お金の使い方」が「足りない」の3つの分類については、どの施策でも大きな違いはないこと(どの施策も標準偏差が極めて小さい)、またそれぞれ平均値が1.2%、0.3%、1.3%と低いことから、今回の分析より除外します。

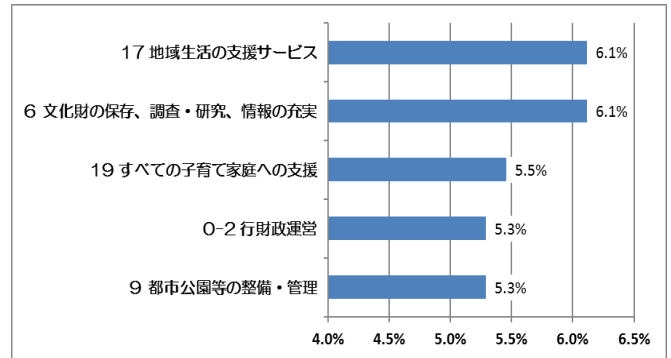
**<分類① 「仕事の効果」が「必要以上」、「お金の使い方」が「使いすぎ」>**

令和元年度(2019年度)の調査で「効果が必要以上に対して税金の投入は多すぎる」と考えられている高い傾向の施策は「7 文化活動の支援・推進」(回答率 5.9%)、「47 地域が一体となった観光振興の推進」(回答率 4.8%)、「6 文化財の保存、調査・研究、情報の充実」(回答率 4.5%)、「0-2 行財政運営」(回答率 4.2%)、「27 市民スポーツ・レクリエーションの推進」(回答率 4.0%)となっています。

令和元年度(2019年度)



平成30年度(2018年度)

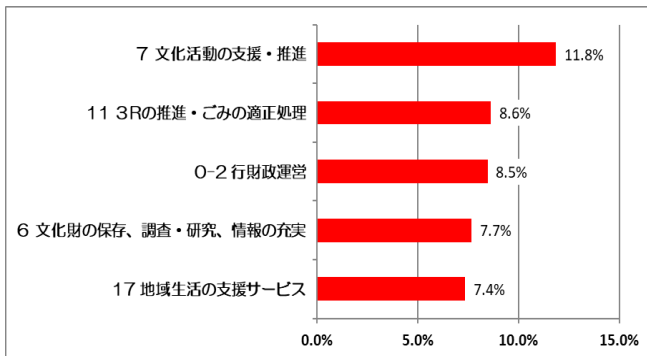


**【図2】「仕事の効果」が「必要以上」、「お金の使い方」が「使いすぎ」の回答率が高い5つの施策(左：令和元年度 右：平成30年度)**

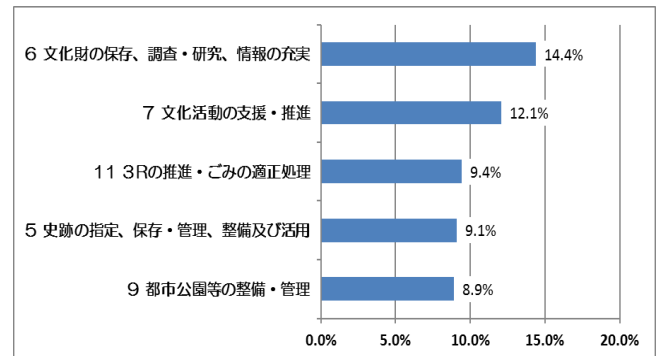
**<分類④ 「仕事の効果」が「ちょうどよい」、「お金の使い方」が「使いすぎ」>**

令和元年度(2019年度)の調査で「効果が十分に対し、税金投入が多すぎる」と考えられている傾向の高い施策は、「7 文化活動の支援・推進」(回答率 11.8%)、「11 3Rの推進・ごみの適正処理」(回答率 8.6%)、「0-2 行財政運営」(回答率 8.5%)、「6 文化財の保存、調査・研究、情報の充実」(回答率 7.7%)、「17 地域生活の支援サービス」(回答率 7.4%)となっています。

令和元年度(2019年度)



平成30年度(2018年度)



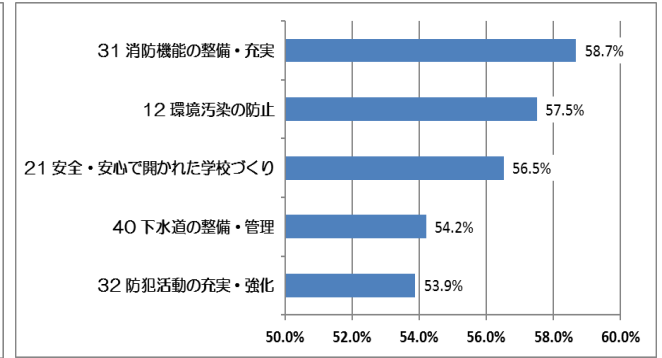
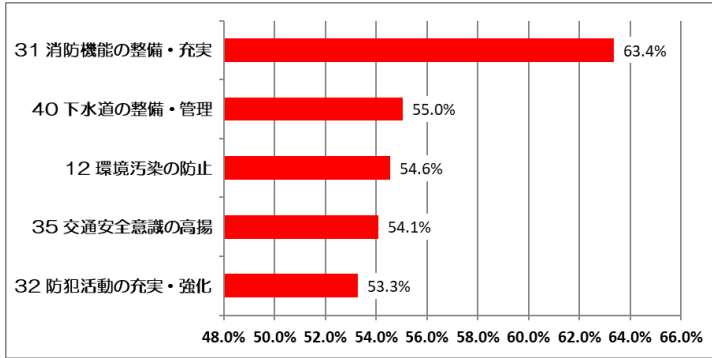
**【図3】「仕事の効果」が「ちょうどよい」、「お金の使い方」が「使いすぎ」の回答率が高い5つの施策(左：令和元年度 右：平成30年度)**

**<分類⑤ 「仕事の効果」が「ちょうどよい」、「お金の使い方」が「ちょうどよい」>**

令和元年度(2019 年度)の調査で「仕事の効果」、「お金の使い方」共に適正であり、もっともバランスがとれていると考えられている傾向の高い施策は、「31 消防機能の整備・充実」(回答率 63.4%)、「40 下水道の整備・管理」(回答率 55.0%)、「12 環境汚染の防止」(回答率 54.6%)、「35 交通安全意識の高揚」(回答率 54.1%)、「32 防犯活動の充実・強化」(回答率 53.3%)となっています。

令和元年度(2019 年度)

平成 30 年度(2018 年度)



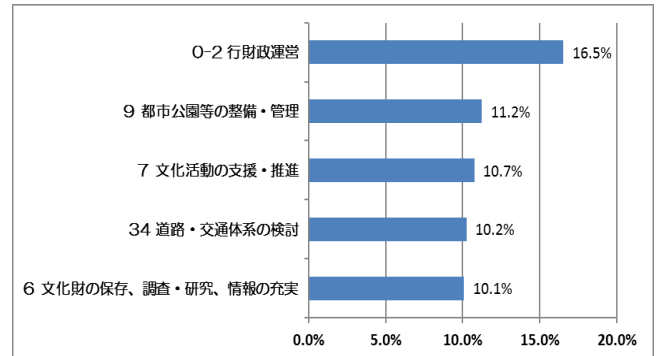
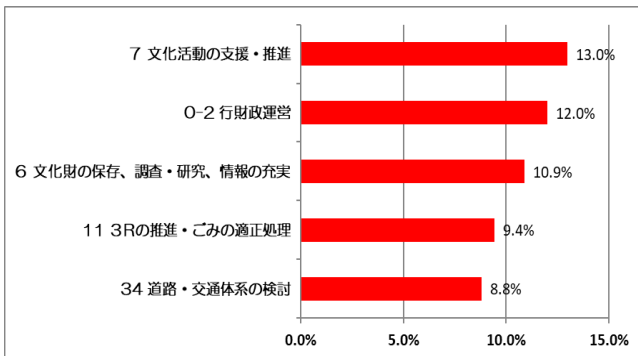
**【図 4】「仕事の効果」が「ちょうどよい」、「お金の使い方」が「ちょうどよい」の回答率が高い5つの施策(左：令和元年度 右：平成 30 年度)**

**<分類⑦ 「仕事の効果」が「効果不十分」、「お金の使い方」が「使いすぎ」>**

令和元年度(2019 年度)の調査で効果が不十分な上、税金投入し過ぎと考えられている傾向の高い施策は、「7 文化活動の支援・推進」(回答率 13.0%)「0-2 行財政運営」(回答率 12.0%)、「6 文化財の保存、調査・研究、情報の充実」(回答率 10.9%)、「11 3Rの推進・ごみの適正処理」(回答率 9.4%)、「34 道路・交通体系の検討」(回答率 8.8%)、となっています。

令和元年度(2019 年度)

平成 30 年度(2018 年度)

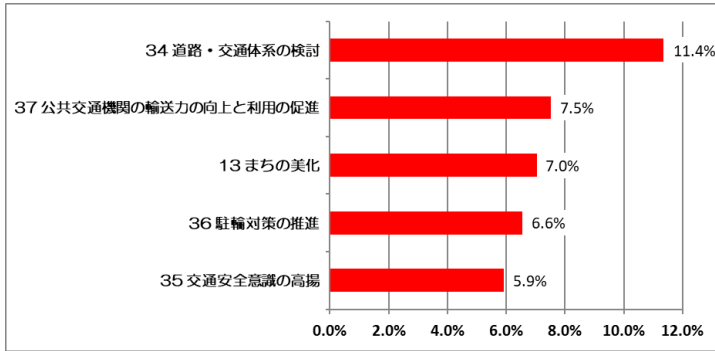


**【図 5】「仕事の効果」が「効果不十分」、「お金の使い方」が「使いすぎ」の回答率が高い5つの施策(左：令和元年度 右：平成 30 年度)**

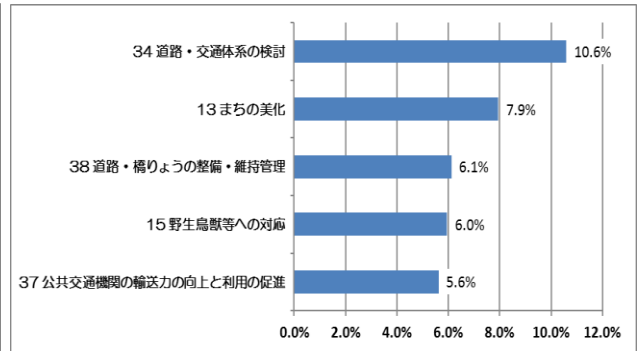
**＜分類⑧ 「仕事の効果」が「効果不十分」、「お金の使い方」が「ちょうどよい」＞**

令和元年度(2019年度)の調査で効果が不十分であるが、税金投入は妥当であるため、効果をもてる努力が必要と考えられている傾向の高い施策は「34 道路・交通体系の検討」(回答率 11.4%)、「37 公共交通機関の輸送力の向上と利用の促進」(回答率 7.5%)、「13 まちの美化」(回答率 7.0%)、「36 駐輪対策の推進」(回答率 6.6%)、「35 交通安全意識の高揚」(回答率 5.9%)となっています。

令和元年度(2019年度)



平成30年度(2018年度)

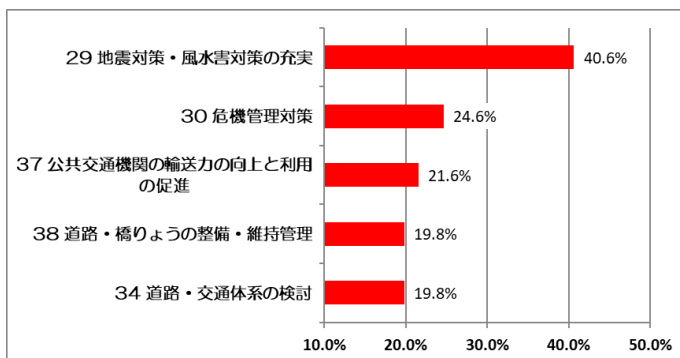


**【図6】「仕事の効果」が「効果不十分」、「お金の使い方」が「ちょうどよい」の回答率が高い5つの施策(左：平成30年度 右：平成29年度)**

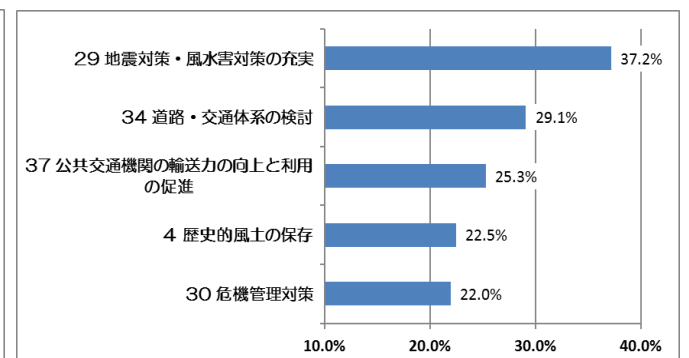
**＜分類⑨ 「仕事の効果」が「効果不十分」、「お金の使い方」が「足りない」＞**

令和元年度(2019年度)の調査で効果が不十分であり、税金投入も不足していると考えられている傾向の高い施策は「29 地震対策・風水害対策の充実」(回答率 40.6%)、「30 危機管理対策」(回答率 24.6%)、「37 公共交通機関の輸送力の向上と利用の促進」(回答率 21.6%)、「38 道路・橋りょうの整備・維持管理」、「34 道路・交通体系の検討」(ともに回答率 19.8%)となっています。

令和元年度(2019年度)



平成30年度(2018年度)



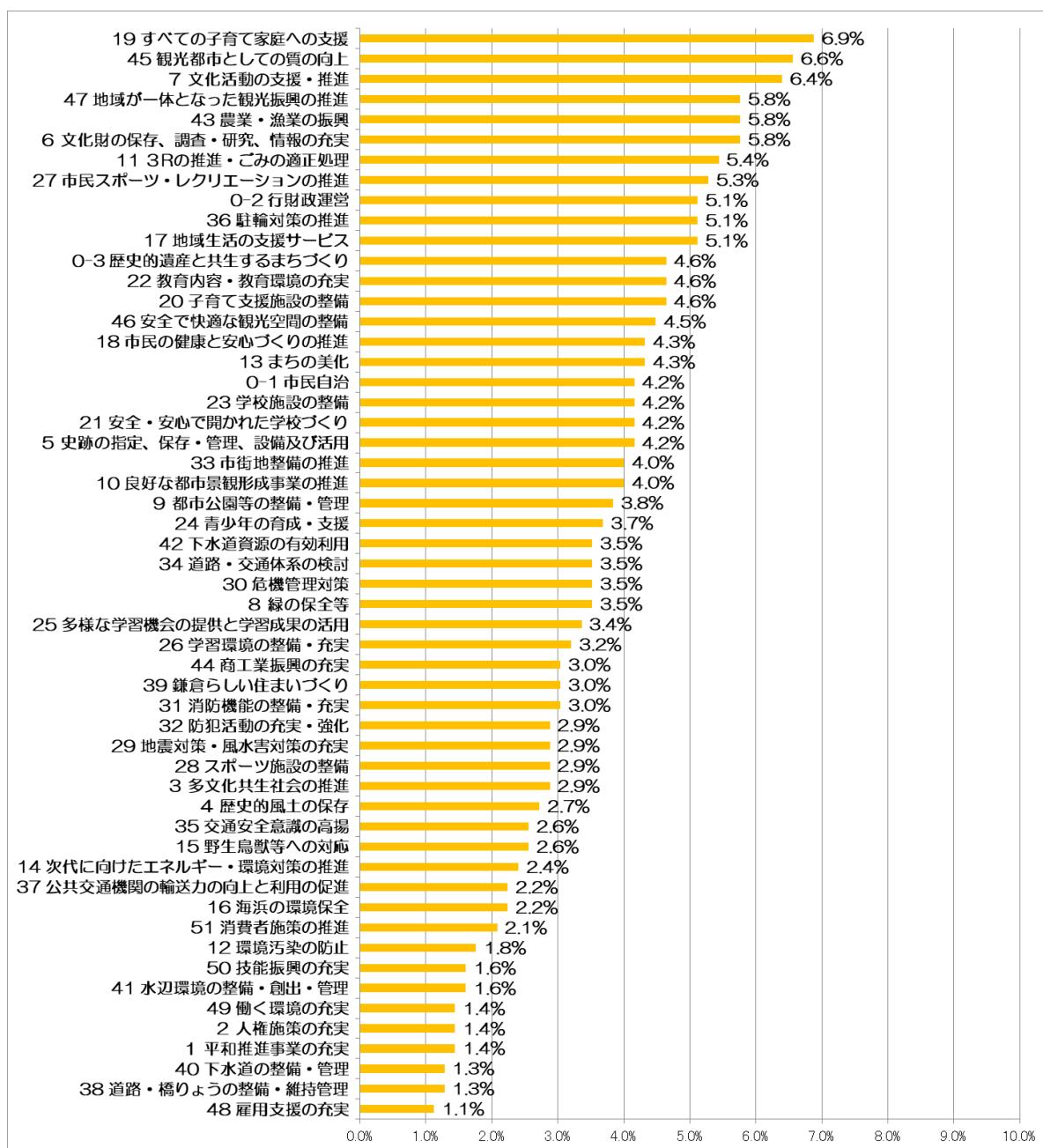
**【図7】「仕事の効果」が「効果不十分」、「お金の使い方」が「足りない」の回答率が高い5つの施策(左：令和元年度 右：平成30年度)**

(参考)

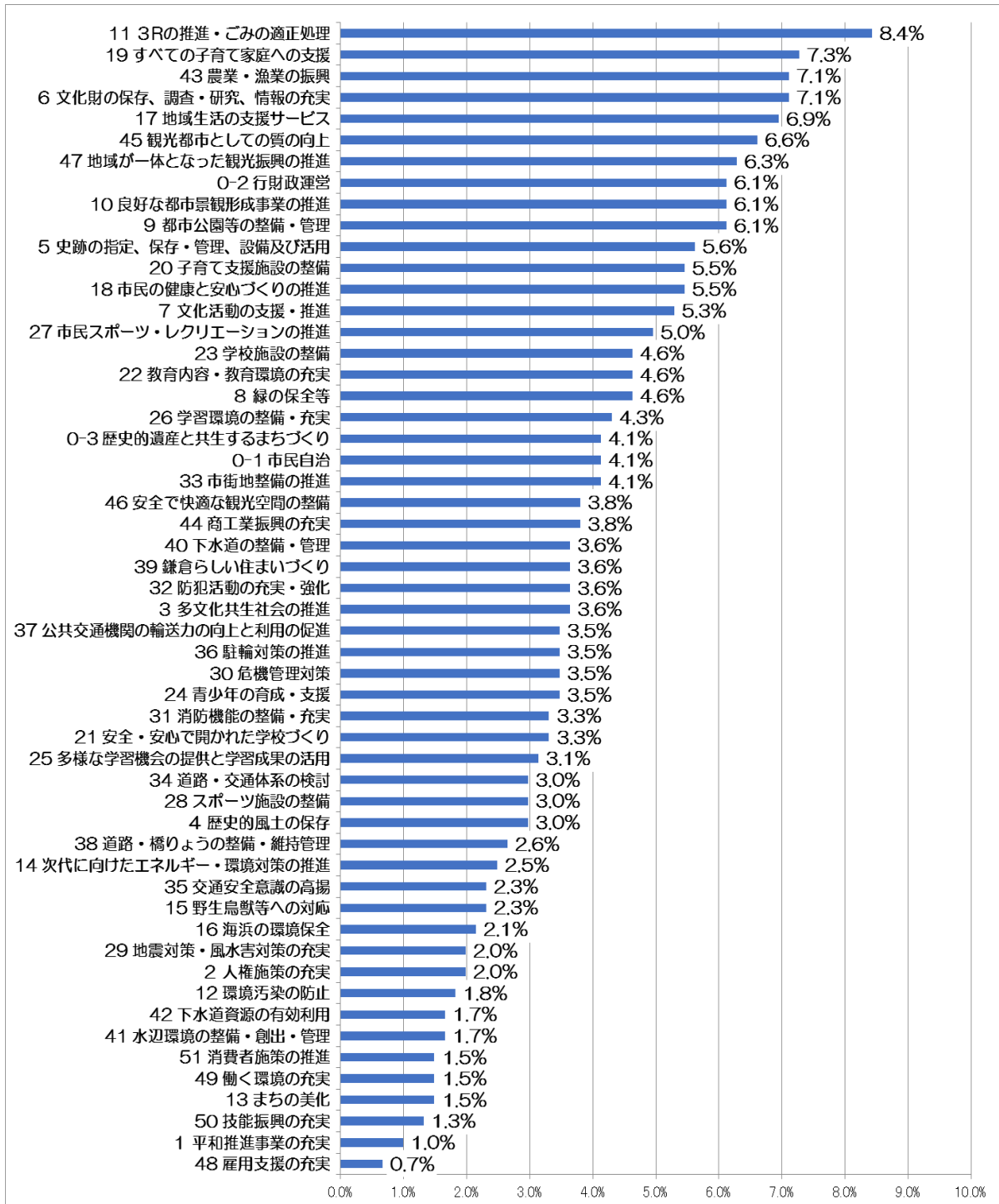
①「仕事の効果」について

問9における「仕事の効果」のみの回答率については以下のとおりです。

回答のうち、「必要以上の効果」の回答率が高い施策は、「19 すべての子育て家庭への支援」(回答率 6.9%)、「45 観光都市としての質の向上」(回答率 6.6%)、「7 文化活動の支援・推進」(回答率 6.4%)、「47 地域が一体となった観光振興の推進」(回答率 5.8%)、「43 農業・漁業の振興」(回答率 5.8%)となっています。

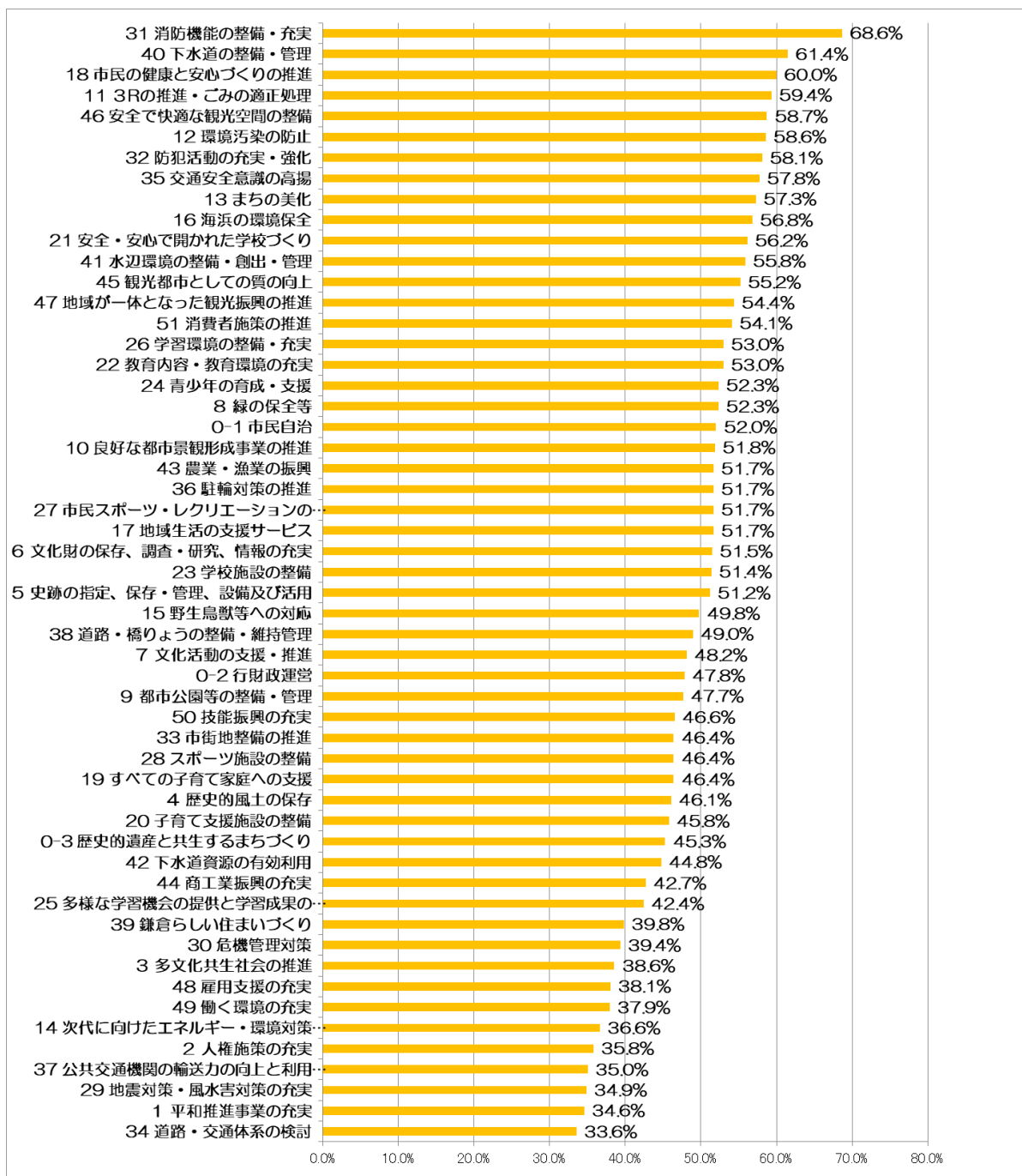


【図 8-1】令和元年度(2019年度)「仕事の効果」のうち「必要以上の効果」の回答率



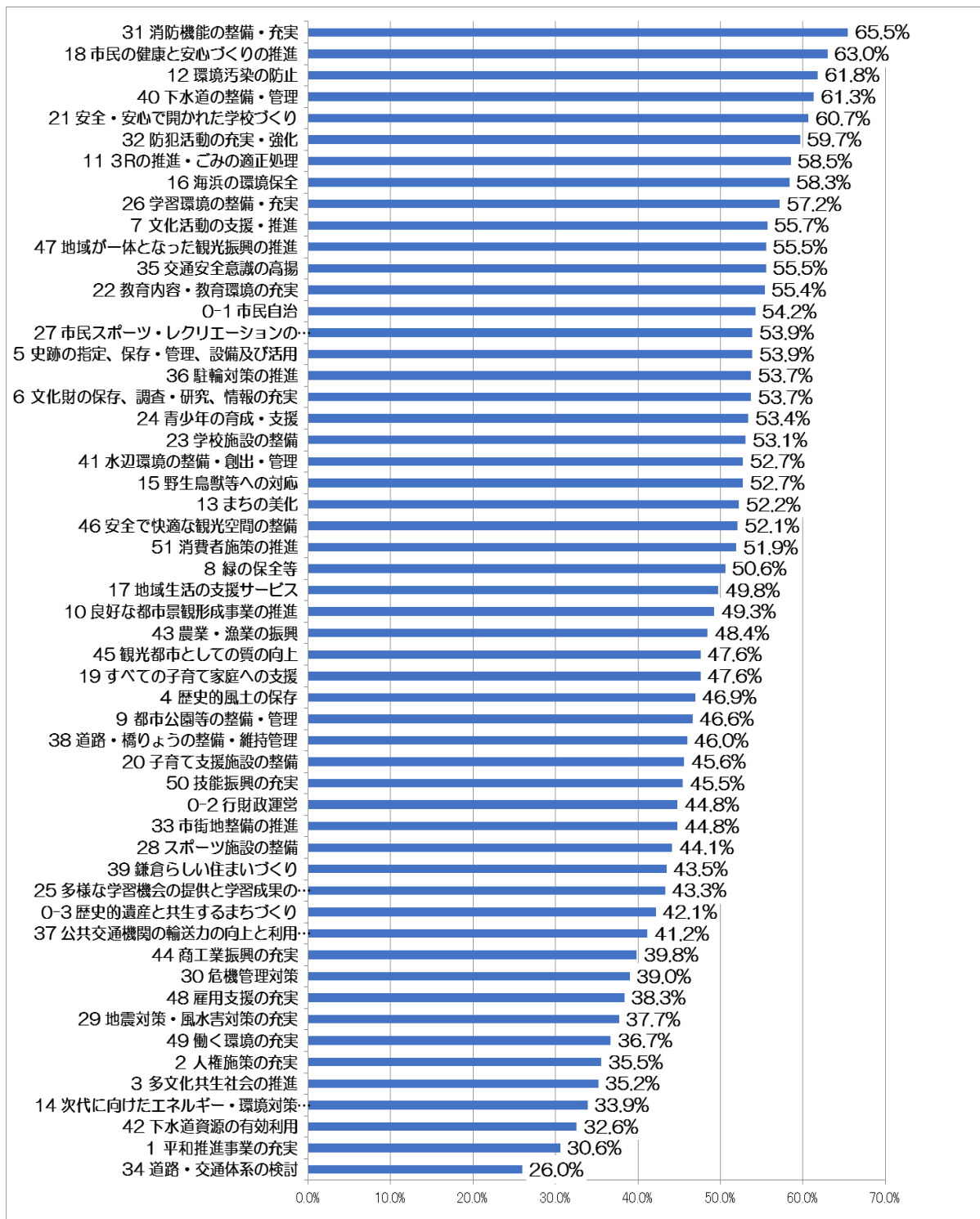
【図 8-2】（参考）平成 30 年度(2018 年度)「仕事の効果」のうち「必要以上の効果」の回答率

回答のうち「ちょうどよい」の回答率が高い施策は、「31 消防機能の整備・充実」(回答率 68.6%)、「40 下水道の整備・管理」(回答率 61.4%)、「18 市民の健康と安心づくりの推進」(回答率 60.0%)、「11 3Rの推進・ごみの適正処理」(回答率 59.4%)、「46 安全で快適な観光空間の整備」(回答率 58.7%)となっています。



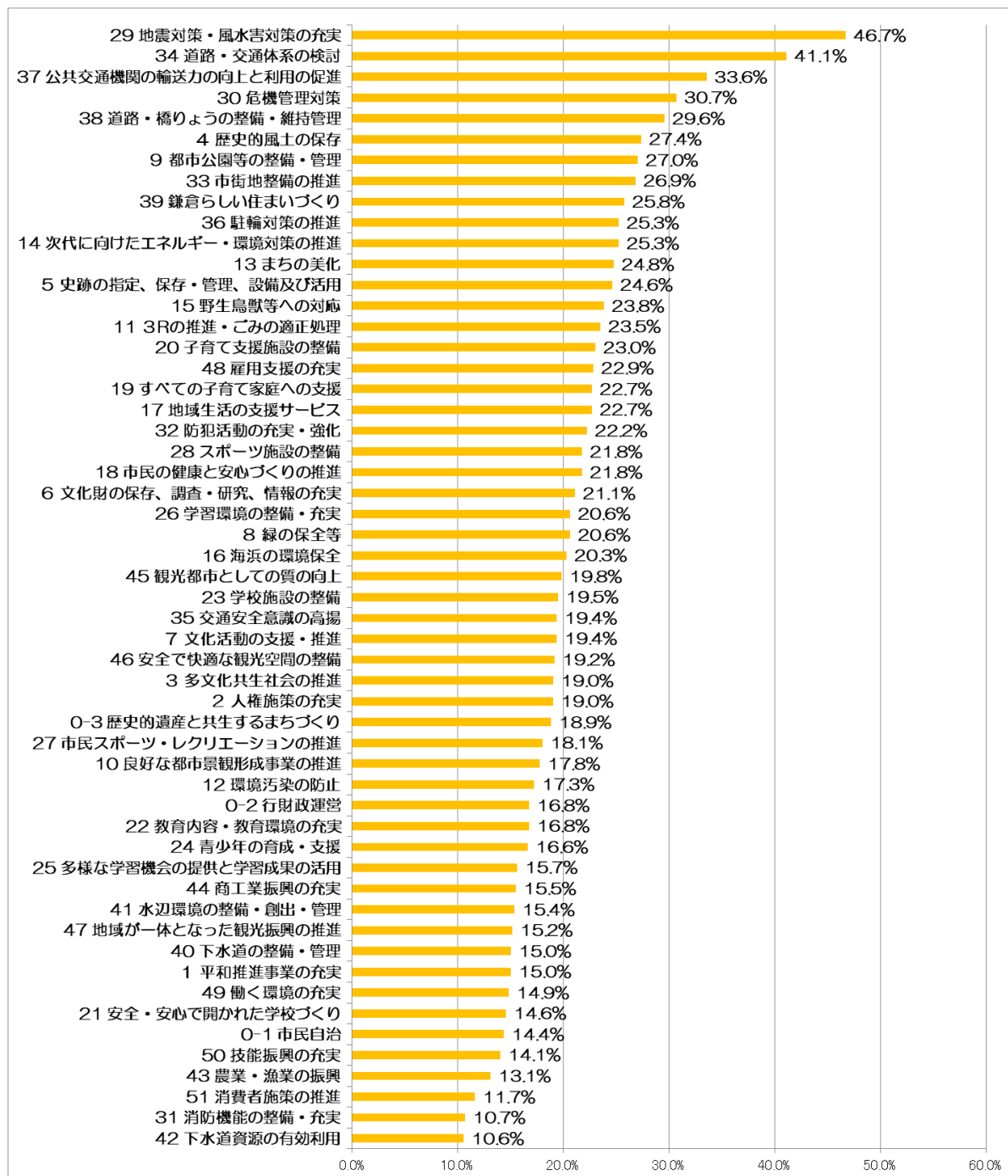
【図 9-1】令和元年度(2019年度)「仕事の効果」のうち「ちょうどよい」の回答率



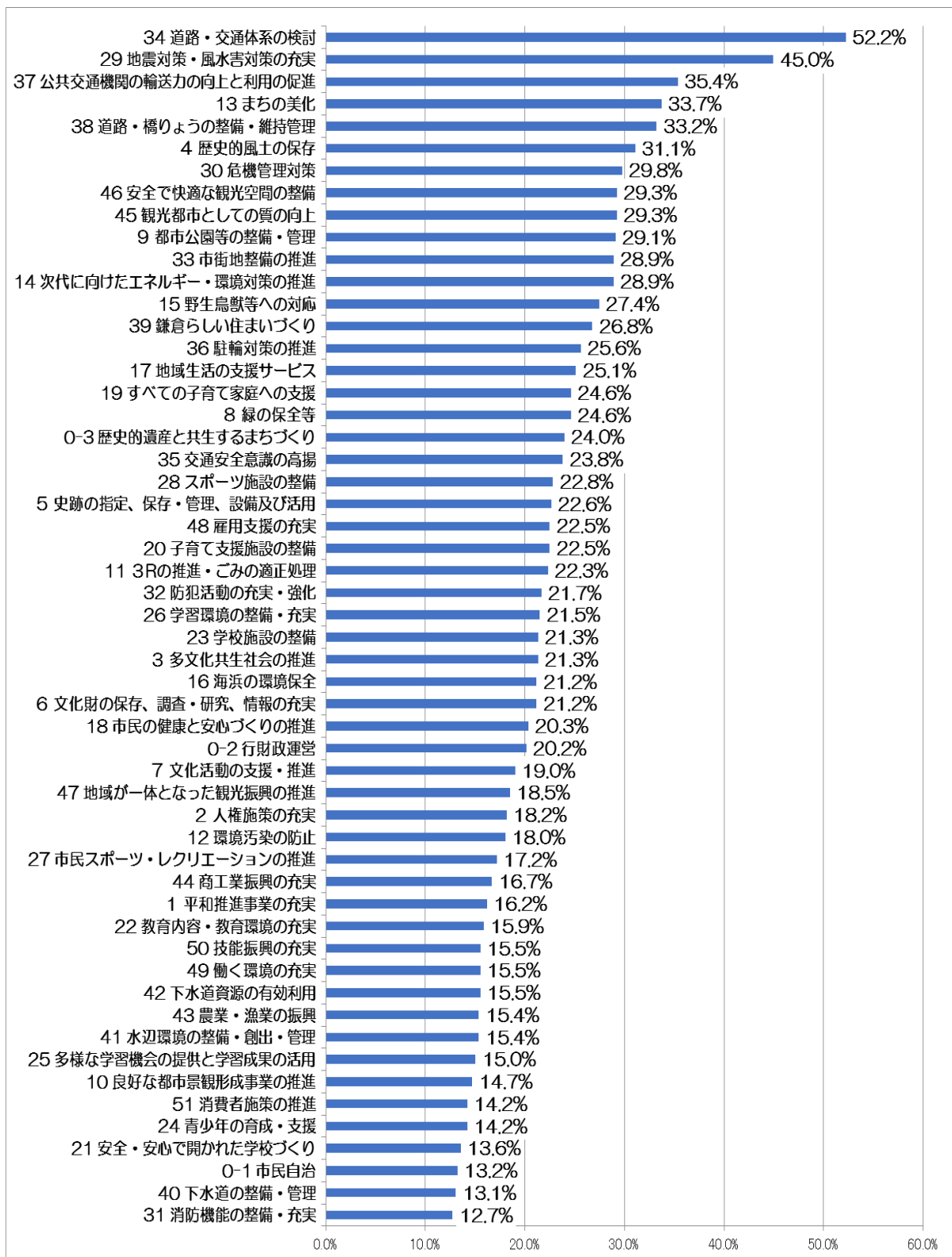


【図 9-2】（参考）平成 30 年度(2018 年度)「仕事の効果」のうち「ちょうどよい」の回答率

回答のうち、「効果不十分」の回答率が高い施策は、「29 地震対策・風水害対策の充実」(回答率 46.7%)、「34 道路・交通体系の検討」(回答率 41.1%)、「37 公共交通機関の輸送力の向上と利用の促進」(回答率 33.6%)、「30 危機管理対策」(回答率 30.7%)、「38 道路・橋りょうの整備・維持管理」(回答率 29.6%) となっています。



【図 10-1】令和元年度(2019 年度)「仕事の効果」のうち「効果不十分」の回答率

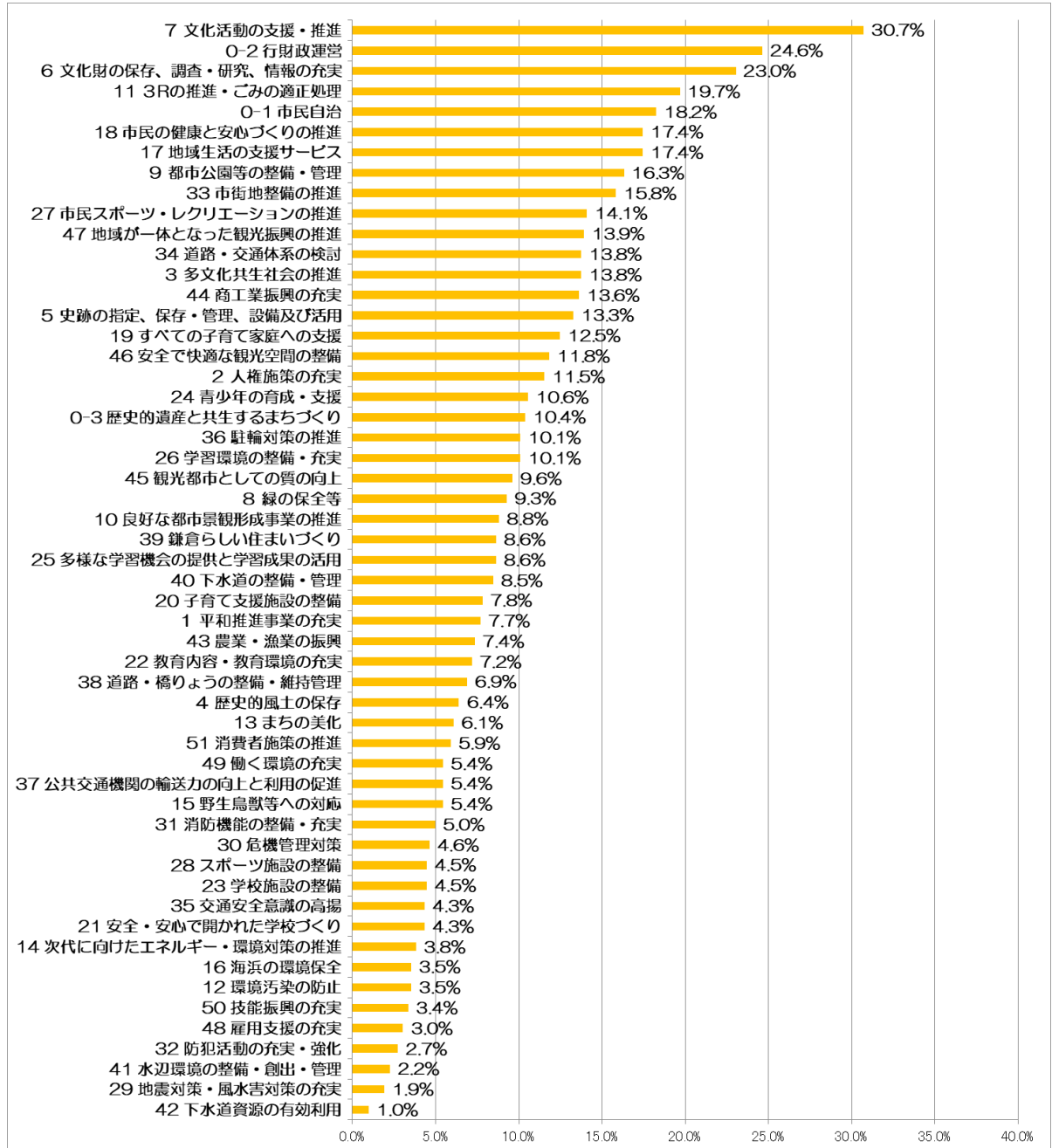


【図 10-2】（参考）平成 30 年度（2018 年度）「仕事の効果」のうち「効果不十分」の回答率

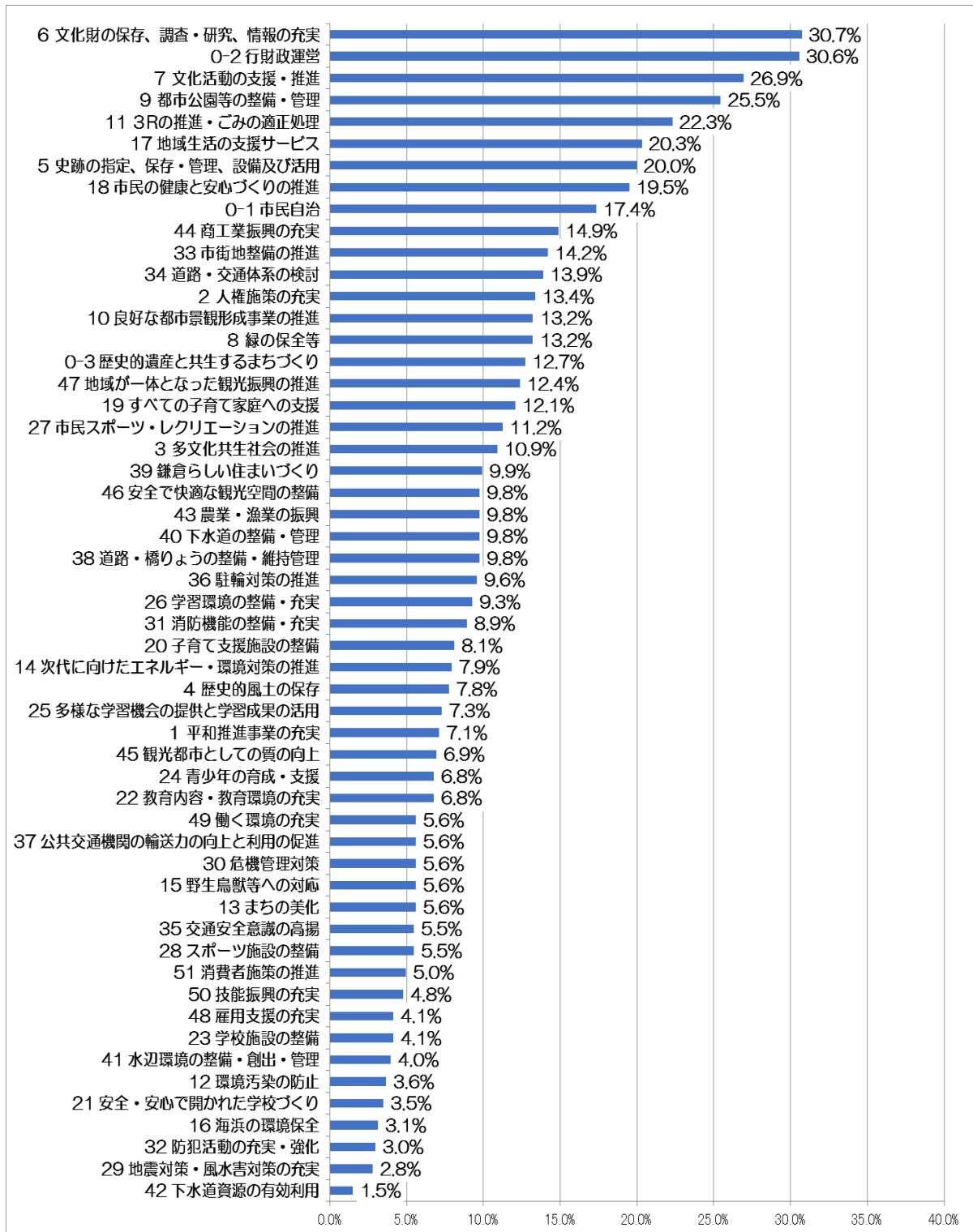
## ② お金の使い方

問9における「お金の使い方」のみの回答率については以下のとおりです。

回答のうち、「使いすぎ」の回答率が高い施策は、「7 文化活動の支援・推進」（回答率 30.7%）、「0-2 行財政運営」（回答率 24.6%）、「6 文化財の保存、調査・研究、情報の充実」（回答率 23.0%）、「11 3Rの推進・ごみの適正処理」（回答率 19.7%）、「0-1 市民自治」（回答率 18.2%）、となっています。

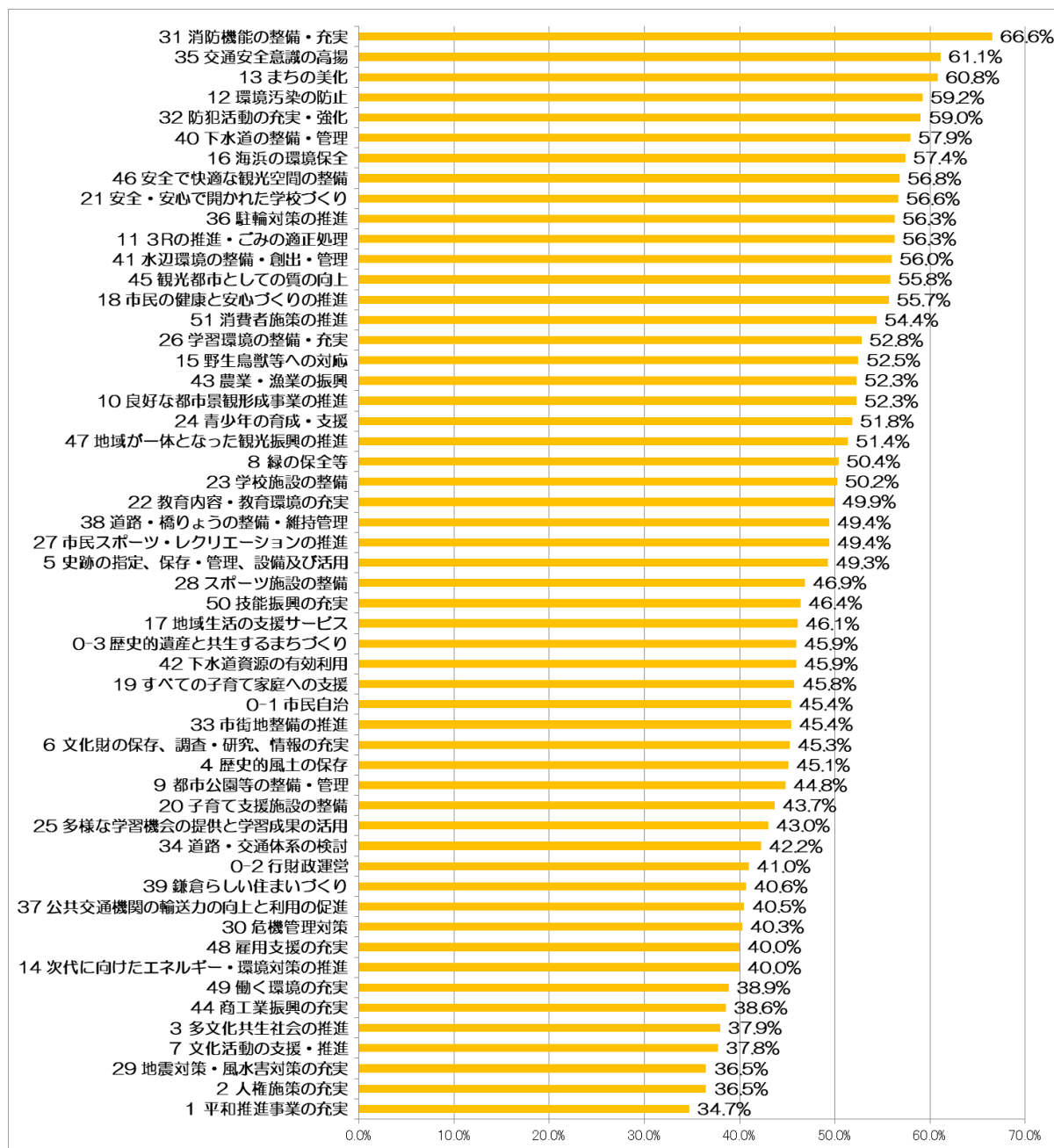


【図 11-1】令和元年度(2019年度)「お金の使い方」のうち「使いすぎ」の回答率

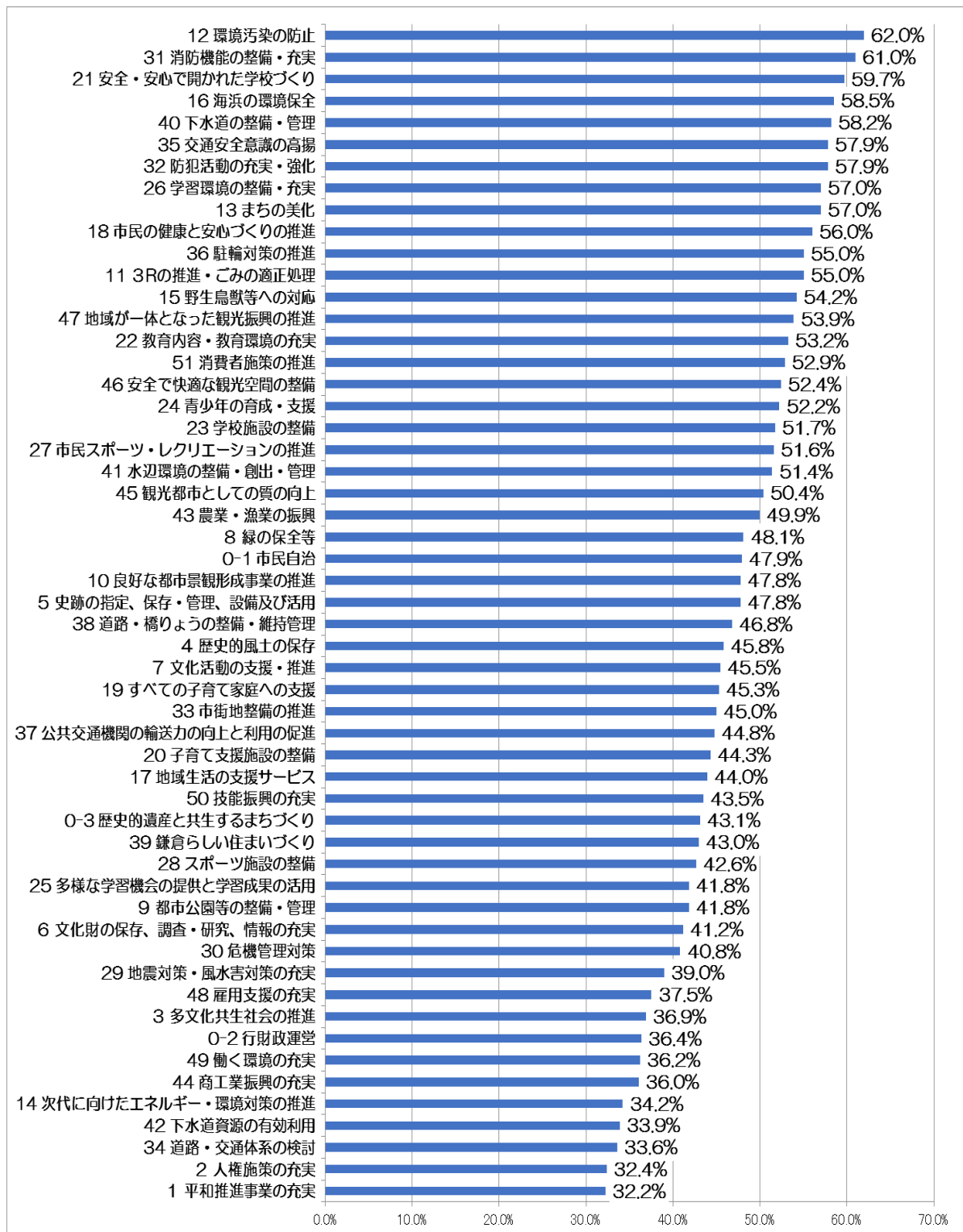


【図 11-2】（参考）平成 30 年度(2018 年度)「お金の使い方」のうち「使いすぎ」の回答率

回答のうち「ちょうどよい」の回答率が高い施策は、「31 消防機能の整備・充実」（回答率 66.6%）、「35 交通安全意識の高揚」（回答率 61.1%）、「13 まちの美化」（回答率 60.8%）、「12 環境汚染の防止」（回答率 59.2%）、「32 防犯活動の充実・強化」（回答率 59.0%）となっています。

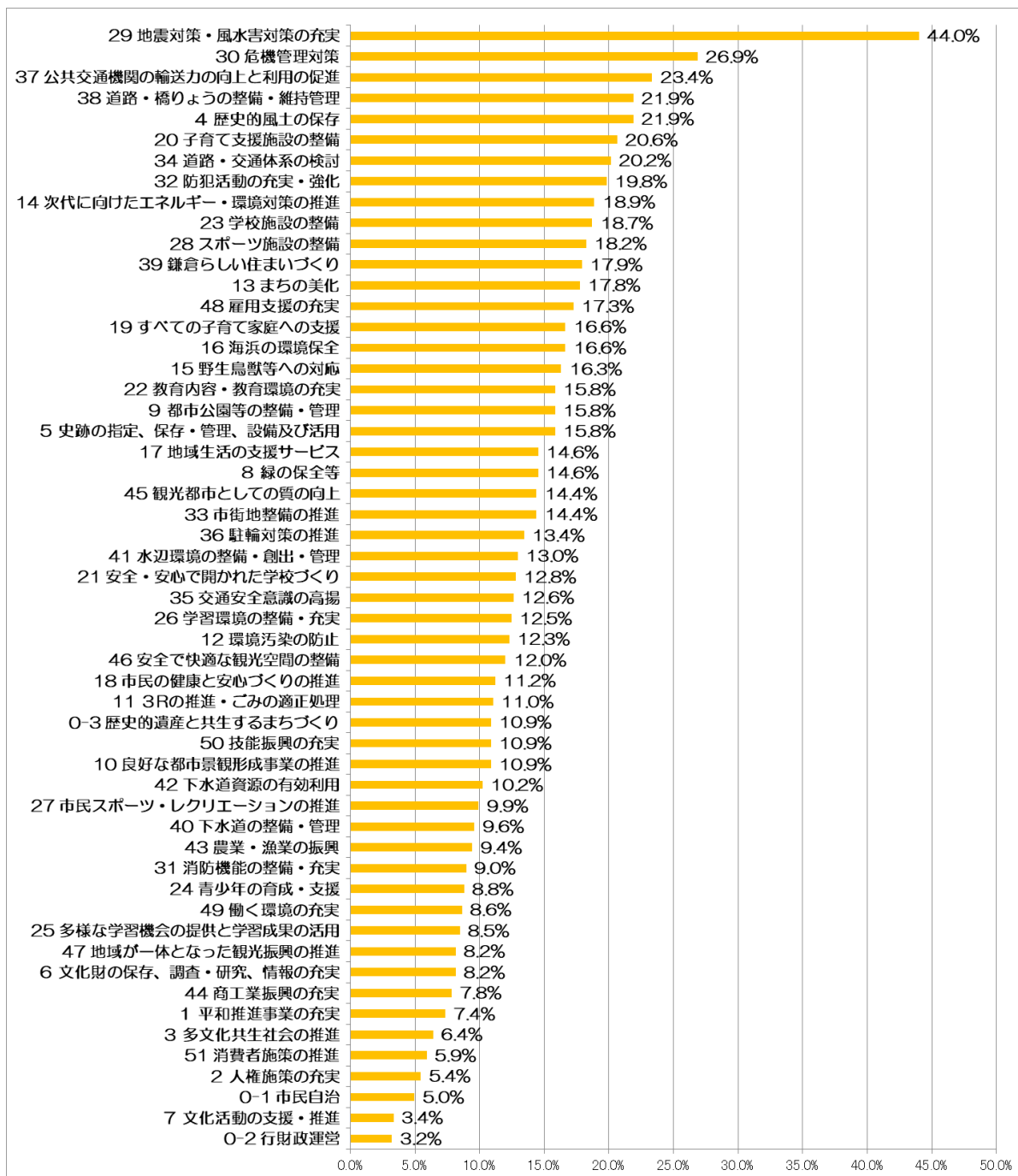


【図 12-1】令和元年度(2019 年度)「お金の使い方」のうち「ちょうどよい」の回答率



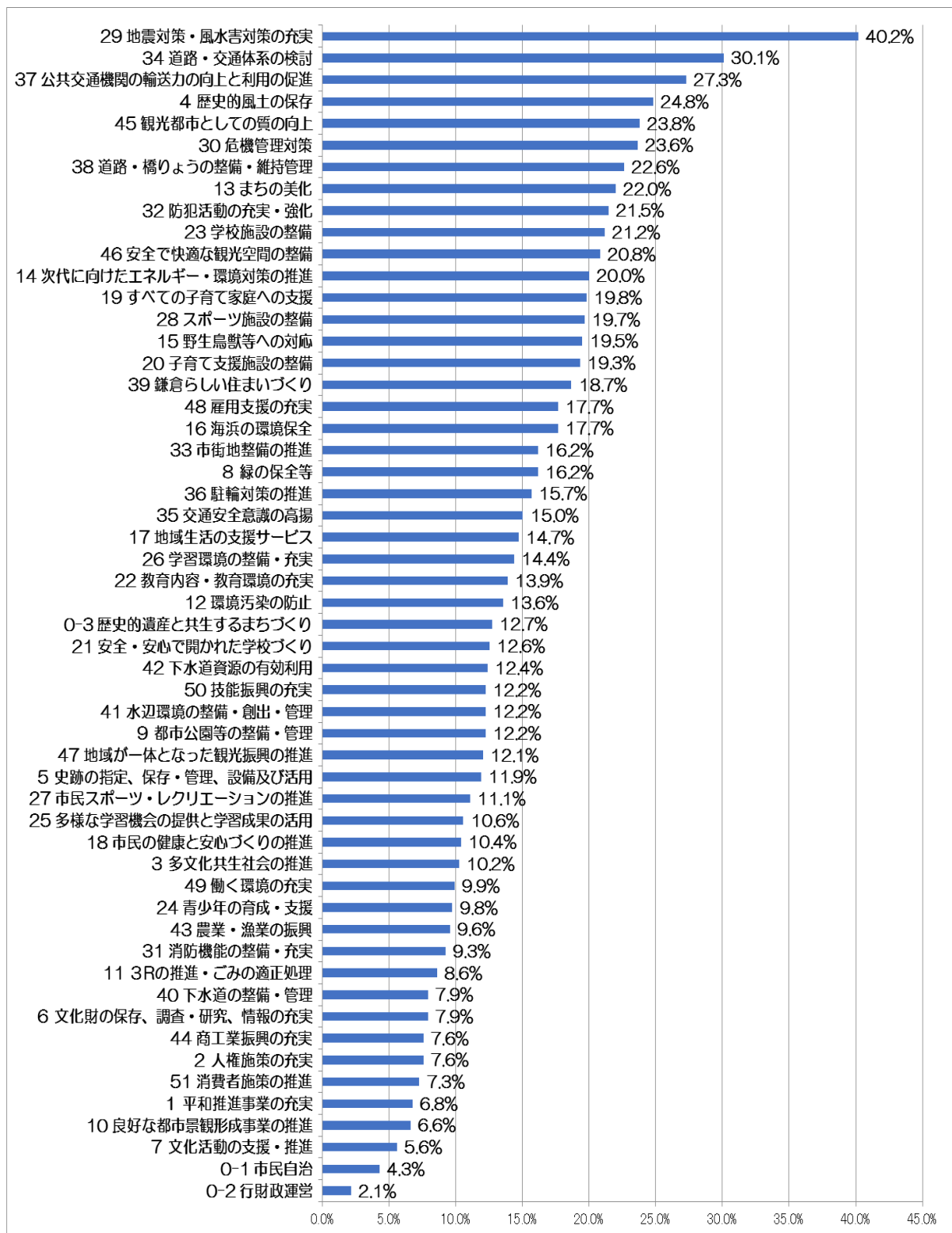
【図 12-2】（参考）平成 30 年度（2018 年度）「お金の使い方」のうち「ちょうどよい」の回答率

回答のうち「足りない」の回答率が高い施策は、「29 地震対策・風水害対策の充実」（回答率 44.0%）、「30 危機管理対策」（回答率 26.9%）、「37 公共交通機関の輸送力の向上と利用の促進」（回答率 23.4%）、「38 道路・橋りょうの整備・維持管理」、「4 歴史的風土の保存」（ともに回答率 21.9%）となっています。



【図 13-1】令和元年度(2019年度)「お金の使い方」のうち「足りない」の回答率





【図 13-2】 (参考)平成 30 年度「お金の使い方」のうち「足りない」の回答率

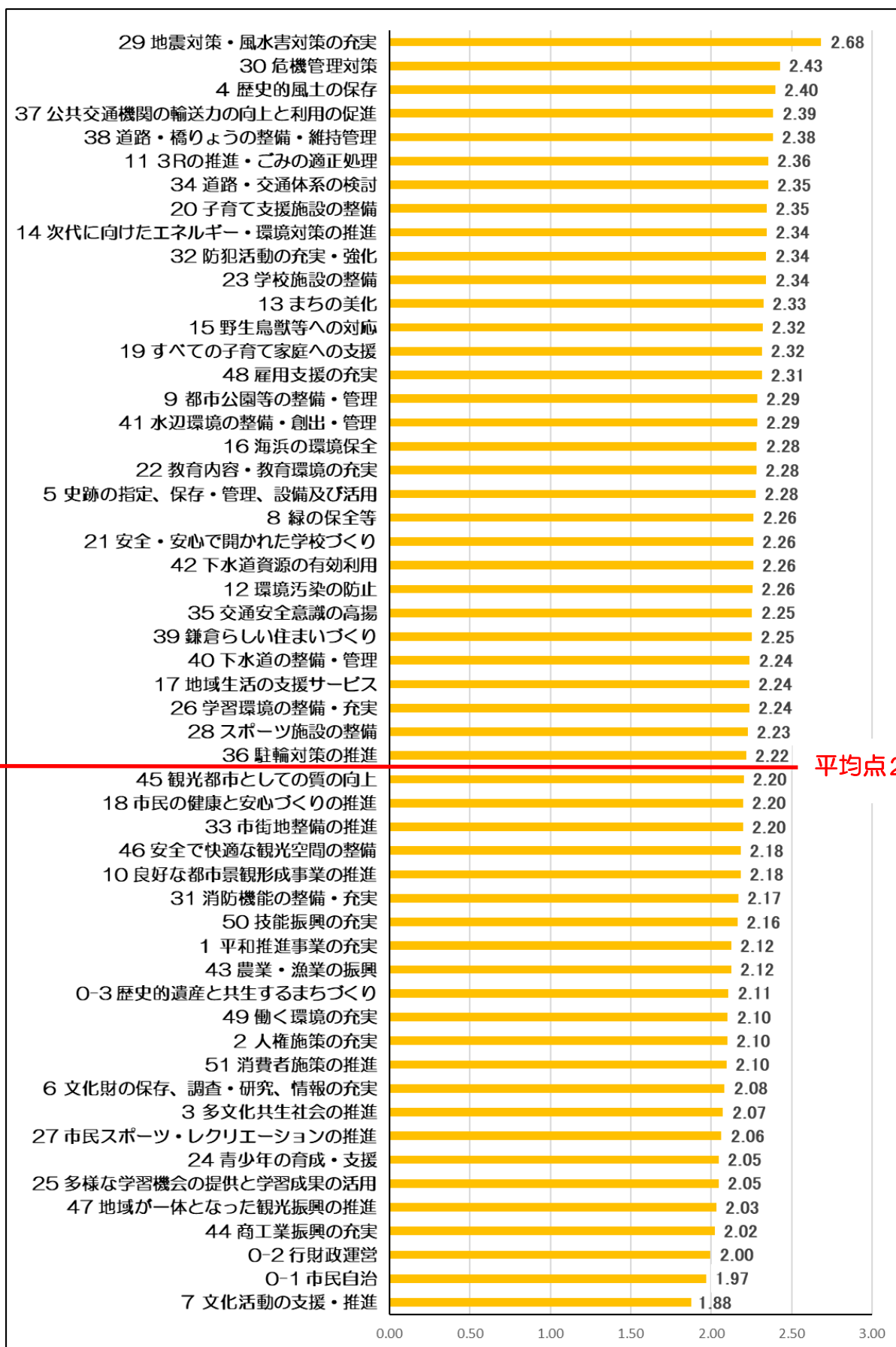
### **(3) 施策の重要度（今後の進め方）** **(問9)**

施策の重要度を測る問9「今後の進め方」の回答については、以下の3段階の評価点を与えてスコア※を算出しています。

※ スコア化は、各項目の3段階評価の回答が「もっと力をいれてほしい」の場合、3点、「このままでよい」2点、「力を入れなくてよい」1点で、その平均値を算出しました。スコアは1点から3点の範囲で、数値が算出されます。

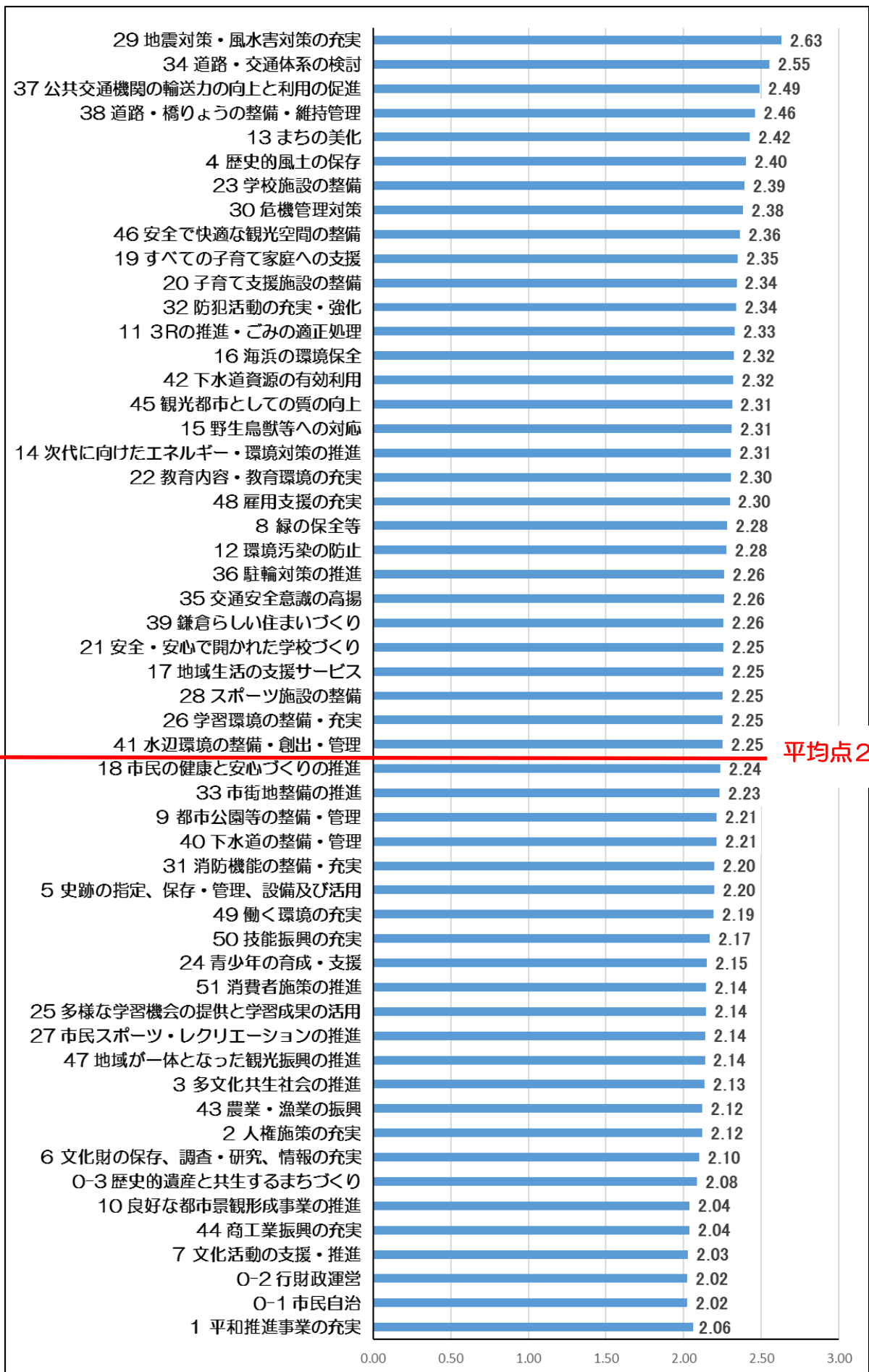
「今後の進め方」の回答について、上記のとおり評価点を与えて、54の施策の全体平均点は2.22となり、54の施策のうち、平均点以上は31の施策、反対に平均点以下は23の施策でした。一番得点の高かったものは「29 地震対策・風水害対策の充実」が2.68、「30 危機管理対策」が2.43、「4 歴史的風土の保存」が2.40、「37 公共交通機関の輸送力の向上と利用の促進」が2.39、「38 道路・橋りょうの整備・維持管理」が2.38でした。

一方で得点の低いのは、「7 文化活動の支援・推進」が1.88、次いで「0-1 市民自治」が1.97、「0-2 行財政運営」が2.00、「44 商工業振興の充実」が2.02となっています。



平均点2.22

【図 14-1】令和元年度(2019年) 各施策ごとの重要度 平均点スコア一覧



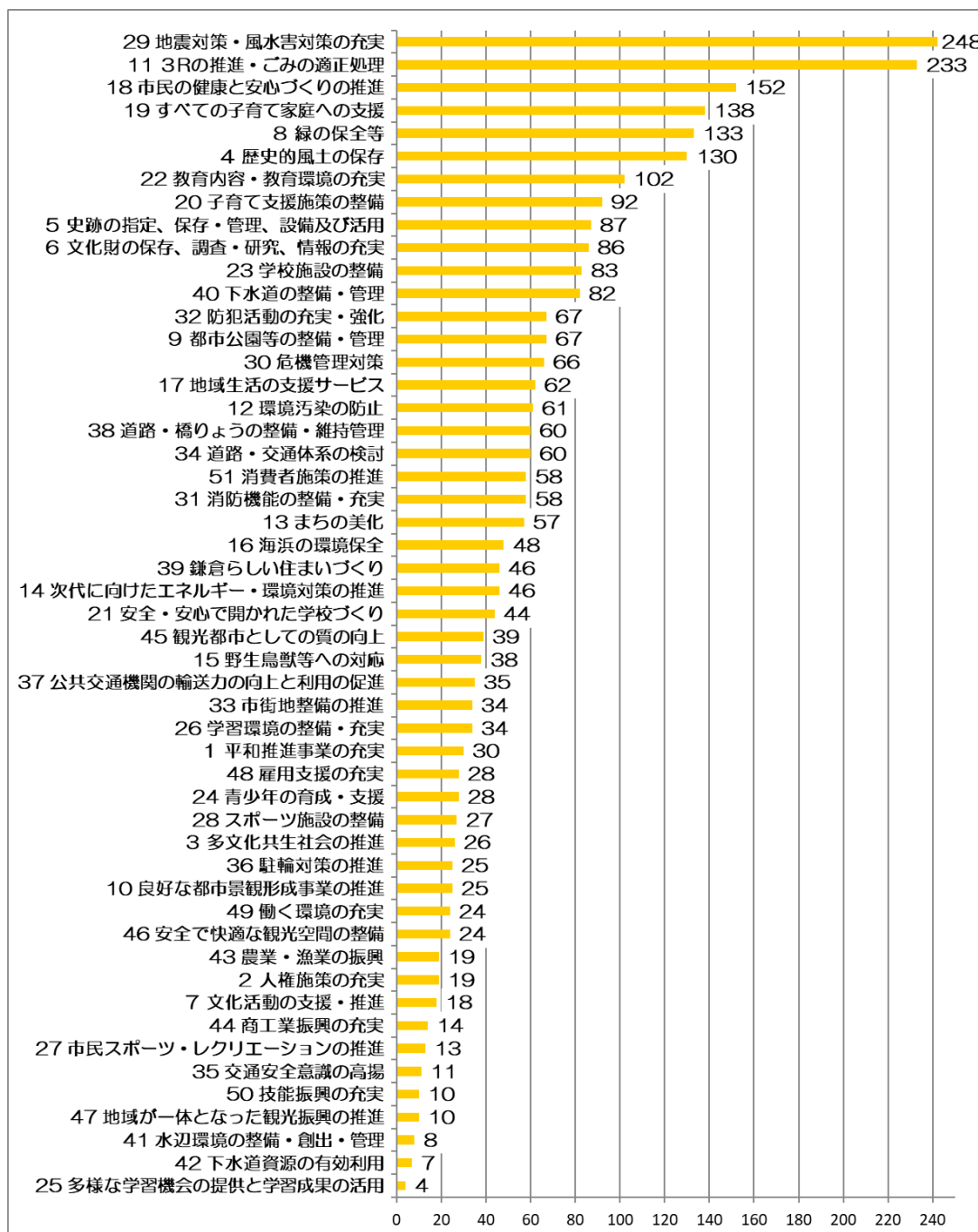
平均点 2.25

【図 14-2】 (参考)平成 30 年度(2018 年) 各施策ごとの重要度 平均点スコア一覧

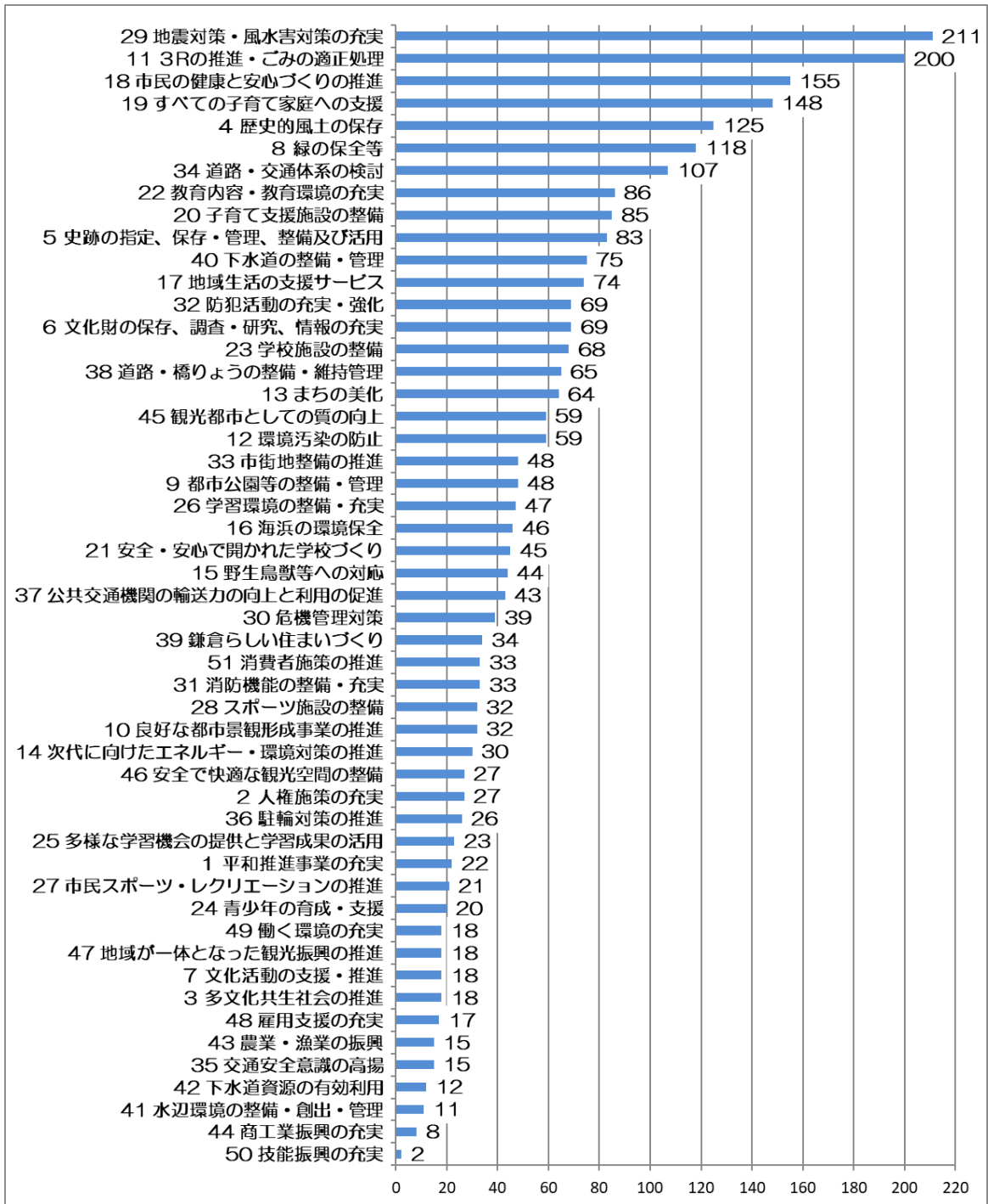
#### (4) 施策間の重要度 (問 10)

施策間の重要度については、問 10 にて、51 の施策について、「重要である」と思うもの、「重要でない」と思うものをそれぞれ5つずつ挙げていただき、その数により、鎌倉市民の皆様の施策間の重要度の傾向を測りました。

「重要であるもの」として、数が多かったものは、「29 地震対策・風水害対策の充実」、「11 3Rの推進・ごみの適正処理」、「18 市民の健康と安心づくりの推進」、「19 すべての子育て家庭への支援」、「8 緑の保全等」が挙げられています。

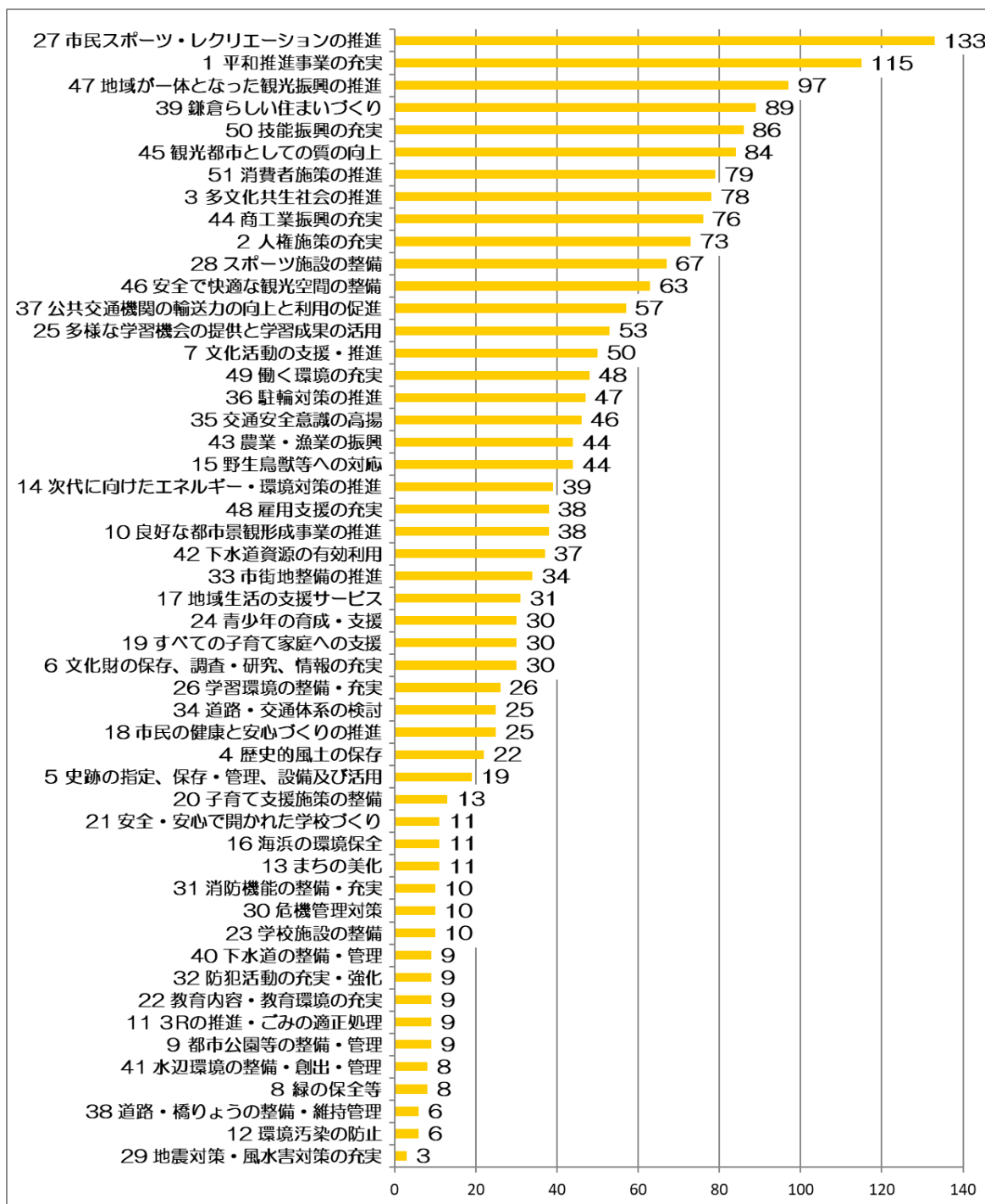


【図 15-1】令和元年度(2019 年度)「重要であると思うもの」の回答数

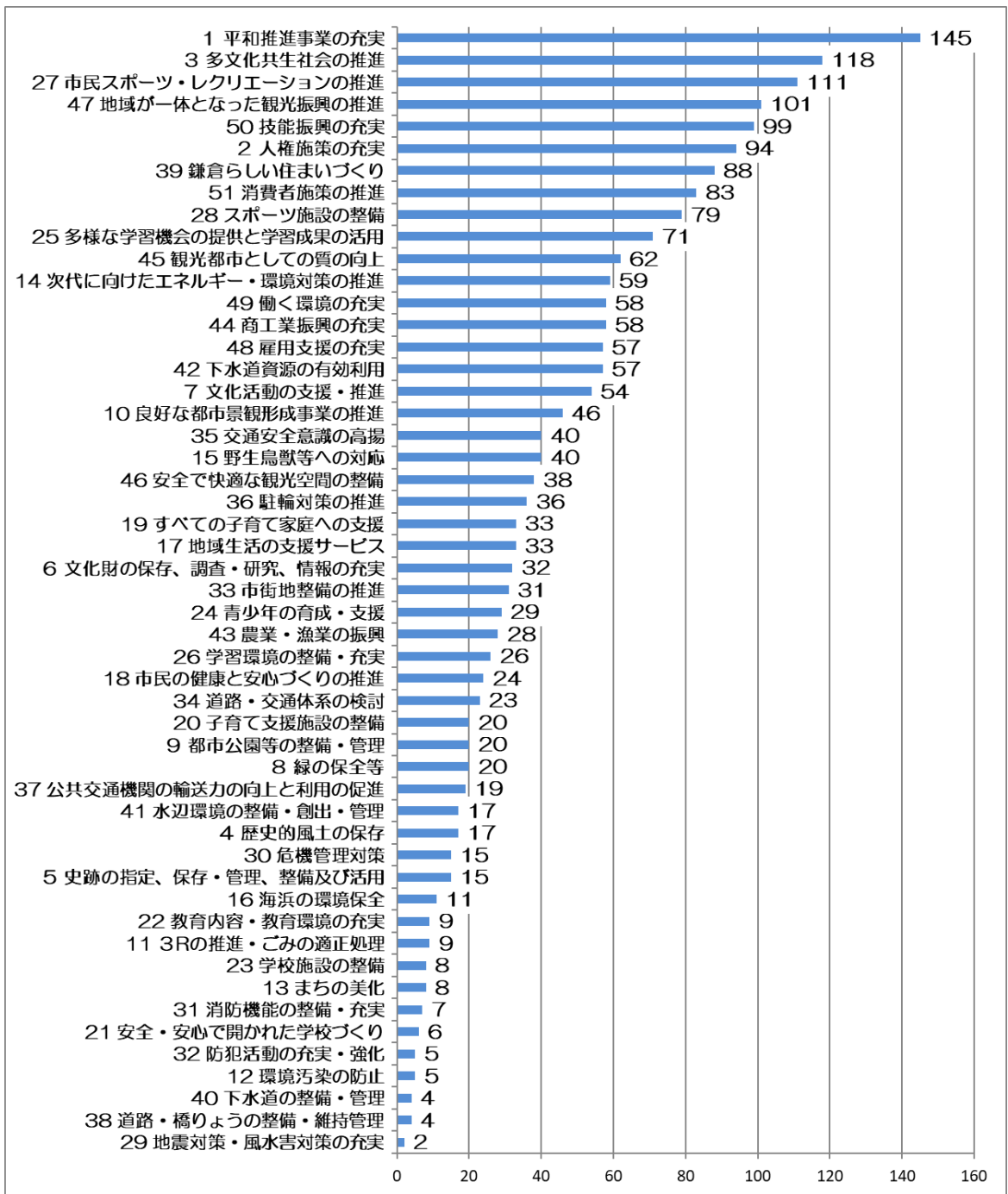


【図 15-2】(参考)平成 30 年度 (2018 年)「重要であると思うもの」の回答数

一方で「重要でないもの」として、数が多かったものは、「27 市民スポーツ・レクリエーションの推進」、「1 平和推進事業の充実」、「47 地域が一体となった観光振興の推進」、「39 鎌倉らしい住まいづくり」、「50 技能振興の充実」が挙げられています。



【図 16-1】令和元年度(2019 年度)「重要でないと思うもの」の回答数

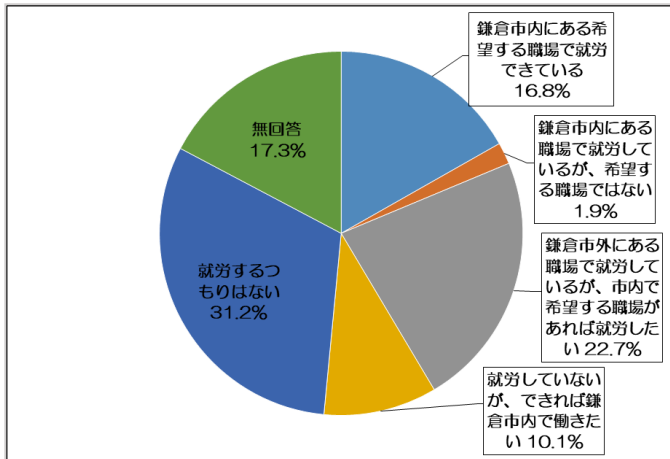


【図 16-2】(参考)平成 30 年度 (2018 年)「重要でないと思うもの」の回答数

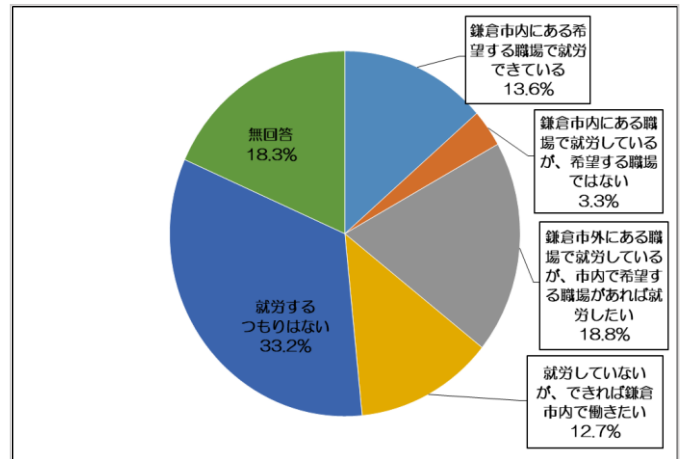


**(5) 鎌倉市内での就労の意向 (n=625) (問 11)**

令和元年度(2019 年度)



平成 30 年度(2018 年度)



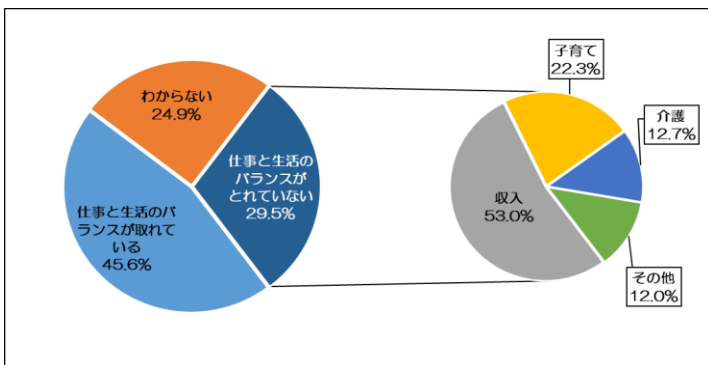
**【図 17】「鎌倉市内での就労の意向」の回答率**

(左：令和元年度 右：平成 30 年度)

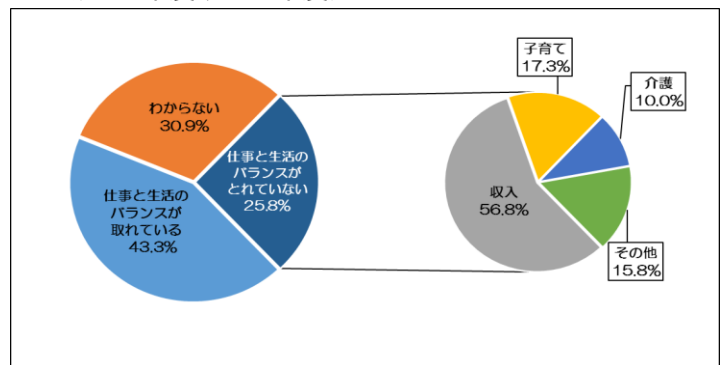
問 11 で「鎌倉市内にある希望する職場で就労できている」、「鎌倉市内にある職場で就労しているが、希望する職場でない」、「鎌倉市外にある職場で就労しているが、市内で希望する職場があれば就労したい」、「就労していないが、できれば鎌倉市内で働きたい」、「就労するつもりはない」の 5 つから選択していただき、特に、鎌倉市内で働きたいという方の割合（「鎌倉市外にある職場で就労しているが、市内で希望する職場があれば就労したい」、「就労していないができれば鎌倉市内で働きたい」の割合）は合わせて約 32.8%となっています。

**(6) ワークライフバランスの現状 (n=625) (問 12)**

令和元年度(2019 年度)



平成 30 年度(2018 年度)



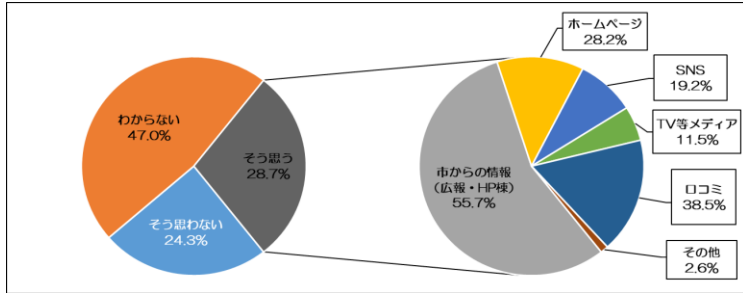
**【図 18】「ワークライフバランスの現状」に関する回答率**

(左：令和元年度 右：平成 30 年度)

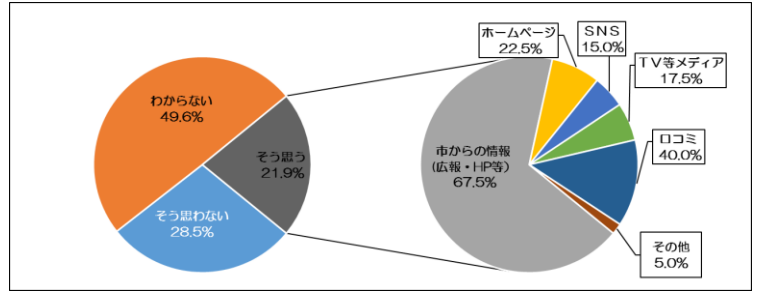
問 12 で「仕事と生活のバランスがとれている」、「仕事と生活のバランスがとれていない」、「わからない」の 3 つから選択していただき、「仕事と生活のバランスが取れている」は 45.6%、「仕事と生活のバランスがとれていない」は 29.5%、「わからない」は 24.9%となっています。また、「仕事と生活のバランスがとれていない」と答えた方が要因として挙げられたのは、「収入」が 53.0%、「子育て」が 22.3%、「介護」が 12.7%、「その他」が 12.0%となっています。

**(7) 子育てに関する情報発信について (問 13)**

令和元年度(2019 年度)



平成 30 年度(2018 年度)



**【図 19】「子育てに関する情報発信」に関する回答率**

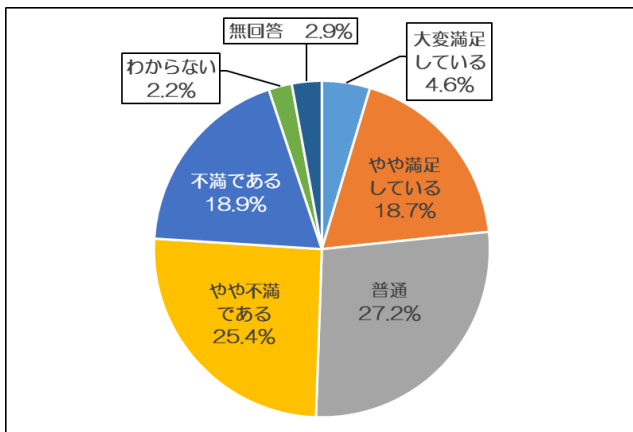
(左：令和元年度 右：平成 30 年度)

問 13 で子育てに関する情報を得やすいまちかという質問に対して、「そう思う」、「そう思わない」、「わからない」の 3 つから選択していただき、「そう思う」は 28.7%、「そう思わない」は 24.3%、「わからない」は 47.0%となっています。また、「そう思う」と答えられた方のうち、何から情報を得ているかという質問に対しては、「市からの情報（広報・HP 等）」が 55.7%、民間からの情報として、「ホームページ」が 28.2%、「SNS」が 19.2%、「TV 等メディア」が 11.5%、「口コミ」が 38.5%、「その他」が 2.6%となっています。

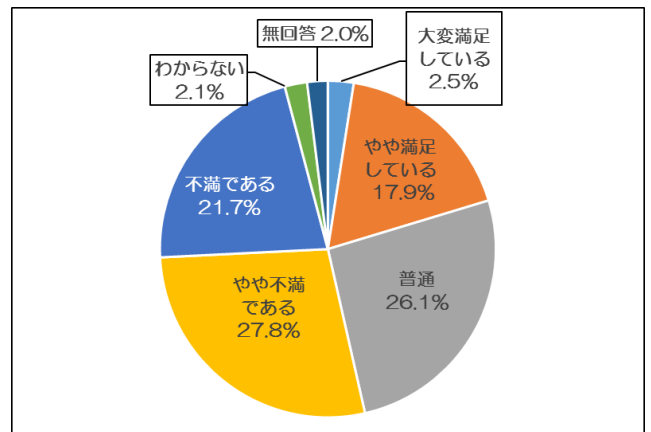
**(8) 観光に関する鎌倉市民としての意識について (問 14、問 15)**

① 鎌倉市民として観光の現状に対する満足度

令和元年度(2019 年度)



平成 30 年度(2018 年度)



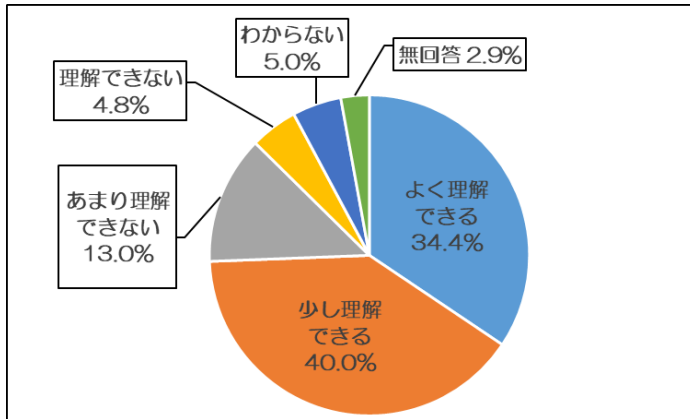
**【図 20】「鎌倉市民としての観光の現状に対する満足度」に関する回答率**

(左：令和元年度 右：平成 30 年度)

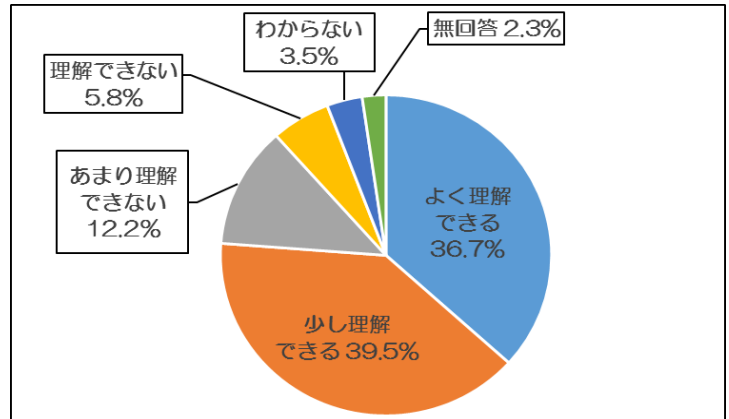
問 14 にて鎌倉市民として観光の現状に対する満足度として、「大変満足している」、「やや満足している」、「普通」、「やや不満である」、「不満である」、「わからない」の 6 つから選択していただき、特に観光の現状に満足している割合（「大変満足している」、「やや満足している」の割合の合計）は約 20.4%となっています。

## ② 鎌倉市民の観光振興の理解度

令和元年度(2019年度)



平成30年度(2018年度)

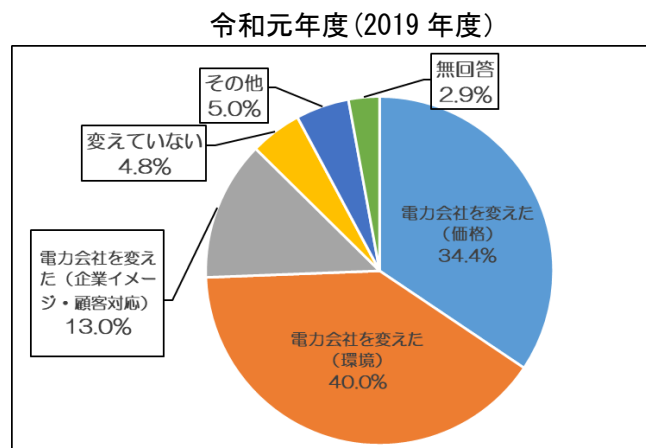


【図21】「鎌倉市民の観光振興の理解度」に関する回答率

(左：令和元年度 右：平成30年度)

問15にて鎌倉市民の観光振興に対する理解度として、「よく理解できる」、「少し理解できる」、「あまり理解できない」、「理解できない」、「わからない」の5つから選択していただき、特に鎌倉市の観光振興について、「理解できる」の割合（「よく理解できる」、「少し理解できる」の割合の合計）は約74.4%となっています。

## （9）電力自由化に伴う電力会社の選択について（問16）

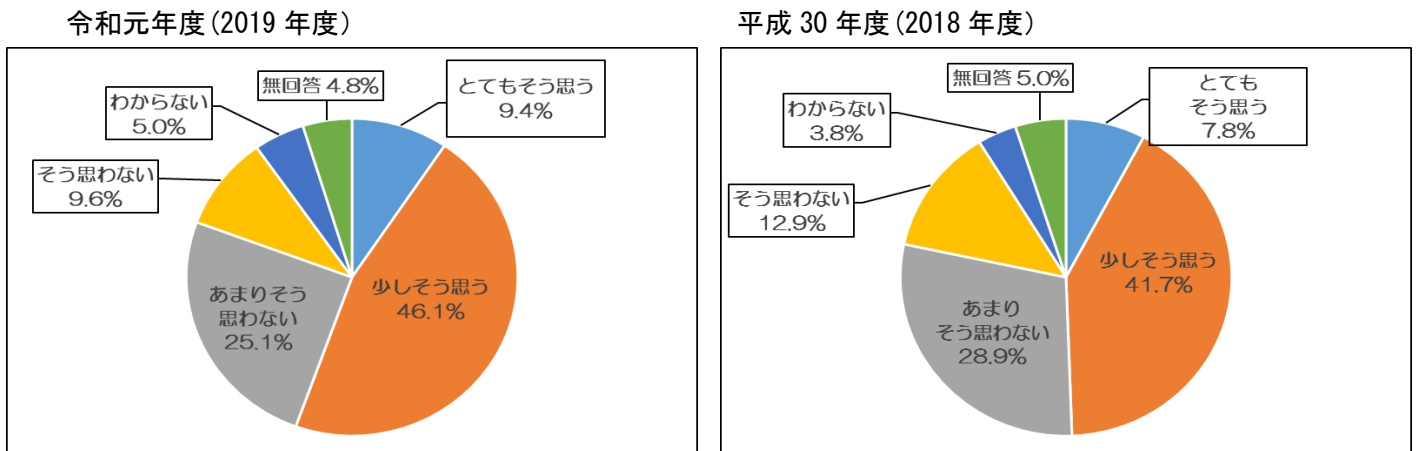


【図22】「電力自由化に伴う電力会社の選択」に関する回答率

問16にて、2016年（平成28年）4月1日以降の電力自由化に伴う電力会社の選択について「電力会社を変えた（価格をポイント）」、「電力会社を変えた（環境貢献をポイント）」、「電力会社を変えた（企業イメージ・顧客対応をポイント）」、「変えていない」、「その他」の5つから選択していただき、「電力会社を変えた」の割合が全体の約87.4%で、そのうち、電力会社の変更のポイントとして、「環境」は40.0%、「価格」は34.4%、「企業イメージ・顧客対応」は13.0%となっています。

(10) 鎌倉市の「まちのイメージ」について (問 17)

① 「文化活動が活発であり、新たな文化の創造・発信をおこなっているまち」だと感じている鎌倉市民の割合



【図 23】「文化活動」に関する回答率

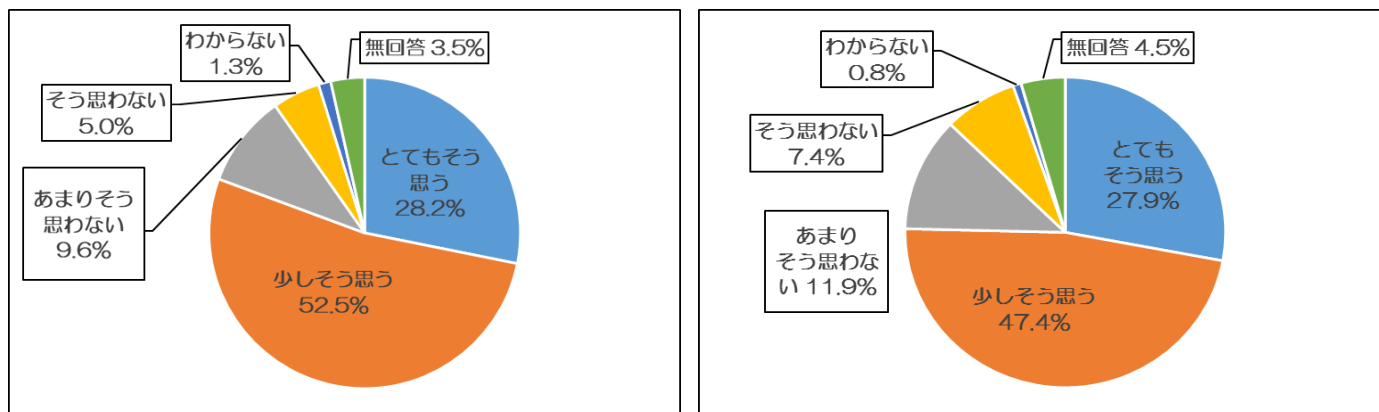
(左：令和元年度 右：平成30年度)

問 17 にて文化活動が活発であり、新たな文化の創造・発信をおこなっているまちだと思いますか」という質問に対して、「とてもそう思う」、「少しそう思う」、「あまりそう思わない」、「そう思わない」、「わからない」の5つから選択していただき、特に「そう思う」とした割合(「とてもそう思う」、「少しそう思う」の割合の合計)は約 55.5%となっています。

②「豊かな歴史的遺産が大切に保全され、伝統的な文化が保存・継承されているまち」だと感じている鎌倉市民の割合

令和元年度(2019年度)

平成30年度(2018年度)



【図24】「歴史的遺産の保全」に関する回答率

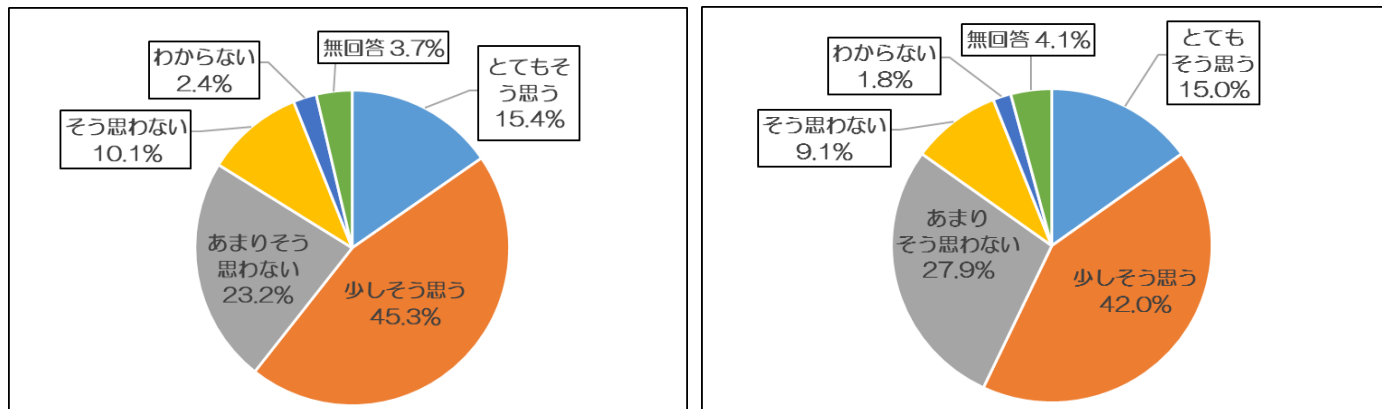
(左：令和元年度 右：平成30年度)

問17にて「豊かな歴史的遺産が大切に保全され、伝統的な文化が保存・継承されているまちだと思いますか」という質問に対して、「とてもそう思う」、「少しそう思う」、「あまりそう思わない」、「そう思わない」、「わからない」の5つから選択していただき、特に「そう思う」とした割合（「とてもそう思う」、「少しそう思う」の割合の合計）は約80.7%となっています。

③「豊かな自然や自然的景観を大切に保全するとともに、鎌倉市民がみどりとふれあえるまち」だと感じている割合

令和元年度(2019年度)

平成30年度(2018年度)



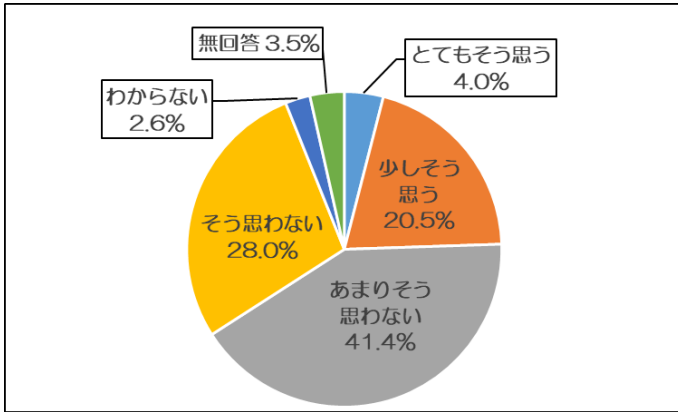
【図25】「自然景観の保全」に関する回答率

(左：令和元年度 右：平成30年度)

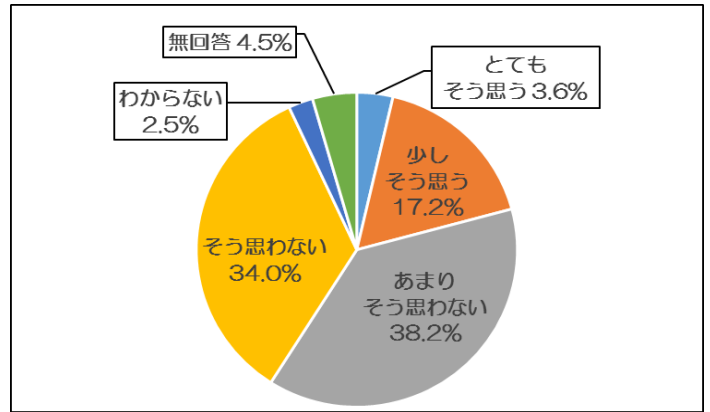
問17にて「豊かな自然や自然的景観を大切に保全するとともに、市民がみどりとふれあえるよう、積極的な活用を図っているまちだと思いますか」という質問に対して、「とてもそう思う」、「少しそう思う」、「あまりそう思わない」、「そう思わない」、「わからない」の5つから選択していただき、特に「そう思う」とした割合（「とてもそう思う」、「少しそう思う」の割合の合計）は約60.7%となっています。

④「まちづくりが計画的に進められていて、生活しやすい市街地が形成されているまち」だと感じている割合

令和元年度(2019年度)



平成30年度(2018年度)



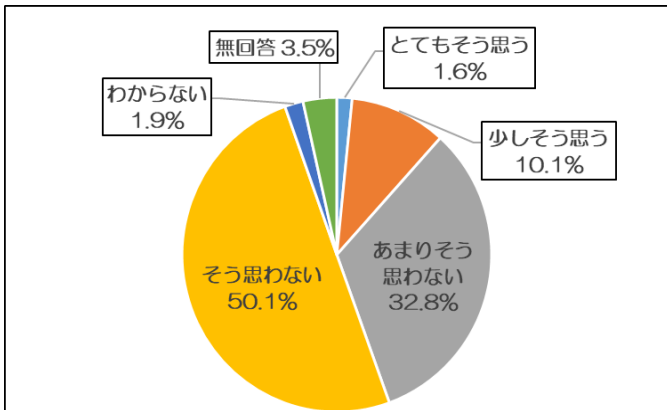
【図26】「まちづくり」に関する回答率

(左：令和元年度 右：平成30年度)

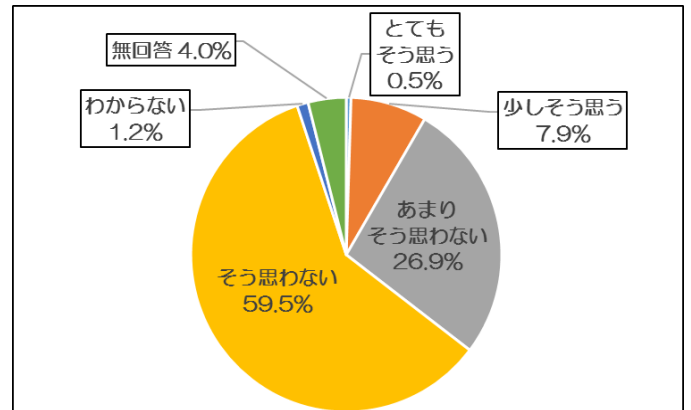
問17にて「まちづくりが計画的に進められていて、生活しやすい市街地が形成されているまちだと思いますか」という質問に対して、「とてもそう思う」、「少しそう思う」、「あまりそう思わない」、「そう思わない」、「わからない」の5つから選択していただき、特に「そう思う」とした割合（「とてもそう思う」、「少しそう思う」の割合の合計）は約24.5%となっています。

⑤ 幹線道路については、スムーズな交通環境が、また、生活道路については安全な歩行空間が確保されているまちだと感じている割合

令和元年度(2019年度)



平成30年度(2018年度)



【図27】「交通環境」に関する回答率

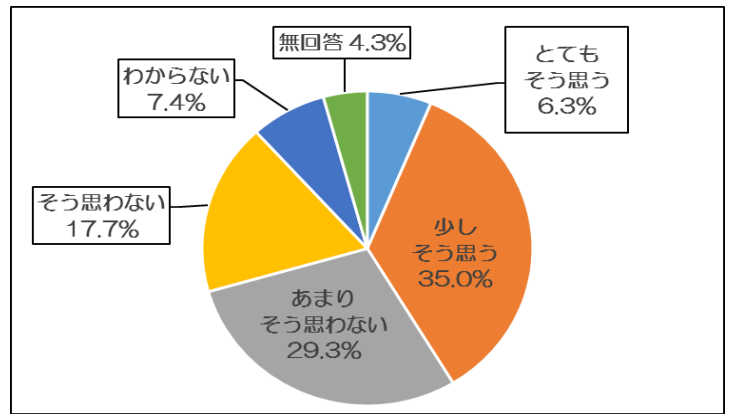
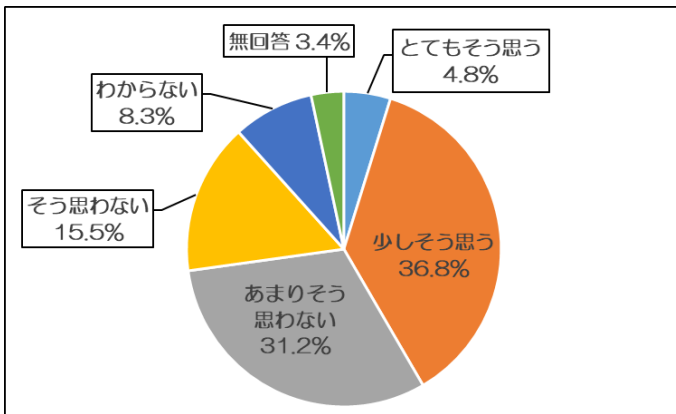
(左：令和元年度 右：平成30年度)

問17にて「幹線道路については、スムーズな交通環境が、また、生活道路については安全な歩行空間が確保されているまちだと思いますか」という質問に対して、「とてもそう思う」、「少しそう思う」、「あまりそう思わない」、「そう思わない」、「わからない」の5つから選択していただき、特に「そう思う」とした割合（「とてもそう思う」、「少しそう思う」の割合の合計）は約11.7%となっています。

⑥ 地域におけるコミュニティ活動（自治会・町内会、NPO活動など）が盛んなまちだと感じている割合

令和元年度(2019年度)

平成30年度(2018年度)



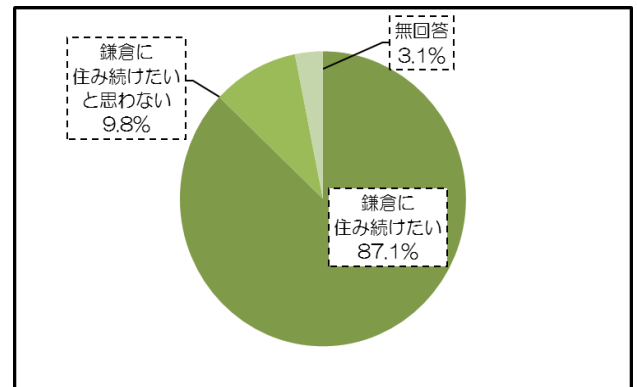
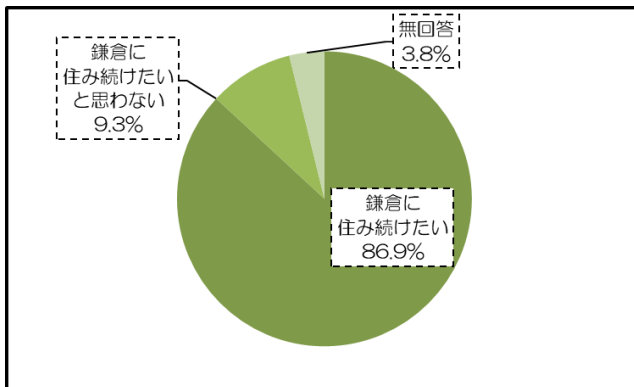
【図28】「地域におけるコミュニティ活動」に関する回答率  
(左：令和元年度 右：平成30年度)

問17にて「地域におけるコミュニティ活動（自治会・町内会、NPO活動など）が盛んなまちだと感じますか」という質問に対して、「とてもそう思う」、「少しそう思う」、「あまりそう思わない」、「そう思わない」、「わからない」の5つから選択していただき、特に「そう思う」とした割合（「とてもそう思う」、「少しそう思う」の割合の合計）は約41.6%となっています。

(11) これからも鎌倉に住み続けたいか (問18-1、問18-2)

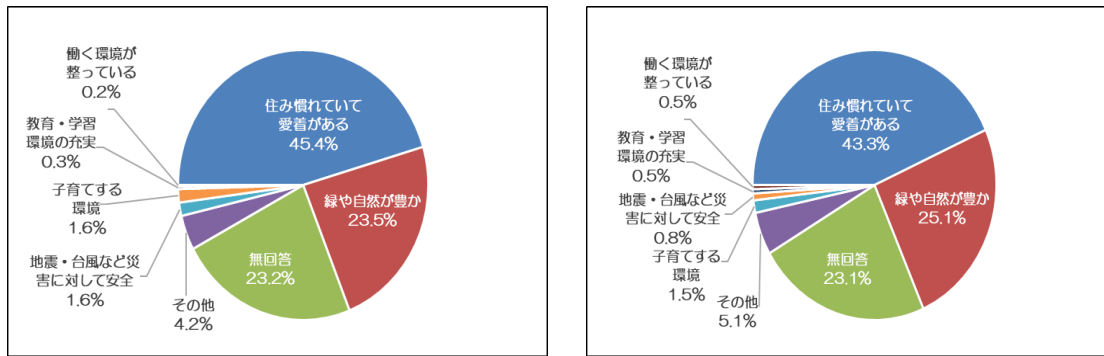
令和元年度(2019年度)

平成30年度(2018年度)



【図29-1】「鎌倉に住み続けたい」の回答率  
(左：令和元年度 右：平成30年度)

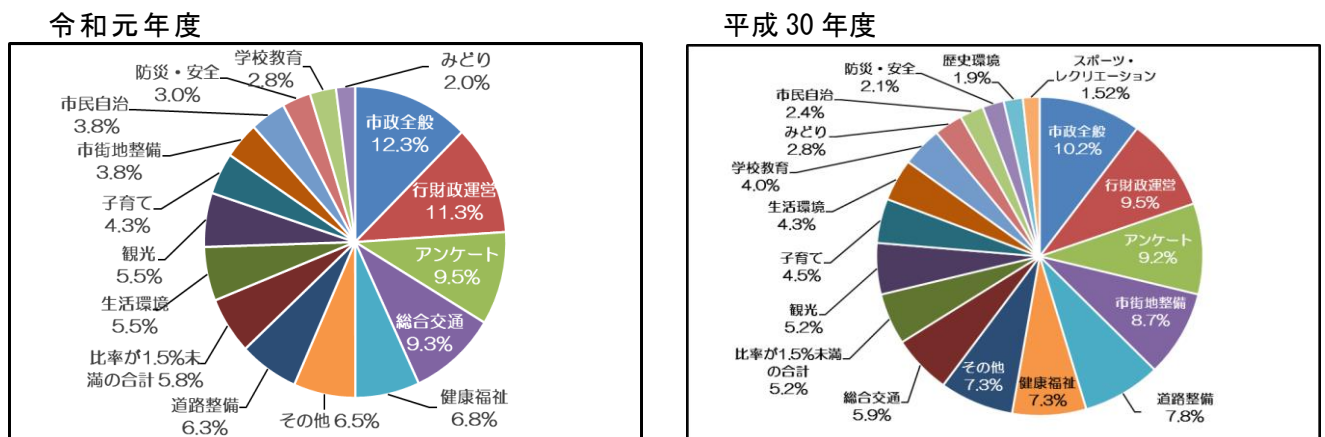
問18-1で「鎌倉にこれからも住み続けたいか」を「住み続けたいと思う」、もしくは「住み続けたいと思わない」の2つから選択していただき、令和元年度は86.9%が「住み続けたいと思う」と答えており、大半の人が今後も鎌倉で生活することを希望していると考えられます。昨年度の平成30年度の87.1%より0.2%下がっています。



【図 29-2】 「鎌倉に住み続けたい理由」の回答率  
(左：令和元年度 右：平成30年度)

今回の調査から、問 18-1 で「鎌倉にこれからも住み続けたいか」を「住み続けたいと思う」と回答した方に対し、その理由を「1 住み慣れていて愛着があるから」、「2 緑や自然が豊かだから」、「3 地震・台風など災害に対して安全だから」、「4 子育てする環境として適しているから」、「5 教育・学習環境が充実しているから」、「6 働く環境が整っているから」、「7 その他」のうちから選択していただいたところ、「1 住み慣れていて愛着がある」が 45.4%、続いて「2 緑や自然が豊か」が 23.5%となっています。

(12) 自由記述欄



【図 30】 自由記述の分野別比率  
(左：令和元年度 右：平成30年度)

令和元年度の調査においては、様々なご意見・感想をいただきました中で比較的多い内容としては、「市政全般」12.3%、「行財政運営」11.3%、「今回のアンケートについて」9.5%、「総合交通」9.3%、「健康福祉」6.8%が挙げられています。



## 第2章 調査結果（データ）



# 質問

## 1 平和推進事業の充実

…平和を基調にした世界に誇れるまちをめざし、平和都市宣言及び鎌倉市民憲章の精神に基づいて、平和意識の醸成を図るための平和推進事業の実施などに取り組みます。

### ■令和元年度の主な事業

・「鎌倉平和推進実行委員会」(公募市民で構成)との協働による平和推進事業の実施 <92万円>

### ◎参考

・平和推進事業…  
憲法記念日のつどい、  
平和のつどい、  
出前講話、パネル展、  
戦争体験証言記録  
(映像)の作成など



出前講話”平和”

### ◆この施策にかかる経費( )は前年度データ

**802万円** ※全体予算に占める割合  
(800万円) …**0.01%**(0.01%)

この施策にかかる経費を市民一人あたりに換算した額	<b>47円</b> (46円)
鎌倉市の負担を市民一人あたりに換算した額	
この施策に従事する職員数(職員給与費は経費に含む。)	<b>0.9人</b> (0.9人)

## あなたの回答

(それぞれ一つの番号に○をつけてください)

仕事の効果	1	必要以上の効果	4を選んだ方 ↓ 「今後の進め方」の項目はへ
	2	ちょうどよい	
	3	効果不十分	
	4	取組を知らない・わからない	
お金の使い方	1	使いすぎ	「今後の進め方」の項目はへ
	2	ちょうどよい	
	3	足りない	
今後の進め方	1	もっと力を入れるべき	「今後の進め方」の項目はへ
	2	現状のままでよい	
	3	力をいれなくてよい	

# 集計結果

### (1) 仕事の効果 ( ) 内は回答数

	必要以上の効果	ちょうどよい	効果不十分	取組を知らない・わからない	無回答	全体
R1	<b>1.4%</b> (9)	<b>34.6%</b> (216)	<b>15.0%</b> (94)	<b>45.8%</b> (286)	<b>3.2%</b> (20)	100.0% (625)
H30(参考)	1.0% (6)	30.6% (185)	16.2% (98)	49.6% (300)	2.6% (16)	100.0% (605)

「仕事の効果」のうち、「取組を知らない・わからない」の回答が45.8%と最も多く、54の施策のうち「取組を知らない・わからない」が最も高い数値でした。

### (2) お金の使い方 ( ) 内は回答数

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない	無回答	全体
R1	<b>7.7%</b> (48)	<b>34.7%</b> (217)	<b>7.4%</b> (46)	<b>50.2%</b> (314)	100.0% (625)
H30(参考)	7.1% (43)	32.2% (195)	6.8% (41)	53.9% (326)	100.0% (605)

「お金の使い方」のうち、「ちょうどよい」の回答が34.7%と最も多く、続いて「使いすぎ」が7.7%でした。

### (3) 仕事の効果×お金の使い方

取組を知らない・わからない **45.8%**

		お金の使い方		
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
仕事の効果	必要以上の効果	1.0%	0.3%	0.2%
	ちょうどよい	1.8%	<b>31.0%</b>	0.8%
	効果不十分	5.0%	3.4%	6.4%

令和元年度

取組を知らない・わからない **49.6%**

		お金の使い方		
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
仕事の効果	必要以上の効果	0.8%	0.2%	0.0%
	ちょうどよい	1.2%	<b>27.4%</b>	0.5%
	効果不十分	5.1%	4.6%	6.3%

平成30年度

「取組を知らない・わからない」の割合が45.8%となっており、回答のほぼ半数がこの施策について知らない、わからないという結果であることから、まずは市民への周知が必要な施策であると考えられます。

### (4) 今後の進め方 ( ) 内は回答数

	もっと力を入れるべき	現状のままでよい	力をいれなくてよい	無回答	全体
R1	<b>11.5%</b> (72)	<b>31.8%</b> (199)	<b>5.4%</b> (34)	<b>51.2%</b> (320)	100.0% (625)
H30(参考)	10.6% (64)	27.4% (166)	7.8% (47)	54.2% (328)	100.0% (605)

今後の進め方については、「現状のままでよい」が31.8%、「もっと力を入れるべき」が11.5%でした。

## 質問

### 2 人権施策の充実

…市民一人ひとりの人権が尊重されるまちをめざし、人権意識の醸成、人権関係機関との連携、人権施策の充実、男女共同参画社会の実現に向けた総合的な施策の実施などに取り組みます。

#### ■令和元年度の主な事業

- ・人権啓発のための講座や講演会の実施 <<24万円>>
- ・「子どもの人権啓発カード」(19,000枚)の製作・配付 <<8万円>>
- ・女性が抱える悩みに答える電話・面談による相談の実施 <<107万円>>

#### ◎参考

・人権啓発講演会、人権問題講座…一人ひとりの人権意識を高め、さまざまな人権への理解を深めるため、年各1回開催



人権啓発講演会の様子

#### ◆この施策にかかる経費（ ）は前年度データ

**2,173万円** ※全体予算に占める割合  
(2,390万円) …**0.02%**(0.02%)

この施策にかかる経費を市民一人あたりに換算した額	126円 (139円)
鎌倉市の負担を市民一人あたりに換算した額	118円 (127円)
この施策に従事する職員数(職員給与費は経費に含む。)	1.9人 (2.1人)

### あなたの回答

(それぞれ一つの番号に○をつけてください)

仕事の効果	1	必要以上の効果	4を選んだ方 ↓ 「お金の使い方の項目は」 「今後の進め方」
	2	ちょうどよい	
	3	効果不十分	
	4	取組を知らない・分からない	
お金の使い方	1	使いすぎ	「お金の使い方の項目は」
	2	ちょうどよい	
	3	足りない	
今後の進め方	1	もっと力を入れるべき	「今後の進め方の項目は」
	2	現状のままで満足	
	3	力をいれなくてよい	

## 集計結果

#### (1) 仕事の効果 ( ) 内は回答数

	必要以上の効果	ちょうどよい	効果不十分	取組を知らない・わからない	無回答	全体
R1	1.4% (9)	35.8% (224)	19.0% (119)	40.5% (253)	3.2% (20)	100.0% (625)
H30(参考)	2.0% (12)	35.5% (215)	18.2% (110)	41.7% (252)	2.6% (16)	100.0% (605)

「仕事の効果」のうち、「取組を知らない・わからない」の回答が40.5%と最も多く、54の施策うち「取組を知らない・わからない」が3番目に高い数値になっています。

#### (2) お金の使い方 ( ) 内は回答数

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない	無回答	全体
R1	11.5% (72)	36.5% (228)	5.4% (34)	46.6% (291)	100.0% (625)
H30(参考)	13.4% (81)	32.4% (196)	7.6% (46)	46.6% (282)	100.0% (605)

「お金の使い方」のうち、「ちょうどよい」の回答が36.5%と最も多く、続いて「使いすぎ」が11.5%でした。

#### (3) 仕事の効果×お金の使い方

		取組を知らない・わからない 40.5%		
		お金の使い方		
仕事の効果	必要以上の効果	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
	ちょうどよい	1.0%	0.3%	0.0%
	効果不十分	2.7%	31.2%	0.3%

令和元年度

		取組を知らない・わからない 41.7%		
		お金の使い方		
仕事の効果	必要以上の効果	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
	ちょうどよい	1.8%	0.0%	0.2%
	効果不十分	4.8%	28.3%	1.2%

平成30年度

「取組を知らない・わからない」の割合が40.5%となっており、回答の約4割がこの施策について知らない、分からないという結果であることから、まずは市民への周知が必要な施策であると考えられます。

#### (4) 今後の進め方 ( ) 内は回答数

	もっと力を入れるべき	現状のままでよい	力をいれなくてよい	無回答	全体
R1	12.0% (75)	33.6% (210)	6.7% (42)	47.7% (298)	100.0% (625)
H30(参考)	14.4% (87)	30.4% (184)	8.1% (49)	47.1% (285)	100.0% (605)

今後の進め方については、「現状のままでよい」が33.6%、「もっと力を入れるべき」が12.0%でした。

## 質問

### 3 多文化共生社会の推進

…さまざまな国籍・文化の人々が安心して暮らせるまちづくりを推進するため、多文化共生社会への理解、外国籍市民が暮らしやすい環境の整備、国際交流・協力活動への支援・促進などに取り組みます。

#### ■令和元年度の主な事業

- ・多文化共生社会への理解を深めるための国際理解講座、国際交流フェスティバルの開催など、国際交流事業の実施 <23万円>
- ・ホストタウン構想に基づく、フランスとの国際交流 <112万円>
- ・姉妹都市である萩市への親善訪問、市制80周年を記念した姉妹都市との交流 <140万円>

#### ◎参考

- ・姉妹都市  
フランス・ニース市(昭和41年)  
山口県萩市(昭和54年)  
長野県上田市(昭和54年)  
栃木県足利市(昭和57年)
- ・友好都市  
中華人民共和国・敦煌市(平成10年)

#### ◆この施策にかかる経費( )は前年度データ

**2,453万円** ※全体予算に占める割合  
(1,674万円) …**0.02%**(0.02%)

この施策にかかる経費を市民一人あたりに換算した額	<b>142円</b> (97円)
鎌倉市の負担を市民一人あたりに換算した額	
この施策に従事する職員数(職員給与費は経費に含む。)	<b>2.0人</b> (1.0人)

### あなたの回答

(それぞれ一つの番号に○をつけてください)

仕事の効果	1	必要以上の効果	4を選んだ方 ↓ 「お金の使い方」項目は「今後の進め方」
	2	ちょうどよい	
	3	効果不十分	
	4	取組を知らない・分からない	
お金の使い方	1	使いすぎ	「お金の使い方」項目は「今後の進め方」
	2	ちょうどよい	
	3	足りない	
今後の進め方	1	もっと力を入れるべき	「今後の進め方」項目は「お金の使い方」
	2	現状のままでよい	
	3	力をいれなくてよい	

## 集計結果

#### (1) 仕事の効果 ( )内は回答数

	必要以上の効果	ちょうどよい	効果不十分	取組を知らない・分からない	無回答	全体
R1	<b>2.9%</b> (18)	<b>38.6%</b> (241)	<b>19.0%</b> (119)	<b>35.7%</b> (223)	<b>3.8%</b> (24)	100.0% (625)
H30(参考)	3.6% (22)	35.2% (213)	21.3% (129)	37.2% (225)	2.6% (16)	100.0% (605)

「仕事の効果」のうち、「取組を知らない・分からない」の回答が35.7%と最も多く、54の施策のうち「取組を知らない・分からない」が5番目に高い数値になっています。

#### (2) お金の使い方 ( )内は回答数

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない	無回答	全体
R1	<b>13.8%</b> (86)	<b>37.9%</b> (237)	<b>6.4%</b> (40)	<b>41.9%</b> (262)	100.0% (625)
H30(参考)	10.9% (66)	36.9% (223)	10.2% (62)	42.0% (254)	100.0% (605)

「お金の使い方」のうち、「ちょうどよい」の回答が37.9%と最も多く、続いて「使いすぎ」が13.8%でした。

#### (3) 仕事の効果×お金の使い方

		お金の使い方			取組を知らない・わからない 35.7%
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない	
仕事の効果	必要以上の効果	1.6%	1.3%	0.0%	35.7%
	ちょうどよい	3.5%	<b>32.2%</b>	1.1%	
	効果不十分	8.6%	4.5%	5.3%	

令和元年度

		お金の使い方			取組を知らない・わからない 37.2%
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない	
仕事の効果	必要以上の効果	3.0%	0.7%	0.0%	37.2%
	ちょうどよい	2.5%	<b>30.9%</b>	0.7%	
	効果不十分	5.5%	5.3%	9.6%	

平成30年度

「取組を知らない・分からない」の割合が35.7%となっており、回答の約4割がこの施策について知らない、分からないという結果であることから、まずは市民への周知が必要な施策であると考えられます。

#### (4) 今後の進め方 ( )内は回答数

	もっと力を入れるべき	現状のままでよい	力をいれなくてよい	無回答	全体
R1	<b>13.6%</b> (85)	<b>35.7%</b> (223)	<b>9.3%</b> (58)	<b>41.4%</b> (259)	100.0% (625)
H30(参考)	16.4% (99)	34.0% (206)	8.4% (51)	41.2% (249)	100.0% (605)

今後の進め方については、「現状のままでよい」が35.7%、「もっと力を入れるべき」が13.6%でした。

# 質問

## 4 歴史的風土の保存

…歴史的遺産と一体となった自然的環境の保存を推進するため、歴史的風土特別保存地区の指定拡大、歴史的遺産と一体的に構成される山稜部の保存管理などに取り組みます。

### 令和元年度の主な事業

- ・風致地区内行為許可事務、近郊緑地特別保全地区内行為許可事務、特別緑地保全地区内行為許可事務等の実施 <186万円>

### ◎参考

- ・本市の風致地区の面積…約2,194ha  
(市全域の約56%)



台峯(台)からの眺望

### ◆この施策にかかる経費 ( )は前年度データ

この施策にかかる経費を市民一人あたりに換算した額	193円 (215円)
鎌倉市の負担を市民一人あたりに換算した額	192円 (214円)
この施策に従事する職員数(職員給与費は経費に含む。)	4.0人 (4.5人)

3,321万円 (3,701万円) ※全体予算に占める割合…0.03%(0.03%)

## あなたの回答

(それぞれ一つの番号に○をつけてください)

仕事の効果	1	必要以上の効果	4を選んだ方 ↓ 「お金の使い方の項目は」
	2	ちょうどよい	
	3	効果不十分	
	4	取組を知らない・分からない	
お金の使い方	1	使いすぎ	「今後の進め方」
	2	ちょうどよい	
	3	足りない	
今後の進め方	1	もっと力を入れるべき	「今後の進め方」
	2	現状のままで満足	
	3	力をいれなくてよい	

# 集計結果

### (1) 仕事の効果 ( )内は回答数

	必要以上の効果	ちょうどよい	効果不十分	取組を知らない・わからない	無回答	全体
R1	2.7% (17)	46.1% (288)	27.4% (171)	19.8% (124)	4.0% (25)	100.0% (625)
H30(参考)	3.0% (18)	46.9% (284)	31.1% (188)	17.0% (103)	2.0% (12)	100.0% (605)

「仕事の効果」のうち、「ちょうどよい」の回答が46.1%と最も多くなっています。続いて「効果不十分」が27.4%となっています。

### (2) お金の使い方 ( )内は回答数

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない	無回答	全体
R1	6.4% (40)	45.1% (282)	21.9% (137)	26.6% (166)	100.0% (625)
H30(参考)	7.8% (47)	45.8% (277)	24.8% (150)	21.7% (131)	100.0% (605)

「お金の使い方」のうち、「ちょうどよい」の回答が45.1%と最も多く、続いて「足りない」が21.9%でした。「足りない」の割合は54の施策のうち、4番目に高い数値になっています。

### (3) 仕事の効果×お金の使い方

		お金の使い方			19.8%
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない	
仕事の効果	必要以上の効果	0.8%	1.4%	0.5%	17.0%
	ちょうどよい	2.7%	39.4%	2.6%	
	効果不十分	2.9%	4.3%	18.9%	

令和元年度

		お金の使い方			17.0%
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない	
仕事の効果	必要以上の効果	2.1%	0.7%	0.2%	17.0%
	ちょうどよい	2.8%	40.8%	2.1%	
	効果不十分	2.8%	4.3%	22.5%	

平成30年度

「仕事の効果」と「お金の使い方」の組み合わせでは、「仕事の効果」が「ちょうどよい」かつ「お金の使い方」が「ちょうどよい」の一番バランスがとれている回答の割合が39.4%となっており、この組み合わせの回答の平均値(43.3%)より低い割合になっています。

### (4) 今後の進め方 ( )内は回答数

	もっと力を入れるべき	現状のままでよい	力をいれなくてよい	無回答	全体
R1	31.8% (199)	38.2% (239)	2.9% (18)	27.0% (169)	100.0% (625)
H30(参考)	34.5% (209)	39.8% (241)	3.3% (20)	22.3% (135)	100.0% (605)

今後の進め方については、「現状のままでよい」が38.2%、「もっと力を入れるべき」が31.8%でした。

## 質問

### 5 史跡の指定、保存・管理、整備及び活用

…鎌倉の貴重な歴史的遺産を守るため、史跡の公有地化、新たな史跡の指定、史跡の管理、整備及び活用などに取り組みます。

#### ■令和元年度の主な事業

- ・史跡朝夷奈切通の公有地化<<1億1,457万円>>
- ・史跡永福寺跡の環境整備・維持管理等<<1,267万円>>
- ・貴重な歴史遺産である史跡等の維持管理 <<1,500万円>>
- ・台風第15号、第19号に対する復旧対応<<1億5,079万円>>※ 補正予算等に対応

#### ◎参考

・本市の国指定史跡の数…31ヵ所

#### ◆この施策にかかる経費（）は前年度データ

2億5,154万円 ※全体予算に占める割合  
(2億6,666万円) …0.23%(0.25%)

この施策にかかる経費を市民一人あたりに換算した額	1,460円 (1,549円)
鎌倉市の負担を市民一人あたりに換算した額	584円 (539円)
この施策に従事する職員数 (職員給与費は経費に含む。)	3.0人 (4.5人)

### あなたの回答

(それぞれ一つの番号に○をつけてください)

仕事の効果	1	必要以上の効果	4を選んだ方 ↓ 「お金の使い方は」 「今後の進め方は」 項目はへ
	2	ちょうどよい	
	3	効果不十分	
	4	取組を知らない・分からない	
お金の使い方	1	使いすぎ	「お金の使い方は」 「今後の進め方は」 項目はへ
	2	ちょうどよい	
	3	足りない	
今後の進め方	1	もっと力を入れるべき	「お金の使い方は」 「今後の進め方は」 項目はへ
	2	現状のままで満足	
	3	力をいれなくてよい	

## 集計結果

#### (1) 仕事の効果（）内は回答数

	必要以上の効果	ちょうどよい	効果不十分	取組を知らない・わからない	無回答	全体
R1	4.2% (26)	51.2% (320)	24.6% (154)	16.2% (101)	3.8% (24)	100.0% (625)
H30(参考)	5.6% (34)	53.9% (326)	22.6% (137)	15.7% (95)	2.1% (13)	100.0% (605)

「仕事の効果」のうち、「ちょうどよい」の回答が51.2%と最も多く、続いて「効果不十分」が24.6%となっています。

#### (2) お金の使い方（）内は回答数

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない	無回答	全体
R1	13.3% (83)	49.3% (308)	15.8% (99)	21.6% (135)	100.0% (625)
H30(参考)	20.0% (121)	47.8% (289)	11.9% (72)	20.3% (123)	100.0% (605)

「お金の使い方」のうち、「ちょうどよい」の回答が49.3%と最も多く、続いて「足りない」が15.8%でした。

#### (3) 仕事の効果×お金の使い方

		取組を知らない・わからない 16.2%		
		お金の使い方		
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
仕事の効果	必要以上の効果	2.7%	1.1%	0.3%
	ちょうどよい	5.0%	43.0%	2.4%
	効果不十分	5.6%	5.1%	13.1%

令和元年度

		取組を知らない・わからない 15.7%		
		お金の使い方		
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
仕事の効果	必要以上の効果	4.1%	1.2%	0.2%
	ちょうどよい	9.1%	43.3%	0.7%
	効果不十分	6.8%	3.3%	11.1%

平成30年度

「仕事の効果」と「お金の使い方」の組み合わせでは、「仕事の効果」が「ちょうどよい」かつ「お金の使い方」が「ちょうどよい」の一番バランスがとれている回答の割合が43.0%となっており、この組み合わせの回答の平均値(43.3%)より低い割合になっています。

#### (4) 今後の進め方（）内は回答数

	もっと力を入れるべき	現状のままでよい	力をいれなくてよい	無回答	全体
R1	27.4% (171)	44.6% (279)	5.8% (36)	22.2% (139)	100.0% (625)
H30(参考)	22.0% (133)	50.9% (308)	6.4% (39)	20.7% (125)	100.0% (605)

今後の進め方については、「現状のままでよい」が44.6%、「もっと力を入れるべき」が27.4%でした。

# 質問

## 6 文化財の保存、調査・研究、情報の充実

…文化財の保護・継承体制の強化、発掘調査体制の強化、文化財に関する情報発信、伝統芸能の保存・継承などに取り組みます。

### あなたの回答

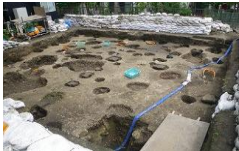
(それぞれ一つの番号に○をつけてください)

#### ■令和元年度の主な事業

- ・鎌倉歴史文化交流館(扇ガ谷)の管理・運営 <<7,316万円>>
- ・指定文化財等の保存・修理、管理及び活用のために必要な費用に対する補助 <<5,632万円>>
- ・文化財の発掘調査や出土遺物の整理・管理 <<2億1,462万円>>
- ・鎌倉国宝館(雪ノ下)の管理運営 <<7,024万円>>

#### ◎参考

・本市の国・県指定文化財の数…282件



発掘調査現場

#### ◆この施策にかかる経費( )は前年度データ

5億2,662万円 ※全体予算に占める割合  
(5億2,643万円) …0.49%(0.49%)

この施策にかかる経費を市民一人あたりに換算した額	3,056円 (3,057円)
鎌倉市の負担を市民一人あたりに換算した額	2,160円 (2,176円)
この施策に従事する職員数(職員給与費は経費に含む。)	14.5人 (13.5人)

仕事の効果	1	必要以上の効果	4を選んだ方 ↓ 「お金の使い方」項目は「今後の進め方」
	2	ちょうどよい	
	3	効果不十分	
	4	取組を知らない・分からない	
お金の使い方	1	使いすぎ	「お金の使い方」項目は「今後の進め方」
	2	ちょうどよい	
	3	足りない	
今後の進め方	1	もっと力を入れるべき	「今後の進め方」項目は「お金の使い方」
	2	現状のままで満足	
	3	力をいれなくてよい	

# 集計結果

#### (1) 仕事の効果 ( )内は回答数

	必要以上の効果	ちょうどよい	効果不十分	取組を知らない・わからない	無回答	全体
R1	5.8% (36)	51.5% (322)	21.1% (132)	18.4% (115)	3.2% (20)	100.0% (625)
H30(参考)	7.1% (43)	53.7% (325)	21.2% (128)	16.0% (97)	2.0% (12)	100.0% (605)

「仕事の効果」のうち、「ちょうどよい」の回答が51.5%と最も多く、続いて「効果不十分」が21.1%となっています。また「必要以上の効果」の割合は54の施策のうち、4番目に高い数値となっています。

#### (2) お金の使い方 ( )内は回答数

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない	無回答	全体
R1	23.0% (144)	45.3% (283)	8.2% (51)	23.5% (147)	100.0% (625)
H30(参考)	30.7% (186)	41.2% (249)	7.9% (48)	20.2% (122)	100.0% (605)

「お金の使い方」のうち、「ちょうどよい」の回答が45.3%で最も多く、続いて「使いすぎ」が23.0%でした。また「使いすぎ」の割合は54の施策のうち、3番目に高い数値となっています。

#### (3) 仕事の効果×お金の使い方

取組を知らない・わからない 18.4%

		お金の使い方		
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
仕事の効果	必要以上の効果	4.5%	1.1%	0.2%
	ちょうどよい	7.7%	40.8%	1.6%
	効果不十分	10.9%	3.4%	6.4%

令和元年度

取組を知らない・わからない 15.9%

		お金の使い方		
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
仕事の効果	必要以上の効果	6.1%	0.8%	0.0%
	ちょうどよい	14.4%	38.0%	0.3%
	効果不十分	10.1%	2.3%	7.6%

平成30年度

「仕事の効果」と「お金の使い方」の組み合わせでは、「仕事の効果」が「ちょうどよい」かつ「お金の使い方」が「ちょうどよい」が一番バランスがとれている回答の割合が40.8%となっており、この組み合わせの平均値(43.3%)より低い数値になっています。また、「仕事の効果」が「必要以上」かつ「お金の使い方」が「使いすぎ」が54の施策のうち、3番目に高く、「仕事の効果」が「ちょうどよい」かつ「お金の使い方」が「使いすぎ」が54の施策のうち、4番目に高く、「仕事の効果」が「効果不十分」かつ「お金の使い方」が「使いすぎ」の割合が54の施策のうち、3番目に高い数値になっています。

#### (4) 今後の進め方 ( )内は回答数

	もっと力を入れるべき	現状のままでよい	力をいれなくてよい	無回答	全体
R1	17.4% (109)	48.5% (303)	11.0% (69)	23.0% (144)	100.0% (625)
H30(参考)	17.2% (104)	53.1% (321)	9.1% (55)	20.7% (125)	100.0% (605)

今後の進め方については、「現状のままでよい」が48.5%、「もっと力を入れるべき」が17.4%でした。また、「力をいれなくてよい」の割合は54の施策のうち、5番目に高い数値となっています。



## 質問

7 文化活動の支援・推進		あなたの回答 (それぞれ一つの番号に○をつけてください)																								
<p>…伝統、新たな文化の創造発信のため、文化活動の機会や場の提供や情報の充実、文化施設の整備、文化活動の推進などに取り組みます。</p>																										
<p><b>■令和元年度の主な事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市制80周年記念式典等の開催 &lt;&lt;200万円&gt;&gt;</li> <li>・文化を支援するための鎌倉市民文化祭の開催 &lt;&lt;500万円&gt;&gt;</li> <li>・「鎌倉子ども能」の実施 &lt;&lt;140万円&gt;&gt;</li> <li>・各文化施設の管理運営… 鎌倉芸術館 &lt;&lt;5億5,668万円&gt;&gt;、鎌倉文学館 &lt;&lt;7,589万円&gt;&gt;、鎌倉清方記念美術館 &lt;&lt;4,840万円&gt;&gt;、川喜多映画記念館 &lt;&lt;3,730万円&gt;&gt;</li> </ul>																										
<p>◎参考</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鎌倉市民文化祭…美術・写真・書道など市展と各種舞台行事(令和元年で第63回)</li> <li>・鎌倉市ゆめひかる文化芸術子ども表彰…芸術文化活動で優秀な成績を修めた中学生以下を対象(令和元年は5名及び2団体受賞)</li> </ul>																										
<p>◆この施策にかかる経費( )は前年度データ</p> <p><b>7億9,117万円</b> ※全体予算に占める割合 (5億8,572万円) …<b>0.73%</b>(0.55%)</p>																										
<table border="1"> <tr> <td>この施策にかかる経費を市民一人あたりに換算した額</td> <td><b>4,591円</b> (3,402円)</td> </tr> <tr> <td>鎌倉市の負担を市民一人あたりに換算した額</td> <td><b>4,535円</b> (3,362円)</td> </tr> <tr> <td>この施策に従事する職員数(職員給与費は経費に含む。)</td> <td>7.5人 (6.5人)</td> </tr> </table>		この施策にかかる経費を市民一人あたりに換算した額	<b>4,591円</b> (3,402円)	鎌倉市の負担を市民一人あたりに換算した額	<b>4,535円</b> (3,362円)	この施策に従事する職員数(職員給与費は経費に含む。)	7.5人 (6.5人)																			
この施策にかかる経費を市民一人あたりに換算した額	<b>4,591円</b> (3,402円)																									
鎌倉市の負担を市民一人あたりに換算した額	<b>4,535円</b> (3,362円)																									
この施策に従事する職員数(職員給与費は経費に含む。)	7.5人 (6.5人)																									
		<p>4を選んだ方</p> <p>「お金の使い方」の項目は「今後の進め方」</p>																								
		<table border="1"> <tr> <th rowspan="4">仕事の効果</th> <td>1</td> <td>必要以上の効果</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>ちょうどよい</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>効果不十分</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>取組を知らない・分からない</td> </tr> <tr> <th rowspan="3">お金の使い方</th> <td>1</td> <td>使いすぎ</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>ちょうどよい</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>足りない</td> </tr> <tr> <th rowspan="3">今後の進め方</th> <td>1</td> <td>もっと力を入れるべき</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>現状のままで満足</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>力をいれなくてよい</td> </tr> </table>		仕事の効果	1	必要以上の効果	2	ちょうどよい	3	効果不十分	4	取組を知らない・分からない	お金の使い方	1	使いすぎ	2	ちょうどよい	3	足りない	今後の進め方	1	もっと力を入れるべき	2	現状のままで満足	3	力をいれなくてよい
仕事の効果	1	必要以上の効果																								
	2	ちょうどよい																								
	3	効果不十分																								
	4	取組を知らない・分からない																								
お金の使い方	1	使いすぎ																								
	2	ちょうどよい																								
	3	足りない																								
今後の進め方	1	もっと力を入れるべき																								
	2	現状のままで満足																								
	3	力をいれなくてよい																								

## 集計結果

(1) 仕事の効果 ( ) 内は回答数

	必要以上の効果	ちょうどよい	効果不十分	取組を知らない・わからない	無回答	全体
R1	<b>6.4%</b> (40)	<b>48.2%</b> (301)	<b>19.4%</b> (121)	<b>22.9%</b> (143)	<b>3.2%</b> (20)	100.0% (625)
H30(参考)	5.3% (32)	55.7% (337)	19.0% (115)	17.5% (106)	2.5% (15)	100.0% (605)

「仕事の効果」のうち、「ちょうどよい」の回答が48.2%と最も多く、続いて「取組を知らない・わからない」が22.9%となっています。また「必要以上の効果」の割合は54の施策のうち、3番目に高い数値となっています。

(2) お金の使い方 ( ) 内は回答数

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない	無回答	全体
R1	<b>30.7%</b> (192)	<b>37.8%</b> (236)	<b>3.4%</b> (21)	<b>28.2%</b> (176)	100.0% (625)
H30(参考)	26.9% (163)	45.5% (275)	5.6% (34)	22.0% (133)	100.0% (605)

「お金の使い方」のうち、「ちょうどよい」の回答が37.8%と最も多く、続いて「使いすぎ」が30.7%でした。また「使いすぎ」の割合は、54の施策のうち、最も高い数値となっています。

(3) 仕事の効果×お金の使い方

		お金の使い方			取組を知らない・わからない 22.9%
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない	
仕事の効果	必要以上の効果	5.9%	0.3%	0.0%	22.9%
	ちょうどよい	11.8%	<b>34.4%</b>	0.6%	
	効果不十分	13.0%	3.0%	2.7%	

		お金の使い方			取組を知らない・わからない 17.5%
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない	
仕事の効果	必要以上の効果	4.1%	1.0%	0.2%	17.5%
	ちょうどよい	12.1%	<b>41.8%</b>	0.5%	
	効果不十分	10.7%	2.6%	5.0%	

令和元年度 平成30年度

「仕事の効果」と「お金の使い方」の組み合わせでは、「仕事の効果」が「ちょうどよい」かつ「お金の使い方」が「ちょうどよい」の一番バランスがとれている回答の割合が34.4%となっており、この組み合わせの回答の平均値(43.3%)より低い割合になっています。また「仕事の効果」が「必要以上」かつ「お金の使い方」が「使いすぎ」、「仕事の効果」が「ちょうどよい」かつ「お金の使い方」が「使いすぎ」、「仕事の効果」が「効果不十分」かつ「お金の使い方」が「使いすぎ」が54の施策のうち、最も高い数値になっています。

(4) 今後の進め方 ( ) 内は回答数

	もっと力を入れるべき	現状のままでよい	力をいれなくてよい	無回答	全体
R1	<b>8.0%</b> (50)	<b>46.4%</b> (290)	<b>16.6%</b> (104)	<b>29.0%</b> (181)	100.0% (625)
H30(参考)	13.2% (80)	52.4% (317)	11.2% (68)	23.1% (140)	100.0% (605)

今後の進め方については、「現状のままでよい」が46.4%、「力をいれなくてよい」が16.6%でした。また、「力をいれなくてよい」の割合は54の施策のうち、1番目に高い数値となっています。

## 質問

8 緑の保全等		あなたの回答 (それぞれ一つの番号に○をつけてください)	
<p>…緑地を保全・創造するため、「緑の基本計画」の推進、緑地の質の充実、身近な緑の保全・創造などに取り組みます。</p>			
<p><b>■令和元年度の主な事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>近郊緑地特別保全地区(今泉地区・十二所地区)における緑地の買入れ &lt;&lt;1億4,155万円&gt;&gt;</li> <li>市民との連携による緑の学校、緑のレンジャー等の緑化啓発事業 &lt;&lt;410万円&gt;&gt;</li> <li>保存樹木・樹林・生け垣、緑地保全契約に対する奨励金の交付 &lt;&lt;2,408万円&gt;&gt;</li> <li>古都保存法等により規制されている民有樹林の管理事業 &lt;&lt;2,648万円&gt;&gt;</li> </ul>			
<p><b>◎参考</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>法律に基づく制度により保全されている緑地等…約1,326ha</li> </ul>		<p><b>◆この施策にかかる経費</b> ( ) は前年度データ</p> <p><b>2億9,024万円</b> ※全体予算に占める割合 (3億4,243万円) …0.27% (0.32%)</p>	
		<p>この施策にかかる経費を市民一人あたりに換算した額 <b>1,684円</b> (1,989円)</p> <p>鎌倉市の負担を市民一人あたりに換算した額 <b>1,101円</b> (1,199円)</p> <p>この施策に従事する職員数 (職員給与費は経費に含む。) <b>8.2人</b> (7.2人)</p>	
		<p><b>仕事の効果</b></p> <p>1 必要以上の効果</p> <p>2 ちょうどよい</p> <p>3 効果不十分</p> <p>4 取組を知らない・分からない</p>	
		<p><b>お金の使い方</b></p> <p>1 使いすぎ</p> <p>2 ちょうどよい</p> <p>3 足りない</p>	
		<p><b>今後の進め方</b></p> <p>1 もっと力を入れるべき</p> <p>2 現状のままで満足</p> <p>3 力をいれなくてよい</p>	
		<p>4を選んだ方 ↓ 「お金の使い方の項目は」 「今後の進め方の項目は」</p>	

## 集計結果

(1) 仕事の効果 ( ) 内は回答数

	必要以上の効果	ちょうどよい	効果不十分	取組を知らない・わからない	無回答	全体
R1	3.5% (22)	52.3% (327)	20.6% (129)	19.5% (122)	4.0% (25)	100.0% (625)
H30(参考)	4.6% (28)	50.6% (306)	24.6% (149)	18.0% (109)	2.1% (13)	100.0% (605)

「仕事の効果」のうち、「ちょうどよい」の回答が52.3%と最も多く、続いて「効果不十分」が20.6%となっています。

(2) お金の使い方 ( ) 内は回答数

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない	無回答	全体
R1	9.3% (58)	50.4% (315)	14.6% (91)	25.8% (161)	100.0% (625)
H30(参考)	13.2% (80)	48.1% (291)	16.2% (98)	22.5% (136)	100.0% (605)

「お金の使い方」のうち、「ちょうどよい」の回答が50.4%と最も多く、続いて「足りない」が14.6%でした。

(3) 仕事の効果×お金の使い方

		お金の使い方			19.5%
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない	
仕事の効果	必要以上の効果	1.4%	1.8%	0.3%	取組を知らない・わからない
	ちょうどよい	3.7%	45.0%	2.1%	
	効果不十分	4.2%	3.7%	12.2%	

令和元年度

		お金の使い方			18.0%
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない	
仕事の効果	必要以上の効果	3.3%	1.2%	0.2%	取組を知らない・わからない
	ちょうどよい	4.6%	43.6%	1.3%	
	効果不十分	5.3%	3.3%	14.7%	

平成30年度


「仕事の効果」と「お金の使い方」の組み合わせでは、「仕事の効果」が「ちょうどよい」かつ「お金の使い方」が「ちょうどよい」の一番バランスがとれている回答の割合が45.0%となっており、この組み合わせの回答の平均値(43.3%)より高い割合となっています。

(4) 今後の進め方 ( ) 内は回答数

	もっと力を入れるべき	現状のままでよい	力をいれなくてよい	無回答	全体
R1	23.2% (145)	47.2% (295)	3.7% (23)	25.9% (162)	100.0% (625)
H30(参考)	25.6% (155)	46.8% (283)	4.3% (26)	23.3% (141)	100.0% (605)

今後の進め方については、「現状のままでよい」が47.2%、「もっと力を入れるべき」が23.2%でした。

## 質問

9 都市公園等の整備・管理		あなたの回答 (それぞれ一つの番号に○をつけてください)	
<p>…地域特性や利用者ニーズに対応した都市公園等を整備・管理するため、さまざまな公園の整備、適正な管理、公園施設の老朽化への対応、緑地の適正な管理などに取り組みます。</p> <p><b>■令和元年度の主な事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(仮称)山崎・台峯緑地、(仮称)山ノ内宮下小路2号緑地の用地取得 &lt;&lt;1億6,302万円&gt;&gt;</li> <li>・(仮称)山崎・台峯緑地の開園に向けた整備工事&lt;&lt;1億88万円&gt;&gt;</li> <li>・市管理の公園の維持管理 &lt;&lt;3億7,090万円&gt;&gt;</li> </ul>		<p>1 必要以上の効果</p> <p>2 ちょうどよい</p> <p>3 効果不十分</p> <p>4 取組を知らない・分からない</p>	
<p>◎参考</p> <p>◆この施策にかかる経費( )は前年度データ</p> <p>8億1,603万円 ※全体予算に占める割合 (9億6,236万円) …0.75%(0.90%)</p> <p>この施策にかかる経費を市民一人あたりに換算した額 <b>4,736円 (5,589円)</b></p> <p>鎌倉市の負担を市民一人あたりに換算した額 <b>3,940円 (4,706円)</b></p> <p>この施策に従事する職員数 (職員給与費は経費に含む。) <b>10.3人 (11.3人)</b></p>		<p>お金の使い方</p> <p>1 使いすぎ</p> <p>2 ちょうどよい</p> <p>3 足りない</p> <p>今後の進め方</p> <p>1 もっと力を入れるべき</p> <p>2 現状のままでよい</p> <p>3 力をいれなくてよい</p>	
<p>公園の数(街区公園・児童遊園など)…286カ所(平成31年4月1日現在)</p>  <p>鎌倉広町緑</p>		<p>4を選んだ方 「今後の進め方」の項目は「お金の使い方」に回答せず</p>	

## 集計結果

(1) 仕事の効果 ( ) 内は回答数

	必要以上の効果	ちょうどよい	効果不十分	取組を知らない・わからない	無回答	全体
R1	3.8% (24)	47.7% (298)	27.0% (169)	18.2% (114)	3.2% (20)	100.0% (625)
H30(参考)	6.1% (37)	46.6% (282)	29.1% (176)	16.9% (102)	1.3% (8)	100.0% (605)

「仕事の効果」のうち、「ちょうどよい」の回答が47.7%と最も多く、続いて「効果不十分」が27.0%となっています。

(2) お金の使い方 ( ) 内は回答数

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない	無回答	全体
R1	16.3% (102)	44.8% (280)	15.8% (99)	23.0% (144)	100.0% (625)
H30(参考)	25.5% (154)	41.8% (253)	12.2% (74)	20.5% (124)	100.0% (605)

「お金の使い方」のうち、「ちょうどよい」の回答が44.8%と最も多く、続いて「使いすぎ」が16.3%でした。

(3) 仕事の効果×お金の使い方

仕事の効果	お金の使い方			取組を知らない・わからない
	使いすぎ	ちょうどよい	足りない	
必要以上の効果	2.4%	1.0%	0.5%	18.2%
ちょうどよい	6.1%	38.2%	2.2%	
効果不十分	7.8%	5.6%	13.1%	

令和元年度

仕事の効果	お金の使い方			取組を知らない・わからない
	使いすぎ	ちょうどよい	足りない	
必要以上の効果	5.3%	0.7%	0.2%	16.9%
ちょうどよい	8.9%	36.4%	0.2%	
効果不十分	11.2%	4.8%	11.9%	

平成30年度


「仕事の効果」と「お金の使い方」の組み合わせでは、「仕事の効果」が「ちょうどよい」かつ「お金の使い方」が「ちょうどよい」の一番パランスがとれている回答の割合が38.2%となっており、この組み合わせの回答の平均値(43.3%)より低い割合になっています。

(4) 今後の進め方 ( ) 内は回答数

	もっと力を入れるべき	現状のままでよい	力をいれなくてよい	無回答	全体
R1	27.7% (173)	43.5% (272)	5.6% (35)	23.2% (145)	100.0% (625)
H30(参考)	25.3% (153)	46.1% (279)	8.3% (50)	20.3% (123)	100.0% (605)

今後の進め方については、「現状のままでよい」が43.5%、「もっと力を入れるべき」が27.7%でした。

## 質問

10 良好な都市景観形成事業の推進		あなたの回答 (それぞれ一つの番号に○をつけてください)							
<p>…景観資源を保全・活用した豊かな景観形成を進めるため、良好な都市景観形成の誘導、都市景観形成事業の推進、市民・事業者・NPO等との協働、屋外広告物等の質の向上などに取り組みます。</p> <p><b>■令和元年度の主な事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>旧華頂宮邸管理運営事業 &lt;1,489万円&gt;</li> <li>景観重要建築物等に対する助成 &lt;450万円&gt;</li> <li>若宮大路・小町通り景観形成ガイドラインの策定 &lt;320万円&gt;</li> </ul> <p><b>◎参考</b> 本市の景観重要建築物等…指定数32 令和元年度助成実績 石島邸、榎亭等</p>  <p>旧村上邸の活用開始</p> <p><b>◆この施策にかかる経費</b> ( ) は前年度データ</p> <p><b>9,504万円</b> ※全体予算に占める割合 (1億1,044万円) …<b>0.09%</b> (0.10%)</p> <table border="1"> <tr> <td>この施策にかかる経費を市民一人あたりに換算した額</td> <td><b>552円</b> (641円)</td> </tr> <tr> <td>鎌倉市の負担を市民一人あたりに換算した額</td> <td><b>400円</b> (438円)</td> </tr> <tr> <td>この施策に従事する職員数(職員給与費は経費に含む。)</td> <td><b>6.5人</b> (7.0人)</td> </tr> </table>		この施策にかかる経費を市民一人あたりに換算した額	<b>552円</b> (641円)	鎌倉市の負担を市民一人あたりに換算した額	<b>400円</b> (438円)	この施策に従事する職員数(職員給与費は経費に含む。)	<b>6.5人</b> (7.0人)	<p><b>仕事の効果</b></p> <p>1 必要以上の効果</p> <p>2 ちょうどよい</p> <p>3 効果不十分</p> <p>4 取組を知らない・分からない</p> <p><b>お金の使い方</b></p> <p>1 使いすぎ</p> <p>2 ちょうどよい</p> <p>3 足りない</p> <p><b>今後の進め方</b></p> <p>1 もっと力を入れるべき</p> <p>2 現状のままでよい</p> <p>3 力をいれなくてよい</p> <p>4を選んだ方 「今後の進め方」の項目は「お金の使い方」に回答せず</p>	
この施策にかかる経費を市民一人あたりに換算した額	<b>552円</b> (641円)								
鎌倉市の負担を市民一人あたりに換算した額	<b>400円</b> (438円)								
この施策に従事する職員数(職員給与費は経費に含む。)	<b>6.5人</b> (7.0人)								

## 集計結果

(1) 仕事の効果 ( ) 内は回答数

	必要以上の効果	ちょうどよい	効果不十分	取組を知らない・わからない	無回答	全体
R1	<b>4.0%</b> (25)	<b>51.8%</b> (324)	<b>17.8%</b> (111)	<b>23.8%</b> (149)	<b>2.6%</b> (16)	100.0% (625)
H30(参考)	6.1% (37)	49.3% (298)	14.7% (89)	26.9% (163)	3.0% (18)	100.0% (605)

「仕事の効果」のうち、「ちょうどよい」の回答が51.8%と最も多く、続いて「取組を知らない・わからない」が23.8%となっています。

(2) お金の使い方 ( ) 内は回答数

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない	無回答	全体
R1	<b>8.8%</b> (55)	<b>52.3%</b> (327)	<b>10.9%</b> (68)	<b>28.0%</b> (175)	100.0% (625)
H30(参考)	13.2% (80)	47.8% (289)	6.6% (40)	32.4% (196)	100.0% (605)

「お金の使い方」のうち、「ちょうどよい」の回答が52.3%と最も多く、続いて「足りない」が10.9%でした。

(3) 仕事の効果×お金の使い方

		取組を知らない・わからない 23.8%		
		お金の使い方		
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
仕事の効果	必要以上の効果	2.1%	1.6%	0.2%
	ちょうどよい	2.7%	<b>46.6%</b>	1.6%
	効果不十分	4.0%	4.2%	9.1%

令和元年度

		取組を知らない・わからない 26.9%		
		お金の使い方		
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
仕事の効果	必要以上の効果	4.8%	0.7%	0.2%
	ちょうどよい	3.8%	<b>44.0%</b>	0.5%
	効果不十分	4.6%	3.1%	6.0%

平成30年度

「仕事の効果」と「お金の使い方」の組み合わせでは、「仕事の効果」が「ちょうどよい」、かつ「お金の使い方」が「ちょうどよい」の一番バランスがとれている回答の割合が46.6%となっており、この組み合わせの回答の平均値(43.3%)より高い割合になっています。

(4) 今後の進め方 ( ) 内は回答数

	もっと力を入れるべき	現状のままでよい	力をいれなくてよい	無回答	全体
R1	<b>18.1%</b> (113)	<b>49.1%</b> (307)	<b>5.0%</b> (31)	<b>27.8%</b> (174)	100.0% (625)
H30(参考)	10.6% (64)	48.1% (291)	8.1% (49)	33.2% (201)	100.0% (605)

今後の進め方については、「現状のままでよい」が49.1%、「もっと力を入れるべき」が18.1%でした。

# 質問

## 11 3Rの推進・ごみの適正処理

…ゼロ・ウェイスト社会の実現に向けて、大量消費・大量廃棄型のライフスタイルの見直し、ごみの発生を抑えた環境配慮型社会の形成、安定的なごみ処理体制の確立などに取組みます。

### ■令和元年度の主な事業

- ・カン・ビン収集及びコンテナ配布の業務の委託 ≪1億3,163万円≫
- ・燃やすごみ・ペットボトル収集運搬業務の委託 ≪2億3,599万円≫
- ・容器包装プラスチック中間処理業務の委託 ≪1億1,810万円≫
- ・焼却残と熔融固化処理業務の委託 ≪1億5,169万円≫
- ・紙類・布類収集運搬処理売却業務の委託 ≪1億8,347万円≫

◎参考

- ・一般廃棄物処理施設：名越クリーンセンター、今泉クリーンセンター、笛田リサイクルセンター
- ・鎌倉市のリサイクル率(平成29年度)：51.5% <全国2位(人口10万人以上50万人未満の自治体)>  
※環境省HPより

◆この施策にかかる経費( )は前年度データ

34億6,757万円 (36億9,998万円)	※全体予算に占める割合 …3.19%(3.44%)
この施策にかかる経費を市民一人あたりに換算した額	20,123円 (21,487円)
鎌倉市の負担を市民一人あたりに換算した額	15,665円 (16,857円)
この施策に従事する職員数(職員給与費は経費に含む。)	101.4人 (105.3人)

## あなたの回答

(それぞれ一つの番号に○をつけてください)

仕事の効果	1	必要以上の効果
	2	ちょうどよい
	3	効果不十分
	4	取組を知らない・わからない
お金の使い方	1	使いすぎ
	2	ちょうどよい
	3	足りない
今後の進め方	1	もっと力を入れるべき
	2	現状のままでよい
	3	力をいれなくてよい

4を選んだ方

「今後の進め方」の項目は「お金の使い方」の項目は

# 集計結果

(1) 仕事の効果 ( ) 内は回答数

	必要以上の効果	ちょうどよい	効果不十分	取組を知らない・わからない	無回答	全体
R1	5.4% (34)	59.4% (371)	23.5% (147)	8.2% (51)	3.5% (22)	100.0% (625)
H30(参考)	8.4% (51)	58.5% (354)	22.3% (135)	7.9% (48)	2.8% (17)	100.0% (605)

「仕事の効果」のうち、「ちょうどよい」の回答が59.4%と最も多く、続いて「効果不十分」が23.5%となっています。また、「ちょうどよい」の回答は54の施策のうち、4番目に高い数値となっています。

(2) お金の使い方 ( ) 内は回答数

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない	無回答	全体
R1	19.7% (123)	56.3% (352)	11.0% (69)	13.0% (81)	100.0% (625)
H30(参考)	22.3% (135)	55.0% (333)	8.6% (52)	14.0% (85)	100.0% (605)

「お金の使い方」のうち、「ちょうどよい」の回答が56.3%と最も多く、続いて「使いすぎ」が19.7%でした。「使いすぎ」の割合は54の施策のうち、4番目に高い数値になっています。

(3) 仕事の効果×お金の使い方

		お金の使い方			8.2%
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない	
仕事の効果	必要以上の効果	1.6%	3.7%	0.2%	取組を知らない・わからない
	ちょうどよい	8.6%	48.2%	1.8%	
	効果不十分	9.4%	4.5%	9.1%	

令和元年度

		お金の使い方			7.9%
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない	
仕事の効果	必要以上の効果	4.1%	3.5%	0.3%	取組を知らない・わからない
	ちょうどよい	9.4%	46.6%	0.2%	
	効果不十分	8.8%	5.0%	8.1%	

平成30年度

「仕事の効果」と「お金の使い方」の組み合わせでは、「仕事の効果」が「ちょうどよい」、かつ「お金の使い方」が「ちょうどよい」の一番バランスがとれている回答の割合が48.2%となっており、この組み合わせの回答の平均値(43.3%)より高い割合になっています。また「仕事の効果」が「ちょうどよい」かつ「お金の使い方」が「使いすぎ」の割合が54の施策のうち、2番目に高く、「仕事の効果」が「効果不十分」かつ「お金の使い方」が「使いすぎ」は54の施策のうち、4番目に高い数値となっています。

(4) 今後の進め方 ( ) 内は回答数

	もっと力を入れるべき	現状のままでよい	力をいれなくてよい	無回答	全体
R1	33.3% (208)	48.8% (305)	3.0% (19)	14.9% (93)	100.0% (625)
H30(参考)	30.4% (184)	51.9% (314)	2.6% (16)	15.0% (91)	100.0% (605)

今後の進め方については、「現状のままでよい」が48.8%、「もっと力を入れるべき」が33.3%でした。また、「もっと力を入れるべき」の割合は54の施策のうち、4番目に高い数値となっています。

➤ 質問

12 環境汚染の防止		あなたの回答 (それぞれ一つの番号に○をつけてください)																																	
<p>…環境汚染のない、快適な生活環境が保全されたまちをめざし、調査・測定を通して、大気、水質、騒音等の環境を監視するとともに、法令に基づく事業所への指導などを行います。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><b>■令和元年度の主な事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>し尿収集運搬の業務の委託 &lt;749万円&gt;</li> <li>不快害虫が発生する排水路等の消毒、ねずみ・ハチ等の駆除 &lt;1,254万円&gt;</li> <li>深沢グリーンセンター(し尿及び浄化槽汚泥の下水道放流施設)の管理運営 &lt;2,582万円&gt;</li> </ul> </div> <div style="display: flex; align-items: center; margin: 5px 0;"> <p>快適な生活環境</p> </div> <div style="margin: 5px 0;"> <p><b>◆この施策にかかる経費</b> ( ) は前年度データ</p> <p style="text-align: center;"><b>1億1,914万円</b> ※全体予算に占める割合 (1億3,647万円) …<b>0.11%</b> (0.13%)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <tr> <td style="width: 60%;">この施策にかかる経費を市民一人あたりに換算した額</td> <td style="text-align: right;"><b>691円</b> (793円)</td> </tr> <tr> <td>鎌倉市の負担を市民一人あたりに換算した額</td> <td style="text-align: right;"><b>653円</b> (710円)</td> </tr> <tr> <td>この施策に従事する職員数(職員給与費は経費に含む。)</td> <td style="text-align: right;"><b>7.7人</b> (7.7人)</td> </tr> </table> </div>		この施策にかかる経費を市民一人あたりに換算した額	<b>691円</b> (793円)	鎌倉市の負担を市民一人あたりに換算した額	<b>653円</b> (710円)	この施策に従事する職員数(職員給与費は経費に含む。)	<b>7.7人</b> (7.7人)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright; text-align: center;"><b>仕事の効果</b></td> <td style="text-align: center;">1</td> <td>必要以上の効果</td> <td rowspan="4" style="text-align: center; vertical-align: middle;">4を選んだ方 ↓ 「お金の使い方に次ぐ項目は」</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2</td> <td>ちょうどよい</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">3</td> <td>効果不十分</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">4</td> <td>取組を知らない・分からない</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright; text-align: center;"><b>お金の使い方</b></td> <td style="text-align: center;">1</td> <td>使いすぎ</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">「今後の進め方」</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2</td> <td>ちょうどよい</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">3</td> <td>足りない</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright; text-align: center;"><b>今後の進め方</b></td> <td style="text-align: center;">1</td> <td>もっと力を入れるべき</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">「今後の進め方」</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2</td> <td>現状のままで満足</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">3</td> <td>力をいれなくてよい</td> </tr> </table>		<b>仕事の効果</b>	1	必要以上の効果	4を選んだ方 ↓ 「お金の使い方に次ぐ項目は」	2	ちょうどよい	3	効果不十分	4	取組を知らない・分からない	<b>お金の使い方</b>	1	使いすぎ	「今後の進め方」	2	ちょうどよい	3	足りない	<b>今後の進め方</b>	1	もっと力を入れるべき	「今後の進め方」	2	現状のままで満足	3	力をいれなくてよい
この施策にかかる経費を市民一人あたりに換算した額	<b>691円</b> (793円)																																		
鎌倉市の負担を市民一人あたりに換算した額	<b>653円</b> (710円)																																		
この施策に従事する職員数(職員給与費は経費に含む。)	<b>7.7人</b> (7.7人)																																		
<b>仕事の効果</b>	1	必要以上の効果	4を選んだ方 ↓ 「お金の使い方に次ぐ項目は」																																
	2	ちょうどよい																																	
	3	効果不十分																																	
	4	取組を知らない・分からない																																	
<b>お金の使い方</b>	1	使いすぎ	「今後の進め方」																																
	2	ちょうどよい																																	
	3	足りない																																	
<b>今後の進め方</b>	1	もっと力を入れるべき	「今後の進め方」																																
	2	現状のままで満足																																	
	3	力をいれなくてよい																																	

➤ 集計結果

**(1) 仕事の効果** ( ) 内は回答数

	必要以上の効果	ちょうどよい	効果不十分	取組を知らない・わからない	無回答	全体
R1	1.8% (11)	58.6% (366)	17.3% (108)	19.0% (119)	3.4% (21)	100.0% (625)
H30(参考)	1.8% (11)	61.8% (374)	18.0% (109)	16.2% (98)	2.1% (13)	100.0% (605)

「仕事の効果」のうち、「ちょうどよい」の回答が58.6%と最も多く、続いて「取組を知らない・わからない」が19.0%となっています。

**(2) お金の使い方** ( ) 内は回答数

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない	無回答	全体
R1	3.5% (22)	59.2% (370)	12.3% (77)	25.0% (156)	100.0% (625)
H30(参考)	3.6% (22)	62.0% (375)	13.6% (82)	20.8% (126)	100.0% (605)

「お金の使い方」のうち、「ちょうどよい」の回答が59.2%と最も多く、続いて「足りない」が12.3%でした。「ちょうどよい」の割合は54の施策のうち、4番目に高い数値になっています。

**(3) 仕事の効果×お金の使い方**

取組を知らない・わからない 19.0%

		お金の使い方		
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
仕事の効果	必要以上の効果	0.3%	1.1%	0.2%
	ちょうどよい	1.0%	54.6%	1.4%
	効果不十分	2.2%	3.5%	10.7%

令和元年度

取組を知らない・わからない 16.2%

		お金の使い方		
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
仕事の効果	必要以上の効果	0.5%	1.0%	0.3%
	ちょうどよい	1.2%	57.5%	1.7%
	効果不十分	2.0%	3.5%	11.6%

平成30年度


「仕事の効果」と「お金の使い方」の組み合わせでは、「仕事の効果」が「ちょうどよい」、かつ「お金の使い方」が「ちょうどよい」の一番バランスがとれている回答の割合が54.6%で、この組み合わせの回答の平均値(43.3%)より高い割合になっており、54の施策のうち、3番目に高い数値になっています。

**(4) 今後の進め方** ( ) 内は回答数

	もっと力を入れるべき	現状のままでよい	力をいれなくてよい	無回答	全体
R1	21.0% (131)	52.2% (326)	1.8% (11)	25.1% (157)	100.0% (625)
H30(参考)	22.5% (136)	55.4% (335)	0.8% (5)	21.3% (129)	100.0% (605)

今後の進め方については、「現状のままでよい」が52.2%、「もっと力を入れるべき」が21.0%でした。また「現状のままでよい」の割合は54の施策のうち、4番目に高い数値となっています。

## 質問

13 まちの美化		あなたの回答							
…美しいまちをめざし、市民やNPOなどの協働により、ごみ散乱防止対策、落書き防止対策、路上喫煙防止対策などに取り組みます。		(それぞれ一つの番号に○をつけてください)							
<p><b>■令和元年度の主な事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まち美化清掃活動への奨励金 ≪134万円≫</li> <li>・公衆トイレの電気料・水道料・維持修繕 ≪2,044万円≫</li> <li>・公衆トイレ(41ヵ所)の清掃業務の委託 ≪3,982万円≫</li> <li>・路上喫煙防止業務の委託 ≪652万円≫</li> <li>・鎌倉花火大会のごみ処理業務委託 ≪252万円≫</li> </ul>		<p>4を選んだ方</p> <p>「今後の進め方」の項目は「お金の使い方」に次いで最も低い項目です。</p>							
<p><b>◎参考</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公衆トイレ箇所数 …41ヵ所</li> <li>・路上喫煙禁止区域 …鎌倉駅周辺と大船駅周辺の2区域を指定</li> </ul>		<p><b>◆この施策にかかる経費</b> ( ) は前年度データ</p> <p>1億2,395万円 ※全体予算に占める割合 (1億1,438万円) …0.11% (0.11%)</p>							
<p>路上喫煙マナーアップ看板</p> 		<table border="1"> <tr> <td>この施策にかかる経費を市民一人あたりに換算した額</td> <td>719円 (664円)</td> </tr> <tr> <td>鎌倉市の負担を市民一人あたりに換算した額</td> <td>693円 (639円)</td> </tr> <tr> <td>この施策に従事する職員数 (職員給与費は経費に含む。)</td> <td>4.0人 (5.0人)</td> </tr> </table>		この施策にかかる経費を市民一人あたりに換算した額	719円 (664円)	鎌倉市の負担を市民一人あたりに換算した額	693円 (639円)	この施策に従事する職員数 (職員給与費は経費に含む。)	4.0人 (5.0人)
この施策にかかる経費を市民一人あたりに換算した額	719円 (664円)								
鎌倉市の負担を市民一人あたりに換算した額	693円 (639円)								
この施策に従事する職員数 (職員給与費は経費に含む。)	4.0人 (5.0人)								
<p><b>○仕事の効果</b></p> <p>1 必要以上の効果</p> <p>2 ちょうどよい</p> <p>3 効果不十分</p> <p>4 取組を知らない・わからない</p>		<p><b>○お金の使い方</b></p> <p>1 使いすぎ</p> <p>2 ちょうどよい</p> <p>3 足りない</p>							
<p><b>○今後の進め方</b></p> <p>1 もっと力を入れるべき</p> <p>2 現状のままでよい</p> <p>3 力をいれなくてよい</p>									

## 集計結果

(1) 仕事の効果 ( ) 内は回答数

	必要以上の効果	ちょうどよい	効果不十分	取組を知らない・わからない	無回答	全体
R1	4.3% (27)	57.3% (358)	24.8% (155)	10.4% (65)	3.2% (20)	100.0% (625)
H30(参考)	1.5% (9)	52.2% (316)	33.7% (204)	9.6% (58)	3.0% (18)	100.0% (605)

「仕事の効果」のうち、「ちょうどよい」の回答が57.3%と最も多く、続いて「効果不十分」が24.8%となっています。

(2) お金の使い方 ( ) 内は回答数

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない	無回答	全体
R1	6.1% (38)	60.8% (380)	17.8% (111)	15.4% (96)	100.0% (625)
H30(参考)	5.6% (34)	57.0% (345)	22.0% (133)	15.4% (93)	100.0% (605)

「お金の使い方」のうち、「ちょうどよい」の回答が60.8%と最も多く、続いて「足りない」が17.8%でした。「ちょうどよい」の割合は54の施策のうち、3番目に高い数値となっています。

(3) 仕事の効果×お金の使い方

仕事の効果	令和元年度			平成30年度		
	必要以上の効果	ちょうどよい	効果不十分	必要以上の効果	ちょうどよい	効果不十分
必要以上の効果	1.0%	2.2%	0.8%	0.5%	0.5%	0.5%
ちょうどよい	2.4%	51.5%	2.2%	1.5%	48.6%	0.8%
効果不十分	2.7%	7.0%	14.7%	3.6%	7.9%	20.7%

「仕事の効果」と「お金の使い方」の組み合わせでは、「仕事の効果」が「ちょうどよい」、かつ「お金の使い方」が「ちょうどよい」の一番バランスがとれている回答の割合が51.5%で、この組み合わせの回答の平均値(43.3%)より高い数値になっています。また「仕事の効果」が「必要以上」かつ「お金の使い方」が「ちょうどよい」の割合が54の施策のうち、5番目に高く、「仕事の効果」が「効果不十分」かつ「お金の使い方」が「ちょうどよい」は54の施策のうち、3番目に高い数値となっています。

(4) 今後の進め方 ( ) 内は回答数

	もっと力を入れるべき	現状のままでよい	力をいれなくてよい	無回答	全体
R1	29.9% (187)	51.4% (321)	2.6% (16)	16.2% (101)	100.0% (625)
H30(参考)	37.9% (229)	45.1% (273)	1.8% (11)	15.2% (92)	100.0% (605)

今後の進め方については、「現状のままでよい」が54.1%、「もっと力を入れるべき」が29.9%でした。

## 質問

### 14 次代に向けたエネルギー・環境対策の推進

…持続可能な循環型社会のシステムをめざし、省エネルギーの推進、再生可能エネルギー等の導入推進、効率的なエネルギー利用の促進、低炭素まちづくりの推進、環境教育の推進などに取り組みます。


#### ■令和元年度の主な事業

- ・住宅用再生可能エネルギー・省エネ機器等の設置費補助 <500万円>
- ・市施設から排出する不要紙類のリサイクルの実施 <253万円>
- ・環境教育事業の業務委託<19万円>
- ・環境教育人材の派遣 <70万円>
- ・カーボン・マネジメント強化事業にかかる修繕<960万円>

◆この施策にかかる経費（）は前年度データ

**4,830万円** ※全体予算に占める割合  
(4,893万円) …**0.04%**(0.05%)

この施策にかかる経費を市民一人あたりに換算した額	<b>280円</b> (284円)
鎌倉市の負担を市民一人あたりに換算した額	<b>275円</b> (277円)
この施策に従事する職員数(職員給与費は経費に含む。)	<b>3.5人</b> (3.5人)



玉縄行政センター  
太陽光発電設備

### あなたの回答

(それぞれ一つの番号に○をつけてください)

仕事の効果	1	必要以上の効果	4を選んだ方 ↓ 「今後の進め方」の項目は「お金の使い方」に回答せず
	2	ちょうどよい	
	3	効果不十分	
	4	取組を知らない・わからない	
お金の使い方	1	使いすぎ	「今後の進め方」の項目は「お金の使い方」に回答せず
	2	ちょうどよい	
	3	足りない	
今後の進め方	1	もっと力を入れるべき	「今後の進め方」の項目は「お金の使い方」に回答せず
	2	現状のままで満足	
	3	力をいれなくてよい	

## 集計結果

(1) 仕事の効果（）内は回答数

	必要以上の効果	ちょうどよい	効果不十分	取組を知らない・わからない	無回答	全体
R1	<b>2.4%</b> (15)	<b>36.6%</b> (229)	<b>25.3%</b> (158)	<b>31.4%</b> (196)	<b>4.3%</b> (27)	100.0% (625)
H30(参考)	2.5% (15)	33.9% (205)	28.9% (175)	31.9% (193)	2.8% (17)	100.0% (605)

「仕事の効果」のうち、「ちょうどよい」の回答が36.6%と最も多く、続いて「取組を知らない・わからない」の回答が31.4%となっています。

(2) お金の使い方（）内は回答数

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない	無回答	全体
R1	<b>3.8%</b> (24)	<b>40.0%</b> (250)	<b>18.9%</b> (118)	<b>37.3%</b> (233)	100.0% (625)
H30(参考)	7.9% (48)	34.2% (207)	20.0% (121)	37.9% (229)	100.0% (605)

「お金の使い方」のうち、「ちょうどよい」の回答が40.0%と最も多く、続いて「足りない」が18.9%でした。

(3) 仕事の効果×お金の使い方

取組を知らない・わからない 31.4%

		お金の使い方		
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
仕事の効果	必要以上の効果	0.8%	0.8%	0.6%
	ちょうどよい	0.8%	<b>33.6%</b>	1.6%
	効果不十分	2.2%	5.6%	16.6%

令和元年度

取組を知らない・わからない 31.7%

		お金の使い方		
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
仕事の効果	必要以上の効果	1.7%	0.5%	0.3%
	ちょうどよい	1.3%	<b>29.3%</b>	1.7%
	効果不十分	4.8%	4.5%	18.0%

平成30年度

「取組を知らない・わからない」の割合が31.4%となっており、回答の約3割がこの施策について知らない、わからないという結果であることから、まずは、市民への周知がより必要な施策であると考えられます。

(4) 今後の進め方（）内は回答数

	もっと力を入れるべき	現状のままでよい	力をいれなくてよい	無回答	全体
R1	<b>25.6%</b> (160)	<b>32.6%</b> (204)	<b>4.2%</b> (26)	<b>37.6%</b> (235)	100.0% (625)
H30(参考)	26.6% (161)	28.1% (170)	7.6% (46)	37.7% (228)	100.0% (605)

今後の進め方については、「現状のままでよい」が32.6%、「もっと力を入れるべき」が25.6%でした。



## 質問

### 15 野生鳥獣等への対応

…生態系を守り、野生鳥獣等の保護を推進するため、餌付け禁止などの啓発、生態系の攪乱が懸念される有害外来動物の防除と被害拡大に対する広域的な対応に取り組まします。

#### 令和元年度の主な事業

- ・犬の登録事務、未登録犬の解消、狂犬病予防注射の実施 <87万円>
- ・飼い猫に対する不妊去勢手術への補助 <75万円>
- ・飼い犬・飼い猫へのマイクロチップ装着への補助<15万円>
- ・アライグマ・ハクビシン・タイワンリス等有害鳥獣の捕獲・駆除 <838万円>



タイワンリス

◆この施策にかかる経費（）は前年度データ

**4,522万円** ※全体予算に占める割合  
(3,941万円) ……**0.04%**(0.04%)

この施策にかかる経費を市民一人あたりに換算した額	<b>262円</b> (229円)
鎌倉市の負担を市民一人あたりに換算した額	<b>201円</b> (165円)
この施策に従事する職員数(職員給与費は経費に含む。)	<b>3.5人</b> (3.0人)

### あなたの回答

(それぞれ一つの番号に○をつけてください)

仕事の効果	1	必要以上の効果	4を選んだ方 ↓ 「今後の進め方」の項目は「お金の使い方」に回答せず
	2	ちょうどよい	
	3	効果不十分	
	4	取組を知らない・わからない	
お金の使い方	1	使いすぎ	「今後の進め方」の項目は「お金の使い方」に回答せず
	2	ちょうどよい	
	3	足りない	
今後の進め方	1	もっと力を入れるべき	「今後の進め方」の項目は「お金の使い方」に回答せず
	2	現状のままで満足	
	3	力をいれなくてよい	

## 集計結果

#### (1) 仕事の効果（）内は回答数

	必要以上の効果	ちょうどよい	効果不十分	取組を知らない・わからない	無回答	全体
R1	<b>2.6%</b> (16)	<b>49.8%</b> (311)	<b>23.8%</b> (149)	<b>20.3%</b> (127)	<b>3.5%</b> (22)	100.0% (625)
H30(参考)	2.3% (14)	52.7% (319)	27.4% (166)	15.2% (92)	2.3% (14)	100.0% (605)

「仕事の効果」のうち、「ちょうどよい」の回答が49.8%と最も多く、続いて「効果不十分」の回答が23.8%となっています。

#### (2) お金の使い方（）内は回答数

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない	無回答	全体
R1	<b>5.4%</b> (34)	<b>52.5%</b> (328)	<b>16.3%</b> (102)	<b>25.8%</b> (161)	100.0% (625)
H30(参考)	5.6% (34)	54.2% (328)	19.5% (118)	20.7% (125)	100.0% (605)

「お金の使い方」のうち、「ちょうどよい」の回答が52.5%と最も多く、続いて「足りない」が16.3%でした。

#### (3) 仕事の効果×お金の使い方

取組を知らない・わからない 20.3%

		お金の使い方		
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
仕事の効果	必要以上の効果	1.1%	1.1%	0.2%
	ちょうどよい	2.4%	<b>45.4%</b>	1.1%
	効果不十分	1.9%	5.9%	15.0%

令和元年度

取組を知らない・わからない 15.2%

		お金の使い方		
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
仕事の効果	必要以上の効果	1.2%	0.8%	0.3%
	ちょうどよい	1.8%	<b>47.4%</b>	1.8%
	効果不十分	2.6%	6.0%	17.4%

平成30年度

「仕事の効果」と「お金の使い方」の組み合わせでは、「仕事の効果」が「ちょうどよい」、かつ「お金の使い方」が「ちょうどよい」の一番バランスがとれている回答の割合が45.4%で、この組み合わせの回答の平均値(43.3%)より高い数値になっています。

#### (4) 今後の進め方（）内は回答数

	もっと力を入れるべき	現状のままでよい	力をいれなくてよい	無回答	全体
R1	<b>26.4%</b> (165)	<b>45.1%</b> (282)	<b>2.7%</b> (17)	<b>25.8%</b> (161)	100.0% (625)
H30(参考)	28.1% (170)	48.8% (295)	3.3% (20)	19.8% (120)	100.0% (605)

今後の進め方については、「現状のままでよい」が45.1%、「もっと力を入れるべき」が26.4%でした。


## 質問

### 16 海浜の環境保全

…海浜の保全と活用を図るため、海浜の環境を樹林地・河川・海浜を一体としたネットワークの中で捉え、関係機関等と連携して、その適切な保全に取り組みます。

#### 令和元年度の主な事業

- ・公益財団法人かながわ海岸美化財団による海岸の美化に係る海浜清掃事業 <<1,201万円>>
- ・ライフセービング事業の負担金<<27万円>>



稲村ガ崎から望む富士山

◆この施策にかかる経費( )は前年度データ

**2,798万円** ※全体予算に占める割合  
(3,911万円) ……**0.03%**(0.04%)

この施策にかかる経費を市民一人あたりに換算した額	<b>162円</b> (227円)
鎌倉市の負担を市民一人あたりに換算した額	<b>115円</b> (159円)
この施策に従事する職員数(職員給与費は経費に含む。)	<b>2.0人</b> (2.0人)

### あなたの回答

(それぞれ一つの番号に○をつけてください)

仕事の効果	1	必要以上の効果
	2	ちょうどよい
	3	効果不十分
	4	取組を知らない・分からない
お金の使い方	1	使いすぎ
	2	ちょうどよい
	3	足りない
今後の進め方	1	もっと力を入れるべき
	2	現状のままで満足
	3	力をいれなくてよい

4を選んだ方

「今後の進め方」は「お金の使い方」に答えずに次の項目は

## 集計結果

(1) 仕事の効果 ( ) 内は回答数

	必要以上の効果	ちょうどよい	効果不十分	取組を知らない・わからない	無回答	全体
<b>R1</b>	<b>2.2%</b> (14)	<b>56.8%</b> (355)	<b>20.3%</b> (127)	<b>17.8%</b> (111)	<b>2.9%</b> (18)	100.0% (625)
H30(参考)	2.1% (13)	58.3% (353)	21.2% (128)	15.2% (92)	3.1% (19)	100.0% (605)

「仕事の効果」のうち、「ちょうどよい」の回答が56.8%と最も多く、続いて「効果不十分」が20.3%となっています。

(2) お金の使い方 ( ) 内は回答数

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない	無回答	全体
<b>R1</b>	<b>3.5%</b> (22)	<b>57.4%</b> (359)	<b>16.6%</b> (104)	<b>22.4%</b> (140)	100.0% (625)
H30(参考)	3.1% (19)	58.5% (354)	17.7% (107)	20.7% (125)	100.0% (605)

「お金の使い方」のうち、「ちょうどよい」の回答が57.4%と最も多く、続いて「足りない」が16.6%でした。

(3) 仕事の効果×お金の使い方

取組を知らない・わからない 17.8%

		お金の使い方		
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
仕事の効果	必要以上の効果	0.6%	1.1%	0.5%
	ちょうどよい	1.6%	<b>52.0%</b>	2.1%
	効果不十分	1.3%	4.3%	14.1%

令和元年度

取組を知らない・わからない 15.2%

		お金の使い方		
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
仕事の効果	必要以上の効果	0.3%	1.5%	0.3%
	ちょうどよい	1.2%	<b>52.6%</b>	3.3%
	効果不十分	1.7%	4.5%	14.0%

平成30年度

「仕事の効果」と「お金の使い方」の組み合わせでは、「仕事の効果」が「ちょうどよい」、かつ「お金の使い方」が「ちょうどよい」の一番バランスがとれている回答の割合が52.0%で、この組み合わせの回答の平均値(43.3%)より高い数値になっています。

(4) 今後の進め方 ( ) 内は回答数

	もっと力を入れるべき	現状のままでよい	力をいれなくてよい	無回答	全体
<b>R1</b>	<b>23.5%</b> (147)	<b>52.2%</b> (326)	<b>1.6%</b> (10)	<b>22.7%</b> (142)	100.0% (625)
H30(参考)	27.1% (164)	50.6% (306)	1.5% (9)	20.8% (126)	100.0% (605)

今後の進め方については、「現状のままでよい」が52.2%、「もっと力を入れるべき」が23.5%でした。また「現状のままでよい」の割合は54の施策のうち、4番目に高い数値となっています。

## 質問

### 17 地域生活の支援サービス

…だれもが健康で安心して生活を送ることができるまちをめざし、地域生活支援、人権の尊重に向けた啓発、介護保険サービスの充実、高齢者の生きがいづくりなどに取り組みます。

#### ■令和元年度の主な事業

- ・障害者地域活動支援センター(11カ所)の運営事業の委託 <<2億117万円>>
- ・障害者の医療費助成 <<6億4,273万円>>
- ・障害者等の就労支援 <<5億8,701万円>>
- ・老人福祉センターの管理運営 <<2億7,353万円>>
- ・シルバー人材センターの運営支援 <<3,623万円>>
- ・生活保護費の支給 <<21億2,050万円>>

◆この施策にかかる経費( )は前年度データ

#### ◎参考

- ・市内の老人福祉センター(現在5カ所)

名越やすらぎセンター  
腰越なごやかセンター  
教養センター(笹田)  
今泉さわやかセンター  
玉縄すこやかセンター

79億 9,870万円 ※全体予算に占める割合  
(78億 1,954万円) …7.37%(7.28%)

この施策にかかる経費を市民一人あたりに換算した額	46,417円 (45,411円)
鎌倉市の負担を市民一人あたりに換算した額	20,639円 (20,277円)
この施策に従事する職員数(職員給与費は経費に含む。)	74.2人 (75.5人)

### あなたの回答

(それぞれ一つの番号に○をつけてください)

仕事の効果	1	必要以上の効果	4を選んだ方 ↓ 「「お金の使い方は」 「今後の進め方は」 は 回答せずに次の項目は へ
	2	ちょうどよい	
	3	効果不十分	
	4	取組を知らない・わからない	
お金の使い方	1	使いすぎ	
	2	ちょうどよい	
	3	足りない	
今後の進め方	1	もっと力を入れるべき	
	2	現状のままで満足	
	3	力をいれなくてよい	

## 集計結果

#### (1) 仕事の効果 ( ) 内は回答数

	必要以上の効果	ちょうどよい	効果不十分	取組を知らない・わからない	無回答	全体
R1	5.1% (32)	51.7% (323)	22.7% (142)	16.8% (105)	3.7% (23)	100.0% (625)
H30(参考)	6.9% (42)	49.8% (301)	25.1% (152)	15.4% (93)	2.8% (17)	100.0% (605)

「仕事の効果」のうち、「ちょうどよい」の回答が51.7%と最も多く、続いて「効果不十分」が22.7%となっています。

#### (2) お金の使い方 ( ) 内は回答数

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない	無回答	全体
R1	17.4% (109)	46.1% (288)	14.6% (91)	21.9% (137)	100.0% (625)
H30(参考)	20.3% (123)	44.0% (266)	14.7% (89)	21.0% (127)	100.0% (605)

「お金の使い方」のうち、「ちょうどよい」の回答が46.1%と最も多く、続いて「使いすぎ」が17.4%でした。

#### (3) 仕事の効果×お金の使い方

		お金の使い方		
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
仕事の効果	必要以上の効果	3.7%	1.3%	0.2%
	ちょうどよい	7.4%	41.8%	1.9%
	効果不十分	6.4%	3.0%	12.5%

令和元年度

		お金の使い方		
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
仕事の効果	必要以上の効果	6.1%	0.7%	0.2%
	ちょうどよい	7.3%	39.8%	0.8%
	効果不十分	6.9%	3.5%	13.7%

平成30年度

「仕事の効果」と「お金の使い方」の組み合わせでは、「仕事の効果」が「ちょうどよい」、かつ「お金の使い方」が「ちょうどよい」の一番バランスがとれている回答の割合が41.8%で、この組み合わせの回答の平均値(43.3%)より低い数値になっています。

また、「仕事の効果」が「ちょうどよい」かつ「お金の使い方」が「使いすぎ」が54の施策のうち、5番目に高い数値になっています。

#### (4) 今後の進め方 ( ) 内は回答数

	もっと力を入れるべき	現状のままでよい	力をいれなくてよい	無回答	全体
R1	25.3% (158)	45.1% (282)	6.9% (43)	22.7% (142)	100.0% (625)
H30(参考)	27.6% (167)	44.3% (268)	7.4% (45)	20.7% (125)	100.0% (605)

今後の進め方については、「現状のままでよい」が45.1%、「もっと力を入れるべき」が25.3%でした。

## 質問

### 18 市民の健康と安心づくりの推進

…市民が主体的に健康づくりに取り組める環境を整備するため、健康づくりの支援、健診事業や健康教育の充実、保健・医療・福祉サービスの利便性の向上、救急医療サービスの充実、国民健康保険制度の推進などに取り組みます。

#### 令和元年度の主な事業

- ・医師会立産科診療所(ティアラかまくら)の運営費補助 <1億3,175万円>
- ・休日・夜間等の急患診療の実施  
(GW・年末年始・12～2月の日曜日及び祝日の内科・小児科の二科体制)、  
口腔保健センターでの休日急患歯科診療・障害者歯科診療の実施 <1億7,302万円>
- ・予防接種(BCG・インフルエンザ他)の実施 <4億7,216万円>
- ・がん検診(大腸がん、肺がん他)の実施 <4億1,814万円>

◆この施策にかかる経費( )は前年度データ

**480億6,934万円** ※全体予算に占める割合  
(486億7,195万円) …**44.28%**(45.32%)

この施策にかかる経費を市民一人あたりに換算した額	<b>278,952円</b> (282,658円)
鎌倉市の負担を市民一人あたりに換算した額	<b>101,267円</b> (101,987円)
この施策に従事する職員数(職員給与費は経費に含む。)	66.5人 (66.7人)

### あなたの回答

(それぞれ一つの番号に○をつけてください)

仕事の効果	1	必要以上の効果
	2	ちょうどよい
	3	効果不十分
	4	取組を知らない・わからない
お金の使い方	1	使いすぎ
	2	ちょうどよい
	3	足りない
今後の進め方	1	もっと力を入れるべき
	2	現状のままで満足
	3	力をいれなくてよい

4を選んだ方  
↓  
回答せずに「今後の進め方」は「お金の使い方」へ

ティアラかまくら

## 集計結果

(1) 仕事の効果 ( ) 内は回答数

	必要以上の効果	ちょうどよい	効果不十分	取組を知らない・わからない	無回答	全体
<b>R1</b>	<b>4.3%</b> (27)	<b>60.0%</b> (375)	<b>21.8%</b> (136)	<b>10.4%</b> (65)	<b>3.5%</b> (22)	100.0% (625)
H30(参考)	5.5% (33)	63.0% (381)	20.3% (123)	9.3% (56)	2.0% (12)	100.0% (605)

「仕事の効果」のうち、「ちょうどよい」の回答が60.0%と最も多く、続いて「効果不十分」が21.8%となっています。また、「ちょうどよい」の回答は54の施策のうち、3番目に高い数値となっています。

(2) お金の使い方 ( ) 内は回答数

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない	無回答	全体
<b>R1</b>	<b>17.4%</b> (109)	<b>55.7%</b> (348)	<b>11.2%</b> (70)	<b>15.7%</b> (98)	100.0% (625)
H30(参考)	19.5% (118)	56.0% (339)	10.4% (63)	14.0% (85)	100.0% (605)

「お金の使い方」のうち、「ちょうどよい」の回答が55.7%と最も多く、続いて「使いすぎ」が17.4%でした。

(3) 仕事の効果×お金の使い方

取組を知らない・わからない 10.4%

		お金の使い方		
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
仕事の効果	必要以上の効果	2.7%	1.6%	0.0%
	ちょうどよい	6.7%	<b>50.2%</b>	1.9%
	効果不十分	8.0%	3.8%	9.3%

令和元年度

取組を知らない・わからない 9.3%

		お金の使い方		
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
仕事の効果	必要以上の効果	3.8%	1.3%	0.2%
	ちょうどよい	8.1%	<b>51.6%</b>	1.5%
	効果不十分	7.6%	3.1%	8.8%

平成30年度

「仕事の効果」と「お金の使い方」の組み合わせでは、「仕事の効果」が「ちょうどよい」、かつ「お金の使い方」が「ちょうどよい」の一番バランスがとれている回答の割合が50.2%で、この組み合わせの回答の平均値(43.3%)より高い数値になっています。

(4) 今後の進め方 ( ) 内は回答数

	もっと力を入れるべき	現状のままでよい	力をいれなくてよい	無回答	全体
<b>R1</b>	<b>22.9%</b> (143)	<b>55.5%</b> (347)	<b>6.1%</b> (38)	<b>15.5%</b> (97)	100.0% (625)
H30(参考)	26.4% (160)	53.7% (325)	6.0% (36)	13.9% (84)	100.0% (605)

今後の進め方については、「現状のままでよい」が55.5%、「もっと力を入れるべき」が22.9%でした。「現状のままでよい」の割合は54の施策のうち、2番目に高い数値となっています。

## 質問

### 19 すべての子育て家庭への支援

…子育てしやすい環境の充実を図るため、子育て支援サービスの充実、待機児童対策の推進、子育て支援情報の提供、協働による子育て支援ネットワークの整備などに取り組みます。

#### ■令和元年度の主な事業

- ・私立幼稚園等就園奨励費補助金及び幼児教育・保育無償化の実施 ≪5億8,787万円≫
- ・子ども会館(7カ所)・子どもの家(16カ所)・放課後かまくらっ子(9カ所)の管理運営 ≪7億2,281万円≫
- ・私立保育所等(37カ所)への補助金等を含む助成 ≪4億7,502万円≫
- ・公立保育所(5カ所)の管理運営 ≪5億4,660万円≫
- ・ひとり親家庭等生活支援(医療費助成を含む。) ≪4億7,208万円≫
- ・小児医療費助成 ≪5億4,213万円≫

**◆この施策にかかる経費( )は前年度データ**

**103億246万円** ※全体予算に占める割合  
(95億4,071万円) …9.49%(8.88%)

この施策にかかる経費を市民一人あたりに換算した額	<b>59,786円</b> (55,407円)
鎌倉市の負担を市民一人あたりに換算した額	<b>31,027円</b> (27,937円)
この施策に従事する職員数(職員給与費は経費に含む。)	136.8人 (143.0人)

◎参考

- ・小児医療費の対象者…0歳～中学生の入・通院者(小中学生は所得制限あり)

### あなたの回答

(それぞれ一つの番号に○をつけてください)

仕事の効果	1	必要以上の効果
	2	ちょうどよい
	3	効果不十分
	4	取組を知らない・分からない
お金の使い方	1	使いすぎ
	2	ちょうどよい
	3	足りない
今後の進め方	1	もっと力を入れるべき
	2	現状のままで満足
	3	力をいれなくてよい

4を選んだ方  
↓  
「お金の使い方」は「今後の進め方」の項目は

## 集計結果

(1) 仕事の効果 ( ) 内は回答数

	必要以上の効果	ちょうどよい	効果不十分	取組を知らない・わからない	無回答	全体
<b>R1</b>	<b>6.9%</b> (43)	<b>46.4%</b> (290)	<b>22.7%</b> (142)	<b>20.0%</b> (125)	<b>4.0%</b> (25)	100.0% (625)
H30(参考)	7.3% (44)	47.6% (288)	24.6% (149)	18.3% (111)	2.1% (13)	100.0% (605)

「仕事の効果」のうち、「ちょうどよい」の回答が46.4%と最も多く、続いて「効果不十分」が22.7%となっています。また、「必要以上の効果」の割合は54の施策のうち、1番目に高い数値となっています。

(2) お金の使い方 ( ) 内は回答数

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない	無回答	全体
<b>R1</b>	<b>12.5%</b> (78)	<b>45.8%</b> (286)	<b>16.6%</b> (104)	<b>25.1%</b> (157)	100.0% (625)
H30(参考)	12.1% (73)	45.3% (274)	19.8% (120)	22.8% (138)	100.0% (605)

「お金の使い方」のうち、「ちょうどよい」の回答が45.8%と最も多く、続いて「足りない」が16.6%でした。

(3) 仕事の効果×お金の使い方

取組を知らない・わからない 20.0%

		お金の使い方		
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
仕事の効果	必要以上の効果	4.0%	2.1%	0.8%
	ちょうどよい	4.5%	39.7%	1.4%
	効果不十分	4.0%	4.0%	14.4%

令和元年度

取組を知らない・わからない 18.3%

		お金の使い方		
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
仕事の効果	必要以上の効果	5.5%	0.8%	0.8%
	ちょうどよい	3.1%	41.2%	2.5%
	効果不十分	3.5%	3.3%	16.5%

平成30年度

「仕事の効果」と「お金の使い方」の組み合わせでは、「仕事の効果」が「ちょうどよい」、かつ「お金の使い方」が「ちょうどよい」の一番バランスがとれている回答の割合が39.7%で、この組み合わせの回答の平均値(43.3%)より低い数値になっています。

(4) 今後の進め方 ( ) 内は回答数

	もっと力を入れるべき	現状のままでよい	力をいれなくてよい	無回答	全体
<b>R1</b>	<b>29.6%</b> (185)	<b>38.6%</b> (241)	<b>6.1%</b> (38)	<b>25.8%</b> (161)	100.0% (625)
H30(参考)	32.2% (195)	39.8% (241)	5.3% (32)	22.6% (137)	100.0% (605)

今後の進め方については、「現状のままでよい」が38.6%、「もっと力を入れるべき」が29.6%でした。

## 質問

### 20 子育て支援施設の整備

…子育て環境の充実を図るため、子ども会館、子育て支援センター、待機児童対策施設、子どもの家(学童保育)の施設整備などに取り組みます。

#### 令和元年度の主な事業

- ・私立保育所の土地賃借料<2,034万円>
- ・県営住宅跡地保育園整備にかかる補助<1億5,203万円>
- ・山崎保育園整備にかかる補助<1億3,880万円>



放課後子どもひろば  
ふかさわ・  
ふかさわ子どもの家  
「すすめ」

◆この施策にかかる経費( )は前年度データ  
**5億2,416万円** ※全体予算に占める割合  
 (5億3,983万円) …**0.48%**(0.50%)

この施策にかかる経費を市民一人あたりに換算した額	<b>3,042円</b> (3,135円)
鎌倉市の負担を市民一人あたりに換算した額	<b>680円</b> (1,695円)
この施策に従事する職員数(職員給与費は経費に含む。)	<b>4.9人</b> (7.2人)

### あなたの回答

(それぞれ一つの番号に○をつけてください)

仕事の効果	1	必要以上の効果	4を選んだ方 ↓ 「『お金の使い方』 「今後の進め方」 項目は 8
	2	ちょうどよい	
	3	効果不十分	
	4	取組を知らない・ 分からない	
お金の使い方	1	使いすぎ	「『お金の使い方』 「今後の進め方」 項目は 8
	2	ちょうどよい	
	3	足りない	
今後の進め方	1	もっと力を入れるべき	「『お金の使い方』 「今後の進め方」 項目は 8
	2	現状のままで満足	
	3	力をいれなくてよい	

## 集計結果

#### (1) 仕事の効果 ( ) 内は回答数

	必要以上の効果	ちょうどよい	効果不十分	取組を知らない・わからない	無回答	全体
R1	<b>4.6%</b> (29)	<b>45.8%</b> (286)	<b>23.0%</b> (144)	<b>21.9%</b> (137)	<b>4.6%</b> (29)	100.0% (625)
H30(参考)	5.5% (33)	45.6% (276)	22.5% (136)	23.8% (144)	2.6% (16)	100.0% (605)

「仕事の効果」のうち、「ちょうどよい」の回答が45.8%と最も多く、続いて「効果不十分」が23.0%となっています。

#### (2) お金の使い方 ( ) 内は回答数

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない	無回答	全体
R1	<b>7.8%</b> (49)	<b>43.7%</b> (273)	<b>20.6%</b> (129)	<b>27.8%</b> (174)	100.0% (625)
H30(参考)	8.1% (49)	44.3% (268)	19.3% (117)	28.3% (171)	100.0% (605)

「お金の使い方」のうち、「ちょうどよい」の回答が43.7%と最も多く、続いて「足りない」が20.6%でした。「足りない」の割合は54の施策のうち、5番目に高い数値になっています。

#### (3) 仕事の効果×お金の使い方

		取組を知らない・わからない 21.9%			取組を知らない・わからない 23.8%		
		お金の使い方			お金の使い方		
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
仕事の効果	必要以上の効果	2.9%	1.0%	0.8%	4.0%	0.8%	0.7%
	ちょうどよい	2.6%	<b>40.0%</b>	1.9%	2.0%	<b>40.5%</b>	1.8%
	効果不十分	2.4%	2.7%	17.9%	2.1%	3.0%	16.9%

令和元年度

平成30年度

「仕事の効果」と「お金の使い方」の組み合わせでは、「仕事の効果」が「ちょうどよい」、かつ「お金の使い方」が「ちょうどよい」の一番バランスがとれている回答の割合が40.0%で、この組み合わせの回答の平均値(43.3%)より低い数値になっています。

#### (4) 今後の進め方 ( ) 内は回答数

	もっと力を入れるべき	現状のままでよい	力をいれなくてよい	無回答	全体
R1	<b>29.6%</b> (185)	<b>36.6%</b> (229)	<b>5.0%</b> (31)	<b>28.8%</b> (180)	100.0% (625)
H30(参考)	29.9% (181)	35.9% (217)	5.6% (34)	28.6% (173)	100.0% (605)

今後の進め方については、「現状のままでよい」が36.6%、「もっと力を入れるべき」が29.6%でした。

## 質問

### 21 安全・安心で開かれた学校づくり

…児童生徒が安心して学び生活ができる、安全で開かれた学校づくりを進めるため、9年間を見通した小中学校が連携した教育の推進、家庭・地域との連携・協力体制の充実、防犯・防災・安全教育の推進・充実などに取り組みます。

#### 令和元年度の主な事業

- ・学校技能嘱託員・学校給食調理嘱託員等報酬 ≪8,105万円≫
- ・小学校(16校)への学校警備員配置、機械警備 ≪3,920万円≫
- ・児童生徒の健康確保のための各種検診・保健指導 ≪6,245万円≫



小学校における警備員の配置

#### ◆この施策にかかる経費( )は前年度データ

**3億1,580万円** ※全体予算に占める割合  
(3億1,330万円) …**0.29%**(0.29%)

この施策にかかる経費を市民一人あたりに換算した額	<b>1,833円</b> (1,819円)
鎌倉市の負担を市民一人あたりに換算した額	<b>1,831円</b> (1,818円)
この施策に従事する職員数(職員給与費は経費に含む。)	<b>10.8人</b> (9.6人)

### あなたの回答

(それぞれ一つの番号に○をつけてください)

仕事の効果	1	必要以上の効果	4を選んだ方 ↓ 「今後の進め方」は「今後の使い方」の項目は
	2	ちょうどよい	
	3	効果不十分	
	4	取組を知らない・わからない	
お金の使い方	1	使いすぎ	「今後の進め方」は「今後の使い方」の項目は
	2	ちょうどよい	
	3	足りない	
今後の進め方	1	もっと力を入れるべき	「今後の進め方」は「今後の使い方」の項目は
	2	現状のままでよい	
	3	力をいれなくてよい	

## 集計結果

#### (1) 仕事の効果 ( ) 内は回答数

	必要以上の効果	ちょうどよい	効果不十分	取組を知らない・わからない	無回答	全体
R1	<b>4.2%</b> (26)	<b>56.2%</b> (351)	<b>14.6%</b> (91)	<b>21.1%</b> (132)	<b>4.0%</b> (25)	100.0% (625)
H30(参考)	3.3% (20)	60.7% (367)	13.6% (82)	20.3% (123)	2.1% (13)	100.0% (605)

「仕事の効果」のうち、「ちょうどよい」の回答が56.2%と最も多く、続いて「取組を知らない・わからない」が21.1%となっています。

#### (2) お金の使い方 ( ) 内は回答数

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない	無回答	全体
R1	<b>4.3%</b> (27)	<b>56.6%</b> (354)	<b>12.8%</b> (80)	<b>26.2%</b> (164)	100.0% (625)
H30(参考)	3.5% (21)	59.7% (361)	12.6% (76)	24.3% (147)	100.0% (605)

「お金の使い方」のうち、「ちょうどよい」の回答が56.6%と最も多く、続いて「足りない」が12.8%でした。

#### (3) 仕事の効果×お金の使い方

		取組を知らない・わからない 21.1%		
		お金の使い方		
仕事の効果	必要以上の効果	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
	ちょうどよい	1.9%	1.8%	0.5%
	効果不十分	1.6%	<b>52.3%</b>	1.1%

令和元年度

		取組を知らない・わからない 20.3%		
		お金の使い方		
仕事の効果	必要以上の効果	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
	ちょうどよい	1.2%	1.8%	0.3%
	効果不十分	0.5%	<b>56.5%</b>	2.0%

平成30年度

「仕事の効果」と「お金の使い方」の組み合わせでは、「仕事の効果」が「ちょうどよい」かつ「お金の使い方」が「ちょうどよい」の一番バランスがとれている回答の割合が52.3%で、この組み合わせの回答の平均値(43.3%)より高い数値となっています。

#### (4) 今後の進め方 ( ) 内は回答数

	もっと力を入れるべき	現状のままでよい	力をいれなくてよい	無回答	全体
R1	<b>22.2%</b> (139)	<b>48.6%</b> (304)	<b>2.9%</b> (18)	<b>26.2%</b> (164)	100.0% (625)
H30(参考)	22.1% (134)	50.9% (308)	2.8% (17)	24.1% (146)	100.0% (605)

今後の進め方については、「現状のままでよい」が48.6%、「もっと力を入れるべき」が22.2%でした

## 質問

### 22 教育内容・教育環境の充実

…豊かな人間性や健やかな心と体を育むため、教育内容の充実、就学援助の実施、児童・生徒指導の充実、学校における食育の推進、特別支援学級の充実などに取り組みます。

#### 令和元年度の主な事業

- 小・中学校給食の実施<4億9,421万円>
- 小・中学校における各種指導者等の派遣、特別な支援を必要とする児童生徒への人的支援<1億7,830万円>
- 小・中学校における要保護・準要保護児童生徒に対する扶助、特別支援学級等に就学する児童生徒に対する扶助<1億7,878万円>
- 小・中学校における教育用コンピュータの整備<9,685万円>
- 小・中学校の授業・行事等に必要教材や物品の調達等による学校の運営<1億8,016万円>

#### ◆この施策にかかる経費( )は前年度データ

	<b>23億334万円</b> (21億7,810万円)	※全体予算に占める割合 … <b>2.12%</b> (2.03%)
この施策にかかる経費を市民一人あたりに換算した額	<b>13,367円</b> (12,649円)	
鎌倉市の負担を市民一人あたりに換算した額	<b>13,197円</b> (12,511円)	
この施策に従事する職員数(職員給与費は経費に含む。)	<b>82.9人</b> (83.4人)	

#### ◎参考

- 市立小学校の数…16校
- 市立中学校の数…9校

### あなたの回答

(それぞれ一つの番号に○をつけてください)

仕事の効果	1	必要以上の効果	4を選んだ方 ↓ 「お金の使い方は」 「今後の進め方は」 は ↑
	2	ちょうどよい	
	3	効果不十分	
	4	取組を知らない・分からない	
お金の使い方	1	使いすぎ	「お金の使い方は」 「今後の進め方は」 は ↑
	2	ちょうどよい	
	3	足りない	
今後の進め方	1	もっと力を入れるべき	「お金の使い方は」 「今後の進め方は」 は ↑
	2	現状のままでよい	
	3	力をいれなくてよい	

## 集計結果

#### (1) 仕事の効果 ( ) 内は回答数

	必要以上の効果	ちょうどよい	効果不十分	取組を知らない・わからない	無回答	全体
R1	<b>4.6%</b> (29)	<b>53.0%</b> (331)	<b>16.8%</b> (105)	<b>21.8%</b> (136)	<b>3.8%</b> (24)	100.0% (625)
H30(参考)	4.6% (28)	55.4% (335)	15.9% (96)	21.2% (128)	3.0% (18)	100.0% (605)

「仕事の効果」のうち、「ちょうどよい」の回答が53.0%と最も多く、続いて「取組を知らない・わからない」が21.8%となっています。

#### (2) お金の使い方 ( ) 内は回答数

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない	無回答	全体
R1	<b>7.2%</b> (45)	<b>49.9%</b> (312)	<b>15.8%</b> (99)	<b>27.0%</b> (169)	100.0% (625)
H30(参考)	6.8% (41)	53.2% (322)	13.9% (84)	26.1% (158)	100.0% (605)

「お金の使い方」のうち、「ちょうどよい」の回答が49.9%と最も多く、続いて「足りない」が15.8%でした。

#### (3) 仕事の効果×お金の使い方

取組を知らない・わからない 21.8%

		お金の使い方		
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
仕事の効果	必要以上の効果	2.7%	1.1%	0.6%
	ちょうどよい	3.4%	<b>45.8%</b>	2.6%
	効果不十分	1.1%	3.0%	12.6%

令和元年度

取組を知らない・わからない 21.2%

		お金の使い方		
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
仕事の効果	必要以上の効果	2.8%	1.3%	0.5%
	ちょうどよい	1.5%	<b>49.9%</b>	2.5%
	効果不十分	2.5%	2.0%	10.9%

平成30年度

「仕事の効果」と「お金の使い方」の組み合わせでは、「仕事の効果」が「ちょうどよい」、かつ「お金の使い方」が「ちょうどよい」の一番バランスがとれている回答の割合が45.8%で、この組み合わせの回答の平均値(43.3%)より高い数値となっています。

#### (4) 今後の進め方 ( ) 内は回答数

	もっと力を入れるべき	現状のままでよい	力をいれなくてよい	無回答	全体
R1	<b>24.2%</b> (151)	<b>44.0%</b> (275)	<b>3.8%</b> (24)	<b>28.0%</b> (175)	100.0% (625)
H30(参考)	24.6% (149)	46.8% (283)	2.3% (14)	26.3% (159)	100.0% (605)

今後の進め方については、「現状のままでよい」が44.0%、「もっと力を入れるべき」が24.2%でした。



# 質問

## 23 学校施設の整備

…児童生徒が健康で安全な学校生活を送ることができるよう、大規模改修による延命化や、非構造部材の耐震対策など学校施設の整備に取り組みます。

### 令和元年度の主な事業

- ・小学校冷房設置工事(小学校6校) ≪3億6,788万円≫ ※平成30年度予算で実施
- ・小中学校トイレ環境改善業務委託 ≪7億9,864万円≫
- ・岩瀬中学校特別支援学級教室改修工事 ≪3,000万円≫



山崎小学校  
普通教室冷房設備

◆この施策にかかる経費( )は前年度データ  
**9億1,297万円** ※全体予算に占める割合  
 (3億2,509万円) …**0.84%** (0.30%)

この施策にかかる経費を市民一人あたりに換算した額	<b>5,298円</b> (1,888円)
鎌倉市の負担を市民一人あたりに換算した額	<b>4,726円</b> (1,586円)
この施策に従事する職員数(職員給与費は経費に含む。)	<b>3.5人</b> (3.3人)

## あなたの回答

(それぞれ一つの番号に○をつけてください)

仕事の効果	1	必要以上の効果	4を選んだ方 ↓ 「お金の進め方」は「お金の進め方」の項目は8
	2	ちょうどよい	
	3	効果不十分	
	4	取組を知らない・分からない	
お金の使い方	1	使いすぎ	「お金の進め方」の項目は8
	2	ちょうどよい	
	3	足りない	
今後の進め方	1	もっと力を入れるべき	「お金の進め方」の項目は8
	2	現状のままで満足	
	3	力をいれなくてよい	

# 集計結果

### (1) 仕事の効果 ( ) 内は回答数

	必要以上の効果	ちょうどよい	効果不十分	取組を知らない・わからない	無回答	全体
R1	<b>4.2%</b> (26)	<b>51.4%</b> (321)	<b>19.5%</b> (122)	<b>21.0%</b> (131)	<b>4.0%</b> (25)	100.0% (625)
H30(参考)	4.6% (28)	53.1% (321)	21.3% (129)	18.8% (114)	2.1% (13)	100.0% (605)

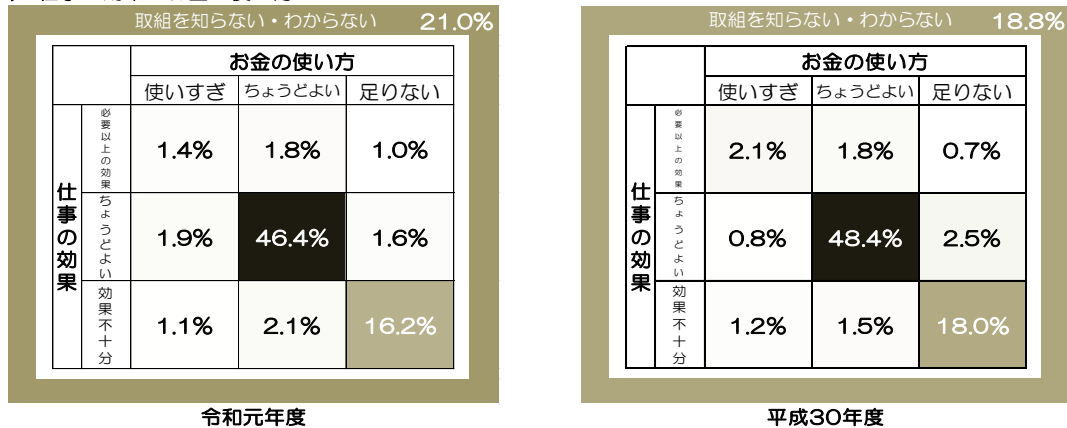
「仕事の効果」のうち、「ちょうどよい」の回答が51.4%と最も多く、続いて「取組を知らない・わからない」が21.0%となっています。

### (2) お金の使い方 ( ) 内は回答数

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない	無回答	全体
R1	<b>4.5%</b> (28)	<b>50.2%</b> (314)	<b>18.7%</b> (117)	<b>26.6%</b> (166)	100.0% (625)
H30(参考)	4.1% (25)	51.7% (313)	21.2% (128)	23.0% (139)	100.0% (605)

「お金の使い方」のうち、「ちょうどよい」の回答が50.2%と最も多く、続いて「足りない」が18.7%でした。

### (3) 仕事の効果×お金の使い方



「仕事の効果」と「お金の使い方」の組み合わせでは、「仕事の効果」が「ちょうどよい」、かつ「お金の使い方」が「ちょうどよい」の一番バランスがとれている回答の割合が46.4%で、この組み合わせの回答の平均値(43.3%)より高い数値となっています。

### (4) 今後の進め方 ( ) 内は回答数

	もっと力を入れるべき	現状のままでよい	力をいれなくてよい	無回答	全体
R1	<b>27.4%</b> (171)	<b>42.7%</b> (267)	<b>2.6%</b> (16)	<b>27.4%</b> (171)	100.0% (625)
H30(参考)	32.2% (195)	42.8% (259)	2.0% (12)	23.0% (139)	100.0% (605)

今後の進め方については、「現状のままでよい」が42.7%、「もっと力を入れるべき」が27.4%でした。

# 質問

## 24 青少年の育成・支援

…地域の担い手となる青少年を育成するため、青少年活動の推進、青少年の居場所づくりの推進、相談・支援体制の充実、社会参画の推進などに取り組みます。


### ■令和元年度の主な事業

- ・青少年の健全な育成を図るために委嘱した青少年指導員報酬 <<225万円>>
- ・成人のつどい(成人式)開催 <<174万円>>
- ・子ども会への補助 <<68万円>>
- ・鎌倉及び玉縄青少年会館の管理運営 <<4,336万円>>

**◎参考**

【令和元年実績】

- ・青少年指導員の数 …62人
- ・子ども会の数 (補助金交付団体) …67団体



成人のつどい

**◆この施策にかかる経費** ( )は前年度データ

**7,491万円** ※全体予算に占める割合  
(7,397万円) …**0.07%**(0.07%)

この施策にかかる経費を市民一人あたりに換算した額	<b>435円</b> (430円)
鎌倉市の負担を市民一人あたりに換算した額	<b>424円</b> (418円)
この施策に従事する職員数 (職員給与等は経費に含む。)	<b>3.2人</b> (3.2人)

### あなたの回答

(それぞれ一つの番号に○をつけてください)

<b>仕事の効果</b>	1	必要以上の効果
	2	ちょうどよい
	3	効果不十分
	4	取組を知らない・分からない
<b>お金の使い方</b>	1	使いすぎ
	2	ちょうどよい
	3	足りない
<b>今後の進め方</b>	1	もっと力を入れるべき
	2	現状のままで満足
	3	力をいれなくてよい

4を選んだ方

「お金の使い方の項目は」

「今後の進め方」

「お金の使い方の項目は」

「今後の進め方」

# 集計結果

**(1) 仕事の効果** ( )内は回答数

	必要以上の効果	ちょうどよい	効果不十分	取組を知らない・わからない	無回答	全体
<b>R1</b>	<b>3.7%</b> (23)	<b>52.3%</b> (327)	<b>16.6%</b> (104)	<b>23.4%</b> (146)	<b>4.0%</b> (25)	<b>100.0%</b> (625)
H30(参考)	3.5% (21)	53.4% (323)	14.2% (86)	26.8% (162)	2.1% (13)	100.0% (605)

「仕事の効果」のうち、「ちょうどよい」の回答が52.3%と最も多く、続いて「取組を知らない・わからない」が23.4%となっています。

**(2) お金の使い方** ( )内は回答数

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない	無回答	全体
<b>R1</b>	<b>10.6%</b> (66)	<b>51.8%</b> (324)	<b>8.8%</b> (55)	<b>28.8%</b> (180)	<b>100.0%</b> (625)
H30(参考)	6.8% (41)	52.2% (316)	9.8% (59)	31.2% (189)	100.0% (605)

「お金の使い方」のうち、「ちょうどよい」の回答が51.8%と最も多く、続いて「使いすぎ」が10.6%でした。

取組を知らない・わからない 23.4%

		お金の使い方		
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
仕事の効果	必要以上の効果	2.7%	0.8%	0.2%
	ちょうどよい	3.4%	47.2%	0.6%
	効果不十分	4.5%	3.8%	8.0%

令和元年度

取組を知らない・わからない 26.6%

		お金の使い方		
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
仕事の効果	必要以上の効果	2.0%	1.2%	0.3%
	ちょうどよい	1.7%	48.1%	1.7%
	効果不十分	3.0%	3.0%	7.8%

平成30年度

「仕事の効果」と「お金の使い方」の組み合わせでは、「仕事の効果」が「ちょうどよい」、かつ「お金の使い方」が「ちょうどよい」の一番バランスがとれている回答の割合が47.2%で、この組み合わせの回答の平均値(43.3%)より高い数値となっています。

**(4) 今後の進め方** ( )内は回答数

	もっと力を入れるべき	現状のままでよい	力をいれなくてよい	無回答	全体
<b>R1</b>	<b>12.3%</b> (77)	<b>49.3%</b> (308)	<b>9.0%</b> (56)	<b>29.4%</b> (184)	<b>100.0%</b> (625)
H30(参考)	16.2% (98)	46.9% (284)	6.0% (36)	30.9% (187)	100.0% (605)

今後の進め方については、「現状のままでよい」が49.3%、「もっと力を入れるべき」が12.3%でした。

## 質問

### 25 多様な学習機会の提供と学習成果の活用

…多様で充実した学習機会の提供と学習成果を生かすことのできる環境を整備するため、多様で質の高い学習プログラムの提供と成果の活用、学習支援体制の整備・充実、地域における学習交流機会の提供などに取り組みます。

#### ■令和元年度の主な事業

- ・稲村ヶ崎小学校及び今泉小学校における放課後子ども教室の実施 <<146万円>>
- ・生涯学習講座・イベント等の実施及び情報誌の発行 <<1,282万円>>



生涯学習  
フェスティバル

◆この施策にかかる経費( )は前年度データ

**4,348万円** ※全体予算に占める割合  
(4,905万円) …**0.04%**(0.05%)

この施策にかかる経費を市民一人あたりに換算した額	<b>252円</b> (285円)
鎌倉市の負担を市民一人あたりに換算した額	<b>238円</b> (259円)
この施策に従事する職員数(職員給与費は経費に含む。)	<b>3.0人</b> (3.2人)

### あなたの回答

(それぞれ一つの番号に○をつけてください)

仕事の効果	1	必要以上の効果	4を選んだ方 ↓ 「今後の進め方」の項目は「お金の使い方」に回答せず
	2	ちょうどよい	
	3	効果不十分	
	4	取組を知らない・分からない	
お金の使い方	1	使いすぎ	「今後の進め方」の項目は「お金の使い方」に回答せず
	2	ちょうどよい	
	3	足りない	
今後の進め方	1	もっと力を入れるべき	「今後の進め方」の項目は「お金の使い方」に回答せず
	2	現状のままで満足	
	3	力をいれなくてよい	

## 集計結果

#### (1) 仕事の効果 ( )内は回答数

	必要以上の効果	ちょうどよい	効果不十分	取組を知らない・わからない	無回答	全体
R1	<b>3.4%</b> (21)	<b>42.4%</b> (265)	<b>15.7%</b> (98)	<b>33.6%</b> (210)	<b>5.0%</b> (31)	100.0% (625)
H30(参考)	3.1% (19)	43.3% (262)	15.0% (91)	36.2% (219)	2.3% (14)	100.0% (605)

「仕事の効果」のうち、「ちょうどよい」の回答が42.4%と最も多く、続いて「取組を知らない・わからない」の回答が33.6%となっています。

#### (2) お金の使い方 ( )内は回答数

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない	無回答	全体
R1	<b>8.6%</b> (54)	<b>43.0%</b> (269)	<b>8.5%</b> (53)	<b>39.8%</b> (249)	100.0% (625)
H30(参考)	7.3% (44)	41.8% (253)	10.6% (64)	40.3% (244)	100.0% (605)

「お金の使い方」のうち、「ちょうどよい」の回答が43.0%と最も多く、続いて「使いすぎ」が8.6%でした。

#### (3) 仕事の効果×お金の使い方

		お金の使い方		
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
仕事の効果	必要以上の効果	2.6%	0.5%	0.2%
	ちょうどよい	1.6%	<b>39.4%</b>	0.8%
	効果不十分	4.5%	3.2%	7.5%

令和元年度

		お金の使い方		
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
仕事の効果	必要以上の効果	2.1%	0.7%	0.2%
	ちょうどよい	1.3%	<b>39.5%</b>	1.3%
	効果不十分	3.8%	1.7%	9.1%

平成30年度

「取組を知らない・わからない」の割合が33.6%となっており、回答の約3割近くがこの施策について知らない、わからないという結果であることから、まずは、市民への周知がより必要な施策であると考えられます。

#### (4) 今後の進め方 ( )内は回答数

	もっと力を入れるべき	現状のままでよい	力をいれなくてよい	無回答	全体
R1	<b>11.4%</b> (71)	<b>39.8%</b> (249)	<b>8.6%</b> (54)	<b>40.2%</b> (251)	100.0% (625)
H30(参考)	15.2% (92)	37.7% (228)	6.8% (41)	40.3% (244)	100.0% (605)

今後の進め方については、「現状のままでよい」が39.8%、「もっと力を入れるべき」が11.4%でした。

## 質問

### 26 学習環境の整備・充実

…市民が主体的に学習できる場づくりを進めるため、生涯学習施設の連携・活用、生涯学習センターや図書館の整備・充実などに取り組みます。

#### ■令和元年度の主な事業

- ・図書館における貸出業務、インターネット予約受付、施設の維持管理、資料の収集  
 ≪1億5,262万円≫
- ・鎌倉生涯学習センター耐震改修工事≪1億6,698万円≫
- ・鎌倉生涯学習センター及び腰越・深沢・大船・玉縄の各学習センターの管理運営  
 ≪1億3,738万円≫



鎌倉中央図書館の様子

◆この施策にかかる経費( )は前年度データ

**6億8,469万円** ※全体予算に占める割合  
 (5億3,768万円) …**0.63%**(0.50%)

この施策にかかる経費を市民一人あたりに換算した額	<b>3,973円</b> (3,123円)
鎌倉市の負担を市民一人あたりに換算した額	<b>3,335円</b> (2,798円)
この施策に従事する職員数(職員給与費は経費に含む。)	<b>28.0人</b> (28.2人)

### あなたの回答

(それぞれ一つの番号に○をつけてください)

仕事の効果	1	必要以上の効果	4を選んだ方 ↓ 「今後の進め方」の項目は「お金の使い方」に回答せず
	2	ちょうどよい	
	3	効果不十分	
	4	取組を知らない・分からない	
お金の使い方	1	使いすぎ	「今後の進め方」の項目は「お金の使い方」に回答せず
	2	ちょうどよい	
	3	足りない	
今後の進め方	1	もっと力を入れるべき	「今後の進め方」の項目は「お金の使い方」に回答せず
	2	現状のままで満足	
	3	力をいれなくてよい	

## 集計結果

#### (1) 仕事の効果 ( ) 内は回答数

	必要以上の効果	ちょうどよい	効果不十分	取組を知らない・わからない	無回答	全体
R1	<b>3.2%</b> (20)	<b>53.0%</b> (331)	<b>20.6%</b> (129)	<b>17.9%</b> (112)	<b>5.3%</b> (33)	100.0% (625)
H30(参考)	4.3% (26)	57.2% (346)	21.5% (130)	14.7% (89)	2.3% (14)	100.0% (605)

「仕事の効果」のうち、「ちょうどよい」の回答が53.0%と最も多く、続いて「効果不十分」が20.6%となっています。

#### (2) お金の使い方 ( ) 内は回答数

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない	無回答	全体
R1	<b>10.1%</b> (63)	<b>52.8%</b> (330)	<b>12.5%</b> (78)	<b>24.6%</b> (154)	100.0% (625)
H30(参考)	9.3% (56)	57.0% (345)	14.4% (87)	19.3% (117)	100.0% (605)

「お金の使い方」のうち、「ちょうどよい」の回答が52.8%と最も多く、続いて「足りない」が12.5%でした。

#### (3) 仕事の効果×お金の使い方

取組を知らない・わからない 17.9%

		お金の使い方		
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
仕事の効果	必要以上の効果	1.4%	1.6%	0.2%
	ちょうどよい	4.5%	<b>46.4%</b>	1.1%
	効果不十分	4.2%	4.8%	11.2%

令和元年度

取組を知らない・わからない 14.7%

		お金の使い方		
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
仕事の効果	必要以上の効果	1.8%	1.7%	0.7%
	ちょうどよい	3.5%	<b>50.9%</b>	1.5%
	効果不十分	4.0%	4.5%	12.2%

平成30年度

「仕事の効果」と「お金の使い方」の組み合わせでは、「仕事の効果」が「ちょうどよい」、かつ「お金の使い方」が「ちょうどよい」の一番バランスがとれている回答の割合が46.4%で、この組み合わせの回答の平均値(43.3%)より高い数値となっています。

#### (4) 今後の進め方 ( ) 内は回答数

	もっと力を入れるべき	現状のままでよい	力をいれなくてよい	無回答	全体
R1	<b>22.4%</b> (140)	<b>47.8%</b> (299)	<b>4.6%</b> (29)	<b>25.1%</b> (157)	100.0% (625)
H30(参考)	25.6% (155)	49.8% (301)	5.5% (33)	19.2% (116)	100.0% (605)

今後の進め方については、「現状のままでよい」が47.8%、「もっと力を入れるべき」が22.4%でした。

## 質問

### 27 市民スポーツ・レクリエーションの推進

…市民のスポーツ実施率の向上を図るため、市民スポーツ・レクリエーションの推進、市民のライフステージに応じたスポーツ環境の整備、競技スポーツの活性化などに取り組みます。

#### ■令和元年度の主な事業

- ・「鎌倉市ジュニアスポーツ栄誉表彰」の実施(219件受賞) ≪37万円≫
- ・「鎌倉マリンスポーツフェア2019」(9月開催)や「市民運動会」(10月開催)などのスポーツ行事の開催及びスポーツ指導者の育成 ≪1,471万円≫
- ・身近なところでスポーツ・レクリエーションを楽しめる環境にするための学校体育施設(体育館・校庭・プール)開放事業 ≪2,588万円≫
- ・鎌倉・大船体育館、武道館、プール等スポーツ施設の管理運営 ≪3億3,237万円≫

◆この施策にかかる経費( )は前年度データ  
**4億2,073万円** ※全体予算に占める割合  
 (3億2,082万円) …**0.39%**(0.30%)

#### ◎参考

- ・鎌倉市ジュニアスポーツ栄誉表彰…スポーツ活動で優秀な成績を修めた中学生以下を対象とした表彰(令和元年度は個人180名、39団体の合計219件を表彰)

この施策にかかる経費を市民一人あたりに換算した額	<b>2,442円</b> (1,863円)
鎌倉市の負担を市民一人あたりに換算した額	<b>2,338円</b> (1,782円)
この施策に従事する職員数(職員給与費は経費に含む。)	<b>4.5人</b> (3.0人)

### あなたの回答

(それぞれ一つの番号に○をつけてください)

仕事の効果	1	必要以上の効果	4を選んだ方 ↓ 「今後の進め方」の項目は「お金の使い方の」項目は「今後の進め方」
	2	ちょうどよい	
	3	効果不十分	
	4	取組を知らない・わからない	
お金の使い方	1	使いすぎ	「今後の進め方」
	2	ちょうどよい	
	3	足りない	
今後の進め方	1	もっと力を入れるべき	「今後の進め方」
	2	現状のままでよい	
	3	力をいれなくてよい	

## 集計結果

#### (1) 仕事の効果 ( )内は回答数

	必要以上の効果	ちょうどよい	効果不十分	取組を知らない・わからない	無回答	全体
R1	<b>5.3%</b> (33)	<b>51.7%</b> (323)	<b>18.1%</b> (113)	<b>20.3%</b> (127)	<b>4.6%</b> (29)	100.0% (625)
H30(参考)	5.0% (30)	53.9% (326)	17.2% (104)	22.1% (134)	1.8% (11)	100.0% (605)

「仕事の効果」のうち、「ちょうどよい」の回答が51.7%と最も多く、続いて「取組を知らない・わからない」が20.3%となっています。

#### (2) お金の使い方 ( )内は回答数

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない	無回答	全体
R1	<b>14.1%</b> (88)	<b>49.4%</b> (309)	<b>9.9%</b> (62)	<b>26.6%</b> (166)	100.0% (625)
H30(参考)	11.2% (68)	51.6% (312)	11.1% (67)	26.1% (158)	100.0% (605)

「お金の使い方」のうち、「ちょうどよい」の回答が49.4%と最も多く、続いて「使いすぎ」が14.1%でした。

#### (3) 仕事の効果×お金の使い方

		取組を知らない・わからない 20.3%			取組を知らない・わからない 22.1%		
		お金の使い方			お金の使い方		
仕事の効果	必要以上の効果	使いすぎ	ちょうどよい	足りない	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
	ちょうどよい	4.0%	1.0%	0.3%	3.6%	1.2%	0.2%
	効果不十分	4.3%	<b>45.4%</b>	1.0%	3.5%	<b>47.8%</b>	1.0%
効果不十分	5.8%	3.0%	8.6%	4.1%	2.6%	9.9%	

令和元年度

平成30年度

「仕事の効果」と「お金の使い方」の組み合わせでは、「仕事の効果」が「ちょうどよい」、かつ「お金の使い方」が「ちょうどよい」の一番バランスがとれている回答の割合が45.4%で、この組み合わせの回答の平均値(43.3%)より高い数値となっています。また「仕事の効果」が「必要以上の効果」かつ「お金の使い方」が「使いすぎ」の割合が54の施策のうち、5番目に高い数値になっています。

#### (4) 今後の進め方 ( )内は回答数

	もっと力を入れるべき	現状のままでよい	力をいれなくてよい	無回答	全体
R1	<b>15.0%</b> (94)	<b>47.8%</b> (299)	<b>10.4%</b> (65)	<b>26.7%</b> (167)	100.0% (625)
H30(参考)	17.4% (105)	49.8% (301)	6.9% (42)	26.0% (157)	100.0% (605)

今後の進め方については、「現状のままでよい」が47.8%、「もっと力を入れるべき」が15.0%でした。

## 質問

### 28 スポーツ施設の整備

…競技スポーツのための施設の整備、既存のスポーツ施設の機能の充実、市民スポーツのための施設整備に取り組みます。


**■令和元年度の主な事業**

・スポーツ施設建設のための基金への寄附金の積立と運用 《493万円》

◆この施策にかかる経費( )は前年度データ

**1,675万円** ※全体予算に占める割合  
(4,217万円) …**0.02%**(0.04%)

この施策にかかる経費を市民一人あたりに換算した額	<b>97円</b> (245円)
鎌倉市の負担を市民一人あたりに換算した額	<b>69円</b> (221円)
この施策に従事する職員数(職員給与費は経費に含む。)	<b>1.5人</b> (2.0人)



鎌倉体育館

### あなたの回答

(それぞれ一つの番号に○をつけてください)

仕事の効果	1	必要以上の効果	4を選んだ方 ↓ 「今後の進め方」の項目は「お金の使い方の」に回答せず
	2	ちょうどよい	
	3	効果不十分	
	4	取組を知らない・分からない	
お金の使い方	1	使いすぎ	「今後の進め方」の項目は「お金の使い方の」に回答せず
	2	ちょうどよい	
	3	足りない	
今後の進め方	1	もっと力を入れるべき	「今後の進め方」の項目は「お金の使い方の」に回答せず
	2	現状のままで満足	
	3	力をいれなくてよい	

## 集計結果

(1) 仕事の効果 ( ) 内は回答数

	必要以上の効果	ちょうどよい	効果不十分	取組を知らない・わからない	無回答	全体
R1	<b>2.9%</b> (18)	<b>46.4%</b> (290)	<b>21.8%</b> (136)	<b>25.3%</b> (158)	<b>3.7%</b> (23)	100.0% (625)
H30(参考)	3.0% (18)	44.1% (267)	22.8% (138)	27.8% (168)	2.3% (14)	100.0% (605)

「仕事の効果」のうち、「ちょうどよい」の回答が46.4%と最も多く、続いて「取組を知らない・わからない」が25.3%となっています。

(2) お金の使い方 ( ) 内は回答数

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない	無回答	全体
R1	<b>4.5%</b> (28)	<b>46.9%</b> (293)	<b>18.2%</b> (114)	<b>30.4%</b> (190)	100.0% (625)
H30(参考)	5.5% (33)	42.6% (258)	19.7% (119)	32.2% (195)	100.0% (605)

「お金の使い方」のうち、「ちょうどよい」の回答が46.9%と最も多く、続いて「足りない」が18.2%でした。

(3) 仕事の効果×お金の使い方

取組を知らない・わからない 25.3%

		お金の使い方		
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
仕事の効果	必要以上の効果	1.3%	1.3%	0.3%
	ちょうどよい	1.3%	<b>42.6%</b>	1.6%
	効果不十分	1.9%	3.0%	<b>16.3%</b>

令和元年度

取組を知らない・わからない 27.8%

		お金の使い方		
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
仕事の効果	必要以上の効果	2.1%	0.5%	0.3%
	ちょうどよい	1.2%	<b>40.0%</b>	1.7%
	効果不十分	2.1%	2.1%	<b>17.7%</b>

平成30年度

「仕事の効果」と「お金の使い方」の組み合わせでは、「仕事の効果」が「ちょうどよい」、かつ「お金の使い方」が「ちょうどよい」の一番バランスがとれている回答の割合が42.6%で、この組み合わせの回答の平均値(43.3%)より低い数値となっています。

(4) 今後の進め方 ( ) 内は回答数

	もっと力を入れるべき	現状のままでよい	力をいれなくてよい	無回答	全体
R1	<b>21.0%</b> (131)	<b>43.2%</b> (270)	<b>5.1%</b> (32)	<b>30.7%</b> (192)	100.0% (625)
H30(参考)	22.1% (134)	39.8% (241)	5.3% (32)	32.7% (198)	100.0% (605)

今後の進め方については、「現状のままでよい」が43.2%、「もっと力を入れるべき」が21.0%でした。

## 質問

### 29 地震対策・風水害対策の充実

…安心して暮らせるまちをめざし、総合的な防災体制の強化、地域の防災意識の醸成、地震・津波の避難対策、情報伝達体制の充実、災害時要援護者対策、がけ・急傾斜地対策などに取り組みます。

#### 令和元年度の主な事業

- ・災害情報伝達体制の充実、防災行政用無線の維持管理及びデジタル化整備、公衆無線LANシステム運用 ≪1億525万円≫
- ・災害発生時における市民及び帰宅困難者等の備蓄品等の災害対応備蓄品の備蓄 ≪2,428万円≫
- ・急傾斜地防災工事(県実施工事)への負担及び既成宅地等の防災工事費の助成 ≪9,894万円≫
- ・危険ブロック塀等対策事業 ≪5,546万円≫

◆この施策にかかる経費( )は前年度データ  
**4億7,987万円** ※全体予算に占める割合  
 (4億3,762万円) …**0.44%**(0.41%)

#### ◎参考

- ・急傾斜地崩壊危険区域…94カ所
- ・防災行政用無線の数…151カ所

この施策にかかる経費を市民一人あたりに換算した額	2,785円 (2,541円)
鎌倉市の負担を市民一人あたりに換算した額	2,481円 (2,348円)
この施策に従事する職員数(職員給与費は経費に含む。)	11.7人 (11.7人)

### あなたの回答

(それぞれ一つの番号に○をつけてください)

仕事の効果	1	必要以上の効果	4を選んだ方 ↓ 「今後の進め方」の項目は「お金の使い方」に回答せず
	2	ちょうどよい	
	3	効果不十分	
	4	取組を知らない・分からない	
お金の使い方	1	使いすぎ	「今後の進め方」の項目は「お金の使い方」に回答せず
	2	ちょうどよい	
	3	足りない	
今後の進め方	1	もっと力を入れるべき	「今後の進め方」の項目は「今後の進め方」に回答せず
	2	現状のままで満足	
	3	力をいれなくてよい	

## 集計結果

#### (1) 仕事の効果 ( )内は回答数

	必要以上の効果	ちょうどよい	効果不十分	取組を知らない・わからない	無回答	全体
R1	2.9% (18)	34.9% (218)	46.7% (292)	11.4% (71)	4.2% (26)	100.0% (625)
H30(参考)	2.0% (12)	37.7% (228)	45.0% (272)	13.2% (80)	2.1% (13)	100.0% (605)

「仕事の効果」のうち、「効果不十分」の回答が46.7%と最も多く、続いて「ちょうどよい」が34.9%となっています。また、「効果不十分」の割合は54の施策のうち、最も高い数値となっています。

#### (2) お金の使い方 ( )内は回答数

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない	無回答	全体
R1	1.9% (12)	36.5% (228)	44.0% (275)	17.6% (110)	100.0% (625)
H30(参考)	2.8% (17)	39.0% (236)	40.2% (243)	18.0% (109)	100.0% (605)

「お金の使い方」のうち、「足りない」の回答が44.0%と最も多く、続いて「ちょうどよい」が36.5%でした。また、「足りない」の割合は54の施策のうち、最も高い数値となっています。

#### (3) 仕事の効果×お金の使い方

		お金の使い方			取組を知らない・わからない
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない	
仕事の効果	必要以上の効果	0.2%	1.6%	1.0%	11.4%
	ちょうどよい	0.8%	30.9%	2.4%	13.2%
	効果不十分	1.0%	4.0%	40.6%	

令和元年度

平成30年度

「仕事の効果」と「お金の使い方」の組み合わせでは、「仕事の効果」が「ちょうどよい」、かつ「お金の使い方」が「ちょうどよい」の一番バランスがとれている回答の割合が30.9%で、この組み合わせの回答の平均値(43.3%)より低い数値となっています。また「仕事の効果」が「効果不十分」かつ「お金の使い方」が「足りない」は54の施策のうち、最も高い数値となっています。

#### (4) 今後の進め方 ( )内は回答数

	もっと力を入れるべき	現状のままでよい	力をいれなくてよい	無回答	全体
R1	57.4% (359)	24.5% (153)	0.8% (5)	17.3% (108)	100.0% (625)
H30(参考)	52.7% (319)	28.8% (174)	0.8% (5)	17.7% (107)	100.0% (605)

今後の進め方については、「もっと力を入れるべき」が57.4%、「現状のままでよい」が24.5%でした。また「もっと力を入れるべき」の割合が54の施策のうち、最も高い数値となっています。

## 質問

### 30 危機管理対策

…安心して暮らせるまちをめざし、国・県などとの連携体制を整える他、自然災害をはじめ、あらゆる危機事象に対応するための資機材等の確保や危機を想定した訓練、危機管理に関する知識・技術を習得するための研修の企画・立案などに取り組みます。

#### ■令和元年度の主な事業

- あらゆる危機事象等に対応するための危機管理体制の強化等の実施 <618万円>
- 小学校・保育園等の給食食材等の放射性物質測定業務 <566万円>



訓練の様子

◆この施策にかかる経費( )は前年度データ

**3,897万円** ※全体予算に占める割合  
(3,779万円) …**0.04%**(0.04%)

この施策にかかる経費を市民一人あたりに換算した額	<b>226円</b> (219円)
鎌倉市の負担を市民一人あたりに換算した額	
この施策に従事する職員数(職員給与費は経費に含む。)	<b>3.5人</b> (3.5人)

### あなたの回答

(それぞれ一つの番号に○をつけてください)

仕事の効果	1	必要以上の効果	4を選んだ方 ↓ 「お金の使い方の項目は」 「今後の進め方」 へ
	2	ちょうどよい	
	3	効果不十分	
	4	取組を知らない・分からない	
お金の使い方	1	使いすぎ	「お金の使い方の項目は」 「今後の進め方」 へ
	2	ちょうどよい	
	3	足りない	
今後の進め方	1	もっと力を入れるべき	「今後の進め方の項目は」 「お金の使い方の項目は」 へ
	2	現状のままで満足	
	3	力をいれなくてよい	

## 集計結果

#### (1) 仕事の効果 ( ) 内は回答数

	必要以上の効果	ちょうどよい	効果不十分	取組を知らない・わからない	無回答	全体
R1	<b>3.5%</b> (22)	<b>39.4%</b> (246)	<b>30.7%</b> (192)	<b>22.4%</b> (140)	<b>4.0%</b> (25)	100.0% (625)
H30(参考)	3.5% (21)	39.0% (236)	29.8% (180)	25.5% (154)	2.3% (14)	100.0% (605)

「仕事の効果」のうち、「ちょうどよい」の回答が39.4%と最も多く、続いて「効果不十分」が30.7%となっています。また、「効果不十分」の割合は54の施策のうち、4番目に高い数値となっています。

#### (2) お金の使い方 ( ) 内は回答数

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない	無回答	全体
R1	<b>4.6%</b> (29)	<b>40.3%</b> (252)	<b>26.9%</b> (168)	<b>28.2%</b> (176)	100.0% (625)
H30(参考)	5.6% (34)	40.8% (247)	23.6% (143)	29.9% (181)	100.0% (605)

「お金の使い方」のうち、「ちょうどよい」の回答が40.3%と最も多く、続いて「足りない」が26.9%でした。また、「足りない」の割合は54の施策のうち、2番目に高い数値となっています。

#### (3) 仕事の効果×お金の使い方

		お金の使い方			取組を知らない・わからない 22.4%
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない	
仕事の効果	必要以上の効果	1.9%	1.0%	0.6%	22.4%
	ちょうどよい	1.3%	<b>35.7%</b>	1.6%	
	効果不十分	1.4%	3.7%	<b>24.6%</b>	

令和元年度

		お金の使い方			取組を知らない・わからない 25.5%
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない	
仕事の効果	必要以上の効果	2.1%	1.2%	0.2%	25.5%
	ちょうどよい	1.2%	<b>35.5%</b>	1.5%	
	効果不十分	2.3%	4.1%	<b>22.0%</b>	

平成30年度

「仕事の効果」と「お金の使い方」の組み合わせでは、「仕事の効果」が「ちょうどよい」、かつ「お金の使い方」が「ちょうどよい」の一番バランスがとれている回答の割合が35.7%で、この組み合わせの回答の平均値(43.3%)より低い数値となっています。また、「仕事の効果」が「効果不十分」、「お金の使い方」が「足りない」の割合は、54の施策のうち、2番目に高い数値になっています。

#### (4) 今後の進め方 ( ) 内は回答数

	もっと力を入れるべき	現状のままでよい	力をいれなくてよい	無回答	全体
R1	<b>35.2%</b> (220)	<b>32.5%</b> (203)	<b>4.3%</b> (27)	<b>28.0%</b> (175)	100.0% (625)
H30(参考)	30.9% (187)	35.4% (214)	4.1% (25)	29.6% (179)	100.0% (605)

今後の進め方については、「もっと力を入れるべき」が35.2%、「現状のままでよい」が32.5%でした。また「もっと力を入れるべき」の割合が54の施策のうち、2番目に高い数値となっています。



## 質問

### 31 消防機能の整備・充実

…安心して暮らせるまちをめざし、消防施設の整備・機能充実、情報通信機能の高度化、救急・救助体制の充実強化、火災予防対策の推進などに取り組みます。

#### 令和元年度の主な事業

- 市内のコンビニエンスストア及び公共施設等への自動体外式除細動器(AED)の配置 <<679万円>>
- 市内、消防署所の光熱水費、職員被服の貸与等、消防に係る一般事務 <<4,645万円>>
- 高規格救急自動車、救助工作車等の備品の購入 <<2億4,524万円>>
- 消防団の運営 <<7,563万円>>

#### 参考

- 救急車出動回数…10,896回(令和元年)/10,798回(平成30年)
- 市内で発生した火災…33件(令和元年)/34件(平成30年)
- 消防車両…39台



自動体外式除細動器(AED)

◆この施策にかかる経費( )は前年度データ

	<b>24億7,917万円</b> (23億23万円)	※全体予算に占める割合 … <b>2.28%</b> (2.14%)
この施策にかかる経費を市民一人あたりに換算した額	<b>14,387円</b> (13,358円)	
鎌倉市の負担を市民一人あたりに換算した額	<b>14,298円</b> (13,266円)	
この施策に従事する職員数(職員給与費は経費に含む。)	<b>231.0人</b> (227.5人)	

### あなたの回答

(それぞれ一つの番号に○をつけてください)

仕事の効果	1	必要以上の効果	4を選んだ方 ↓ 「お金の使い方の項目は」 「今後の進め方」
	2	ちょうどよい	
	3	効果不十分	
	4	取組を知らない・分からない	
お金の使い方	1	使いすぎ	「今後の進め方」
	2	ちょうどよい	
	3	足りない	
今後の進め方	1	もっと力を入れるべき	「今後の進め方」
	2	現状のままで満足	
	3	力をいれなくてよい	

## 集計結果

#### (1) 仕事の効果 ( )内は回答数

	必要以上の効果	ちょうどよい	効果不十分	取組を知らない・わからない	無回答	全体
R1	<b>3.0%</b> (19)	<b>68.6%</b> (429)	<b>10.7%</b> (67)	<b>13.4%</b> (84)	<b>4.2%</b> (26)	100.0% (625)
H30(参考)	3.3% (20)	65.5% (396)	12.7% (77)	16.2% (98)	2.3% (14)	100.0% (605)

「仕事の効果」のうち、「ちょうどよい」の回答が68.6%と最も多く、続いて「取組を知らない・わからない」が13.4%となっています。また、「ちょうどよい」の割合は、54の施策のうち、最も高い数値になっています。

#### (2) お金の使い方 ( )内は回答数

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない	無回答	全体
R1	<b>5.0%</b> (31)	<b>66.6%</b> (416)	<b>9.0%</b> (56)	<b>19.5%</b> (122)	100.0% (625)
H30(参考)	8.9% (54)	61.0% (369)	9.3% (56)	20.8% (126)	100.0% (605)

「お金の使い方」のうち、「ちょうどよい」の回答が66.6%と最も多く、続いて「足りない」が9.0%でした。また、「ちょうどよい」の割合は54の施策のうち、最も高い数値になっています。

#### (3) 仕事の効果×お金の使い方

		取組を知らない・わからない 13.4%		
		お金の使い方		
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
仕事の効果	必要以上の効果	1.1%	1.6%	0.3%
	ちょうどよい	2.2%	<b>63.4%</b>	1.8%
	効果不十分	1.6%	1.6%	6.9%

令和元年度

		取組を知らない・わからない 16.2%		
		お金の使い方		
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
仕事の効果	必要以上の効果	1.3%	1.3%	0.5%
	ちょうどよい	4.1%	<b>58.7%</b>	1.0%
	効果不十分	3.5%	1.0%	7.8%

平成30年度

「仕事の効果」と「お金の使い方」の組み合わせでは、「仕事の効果」が「ちょうどよい」、かつ「お金の使い方」が「ちょうどよい」の一番バランスがとれている回答の割合が63.4%で、この組み合わせの回答の平均値(43.3%)より高い数値となっており、54の施策のうち最も高い数値になっています。

#### (4) 今後の進め方 ( )内は回答数

	もっと力を入れるべき	現状のままでよい	力をいれなくてよい	無回答	全体
R1	<b>15.4%</b> (96)	<b>63.0%</b> (394)	<b>1.9%</b> (12)	<b>19.7%</b> (123)	100.0% (625)
H30(参考)	18.8% (114)	57.0% (345)	3.1% (19)	21.0% (127)	100.0% (605)

今後の進め方については、「現状のままでよい」が63.0%、「もっと力を入れるべき」が15.4%でした。また「現状のままでよい」の割合は、54の施策のうち、最も高い数値となっています。

➤ 質問

32 防犯活動の充実・強化		あなたの回答 (それぞれ一つの番号に○をつけてください)							
<p>…犯罪のない安全で安心なまちをめざし、地域防犯力の向上、防犯に適したまちづくりの推進、自主防犯活動の体制整備などに取り組みます。</p>									
<p><b>■令和元年度の主な事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自治・町内会が所有する防犯灯の設置費・改造費・維持費への補助 ≪831万円≫</li> <li>・ESCO事業による防犯灯の維持管理 ≪3,661万円≫</li> <li>・防犯灯に係る光熱水費 ≪3,157万円≫</li> <li>・防犯訓練、講話の実施等 ≪746万円≫</li> <li>・自治・町内会等が設置する防犯カメラへの補助 ≪480万円≫</li> </ul>									
<p>◎参考</p> <p>・ESCO事業(エスコ事業)とは 市と契約する事業者が、防犯灯のLED化工事やその後の管理を実施し、市は防犯灯LED化による電気料金等の削減分を、事業者に委託費を支払う事業。これにより現状の財政負担を削減することができます。</p>		<p>◆この施策にかかる経費( )は前年度データ</p> <p><b>1億1,023万円</b> ※全体予算に占める割合 (1億1,121万円) …<b>0.10%</b>(0.10%)</p> <table border="1"> <tr> <td>この施策にかかる経費を市民一人あたりに換算した額</td> <td>640円 (646円)</td> </tr> <tr> <td>鎌倉市の負担を市民一人あたりに換算した額</td> <td>640円 (630円)</td> </tr> <tr> <td>この施策に従事する職員数(職員給与費は経費に含む。)</td> <td>2.2人 (2.2人)</td> </tr> </table>		この施策にかかる経費を市民一人あたりに換算した額	640円 (646円)	鎌倉市の負担を市民一人あたりに換算した額	640円 (630円)	この施策に従事する職員数(職員給与費は経費に含む。)	2.2人 (2.2人)
この施策にかかる経費を市民一人あたりに換算した額	640円 (646円)								
鎌倉市の負担を市民一人あたりに換算した額	640円 (630円)								
この施策に従事する職員数(職員給与費は経費に含む。)	2.2人 (2.2人)								
		<p>「お金の使い方」の項目は、4を選んだ方が最も多かった。</p>							
		<p>「今後の進め方」の項目は、1を選んだ方が最も多かった。</p>							

➤ 集計結果

(1) 仕事の効果 ( ) 内は回答数

	必要以上の効果	ちょうどよい	効果不十分	取組を知らない・わからない	無回答	全体
R1	2.9% (18)	58.1% (363)	22.2% (139)	13.0% (81)	3.8% (24)	100.0% (625)
H30(参考)	3.6% (22)	59.7% (361)	21.7% (131)	12.9% (78)	2.1% (13)	100.0% (605)

「仕事の効果」のうち、「ちょうどよい」の回答が58.1%と最も多く、続いて「効果不十分」が22.2%となっています。

(2) お金の使い方 ( ) 内は回答数

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない	無回答	全体
R1	2.7% (17)	59.0% (369)	19.8% (124)	18.4% (115)	100.0% (625)
H30(参考)	3.0% (18)	57.9% (350)	21.5% (130)	17.7% (107)	100.0% (605)

「お金の使い方」のうち、「ちょうどよい」の回答が59.0%と最も多く、続いて「足りない」が19.8%でした。また、「ちょうどよい」の割合は54の施策のうち、5番目に高い数値になっています。

(3) 仕事の効果×お金の使い方

		お金の使い方			取組を知らない・わからない
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない	
仕事の効果	必要以上の効果	0.8%	1.6%	0.5%	13.0%
	ちょうどよい	0.5%	53.3%	3.0%	
	効果不十分	1.4%	4.2%	16.3%	

令和元年度

		お金の使い方			取組を知らない・わからない
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない	
仕事の効果	必要以上の効果	0.8%	2.1%	0.7%	12.9%
	ちょうどよい	1.0%	53.9%	3.0%	
	効果不十分	1.2%	1.8%	17.9%	

平成30年度

「仕事の効果」と「お金の使い方」の組み合わせでは、「仕事の効果」が「ちょうどよい」、かつ「お金の使い方」が「ちょうどよい」の一番バランスがとれている回答の割合が53.3%で、この組み合わせの回答の平均値(43.3%)より高い数値となっており、54の施策のうち5番目に高い数値になっています。

(4) 今後の進め方 ( ) 内は回答数

	もっと力を入れるべき	現状のままでよい	力を入れなくてよい	無回答	全体
R1	29.9% (187)	49.4% (309)	2.1% (13)	18.6% (116)	100.0% (625)
H30(参考)	29.6% (179)	51.2% (310)	1.7% (10)	17.5% (106)	100.0% (605)

今後の進め方については、「現状のままでよい」が49.4%、「もっと力を入れるべき」が29.9%でした。

## 質問

### 33 市街地整備の推進

…生活しやすい市街地を形成するため、鎌倉駅周辺地区・大船駅周辺地区・深沢地域国鉄跡地周辺の都市整備のほか、市民・事業者・NPO等との協働によるまちづくりの推進などに取り組みます。

#### ■令和元年度の主な事業

- ・深沢地域国鉄跡地周辺の都市整備事業 ≪6,281万円≫
- ・鎌倉駅西口駅前時計台広場整備に向けた事業 ≪4,883万円≫
- ・建築基準法に基づく許認可等に関する業務 ≪1,198万円≫



鎌倉駅西口駅前広場整備イメージ図

◆この施策にかかる経費( )は前年度データ  
**6億4,943万円** ※全体予算に占める割合  
 (5億8,518万円) …**0.60%** (0.54%)

この施策にかかる経費を市民一人あたりに換算した額	<b>3,769円</b> (3,398円)
鎌倉市の負担を市民一人あたりに換算した額	<b>3,463円</b> (3,156円)
この施策に従事する職員数(職員給与費は経費に含む。)	<b>57.2人</b> (56.7人)

### あなたの回答

(それぞれ一つの番号に○をつけてください)

仕事の効果	1	必要以上の効果
	2	ちょうどよい
	3	効果不十分
	4	取組を知らない・わからない
お金の使い方	1	使いすぎ
	2	ちょうどよい
	3	足りない
今後の進め方	1	もっと力を入れるべき
	2	現状のままで満足
	3	力をいれなくてよい

4を選んだ方

「お金の進め方」の項目は「お金の進め方」の項目は「お金の進め方」の項目は

## 集計結果

#### (1) 仕事の効果 ( ) 内は回答数

	必要以上の効果	ちょうどよい	効果不十分	取組を知らない・わからない	無回答	全体
R1	<b>4.0%</b> (25)	<b>46.4%</b> (290)	<b>26.9%</b> (168)	<b>18.7%</b> (117)	<b>4.0%</b> (25)	100.0% (625)
H30(参考)	4.1% (25)	44.8% (271)	28.9% (175)	19.5% (118)	2.6% (16)	100.0% (605)

「仕事の効果」のうち、「ちょうどよい」の回答が46.4%と最も多く、続いて「効果不十分」が26.9%となっています。

#### (2) お金の使い方 ( ) 内は回答数

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない	無回答	全体
R1	<b>15.8%</b> (99)	<b>45.4%</b> (284)	<b>14.4%</b> (90)	<b>24.3%</b> (152)	100.0% (625)
H30(参考)	14.2% (86)	45.0% (272)	16.2% (98)	24.6% (149)	100.0% (605)

「お金の使い方」のうち、「ちょうどよい」の回答が45.4%と最も多く、続いて「使いすぎ」が15.8%でした。

#### (3) 仕事の効果×お金の使い方

取組を知らない・わからない 18.7%

	お金の使い方		
	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	3.5%	0.5%	0.0%
ちょうどよい	4.2%	<b>41.1%</b>	0.2%
効果不十分	8.2%	3.8%	14.2%

令和元年度

取組を知らない・わからない 19.5%

	お金の使い方		
	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	3.1%	0.8%	0.2%
ちょうどよい	4.1%	<b>39.0%</b>	0.5%
効果不十分	6.9%	5.1%	15.5%

平成30年度

「仕事の効果」と「お金の使い方」の組み合わせでは、「仕事の効果」が「ちょうどよい」、かつ「お金の使い方」が「ちょうどよい」の一番バランスがとれている回答の割合が41.1%で、この組み合わせの回答の平均値(43.3%)より低い数値となっています。

#### (4) 今後の進め方 ( ) 内は回答数

	もっと力を入れるべき	現状のままでよい	力をいれなくてよい	無回答	全体
R1	<b>23.7%</b> (148)	<b>43.5%</b> (272)	<b>8.6%</b> (54)	<b>24.2%</b> (151)	100.0% (625)
H30(参考)	25.6% (155)	41.8% (253)	8.3% (50)	24.3% (147)	100.0% (605)

今後の進め方については、「現状のままでよい」が43.5%、「もっと力を入れるべき」が23.7%でした。

## 質問

34 道路・交通体系の検討		あなたの回答 (それぞれ一つの番号に○をつけてください)	
<p>…快適で安全な交通環境に改善するため、自動車利用を抑制するなどの交通需要マネジメント施策の推進、交通環境の改善、歩行者を優先した交通体系の検討などに取り組みます。</p> <p><b>■令和元年度の主な事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>休日等の鎌倉地域で発生している交通渋滞の解消に向けた、自動車利用の抑制等を含む交通需要マネジメント施策の検討 &lt;2,572万円&gt;</li> <li>鎌倉駅東口駅前広場の整備工事 &lt;2億7,652万円&gt;</li> <li>パークアンドライドの利用の手引きの印刷や案内看板の維持修繕 &lt;49万円&gt;</li> </ul>		<p>1 必要以上の効果</p> <p>2 ちょうどよい</p> <p>3 効果不十分</p> <p>4 取組を知らない・わからない</p>	
<p><b>参考</b></p> <p>◆この施策にかかる経費( )は前年度データ</p> <p>3億5,764万円 ※全体予算に占める割合 (3億1,144万円) …0.33%(0.29%)</p> <p>この施策にかかる経費を市民一人あたりに換算した額 <b>2,075円 (1,809円)</b></p> <p>鎌倉市の負担を市民一人あたりに換算した額</p> <p>この施策に従事する職員数 (職員給与費は経費に含む。) <b>6.6人 (6.6人)</b></p>		<p>仕事の効果</p> <p>お金の使い方</p> <p>今後の進め方</p>	
<p>◆この施策にかかる経費( )は前年度データ</p> <p>3億5,764万円 ※全体予算に占める割合 (3億1,144万円) …0.33%(0.29%)</p> <p>この施策にかかる経費を市民一人あたりに換算した額 <b>2,075円 (1,809円)</b></p> <p>鎌倉市の負担を市民一人あたりに換算した額</p> <p>この施策に従事する職員数 (職員給与費は経費に含む。) <b>6.6人 (6.6人)</b></p>		<p>4を選んだ方</p> <p>「お金の使い方を」回答せずに「今後の進め方」項目はへ</p>	

## 集計結果

(1) 仕事の効果 ( ) 内は回答数

	必要以上の効果	ちょうどよい	効果不十分	取組を知らない・わからない	無回答	全体
R1	3.5% (22)	33.6% (210)	41.1% (257)	18.1% (113)	3.7% (23)	100.0% (625)
H30(参考)	3.0% (18)	26.0% (157)	52.2% (316)	16.4% (99)	2.5% (15)	100.0% (605)

「仕事の効果」のうち、「効果不十分」の回答が41.1%と最も多く、続いて「ちょうどよい」が33.6%となっています。また、「効果不十分」の割合は54の施策のうち、2番目に高い数値となっています。

(2) お金の使い方 ( ) 内は回答数

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない	無回答	全体
R1	13.8% (86)	42.2% (264)	20.2% (126)	23.8% (149)	100.0% (625)
H30(参考)	13.9% (84)	33.6% (203)	30.1% (182)	22.5% (136)	100.0% (605)

「お金の使い方」のうち、「ちょうどよい」の回答が42.2%と最も多く、続いて「足りない」が20.2%でした。

(3) 仕事の効果×お金の使い方

取組を知らない・わからない 18.1%

		お金の使い方		
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
仕事の効果	必要以上の効果	2.6%	0.6%	0.2%
	ちょうどよい	2.4%	30.2%	0.2%
	効果不十分	8.8%	11.4%	19.8%

令和元年度

取組を知らない・わからない 16.4%

		お金の使い方		
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
仕事の効果	必要以上の効果	2.3%	0.5%	0.0%
	ちょうどよい	1.3%	22.5%	1.0%
	効果不十分	10.2%	10.6%	29.1%

平成30年度

「仕事の効果」と「お金の使い方」の組み合わせでは、「仕事の効果」が「ちょうどよい」、かつ「お金の使い方」が「ちょうどよい」の一番パランスがとれている回答の割合が30.2%で、この組み合わせの回答の平均値(43.3%)より低い数値となっています。また「仕事の効果」が「効果不十分」かつ「お金の使い方」が「使いすぎ」の割合が54の施策のうち、5番目に高く、「仕事の効果」が「効果不十分」かつ「お金の使い方」が「ちょうどよい」の割合が54の施策のうち、最も高く、「仕事の効果」が「効果不十分」かつ「お金の使い方」が「足りない」は54の施策のうち、4番目に高い数値となっています。

(4) 今後の進め方 ( ) 内は回答数

	もっと力を入れるべき	現状のままでよい	力をいれなくてよい	無回答	全体
R1	35.2% (220)	32.6% (204)	8.3% (52)	23.8% (149)	100.0% (625)
H30(参考)	48.8% (295)	24.5% (148)	5.3% (32)	21.5% (130)	100.0% (605)

今後の進め方については、「もっと力を入れるべき」が35.2%、「現状のままでよい」が32.6%でした。また、「もっと力を入れるべき」の割合は、54の施策のうち、2番目に高い数値となっています。


## 質問

### 35 交通安全意識の高揚

…交通安全意識を高め、交通事故を減らすため、交通安全意識の普及徹底、交通事故防止運動、自転車のマナーアップなどに取り組みます。

#### ■令和元年度の主な事業

- ・スクールゾーン交通安全対策としての道路のカラー舗装等 <650万円>
- ・小学生自転車教室など交通安全教育の実施 <558万円>
- ・湘南モノレール富士見町駅下の交通誘導業務 <115万円>



◆この施策にかかる経費( )は前年度データ

**4,292万円** ※全体予算に占める割合  
(4,009万円) …**0.04%**(0.04%)

この施策にかかる経費を市民一人あたりに換算した額	<b>249円</b> (233円)
鎌倉市の負担を市民一人あたりに換算した額	
この施策に従事する職員数(職員給与費は経費に含む。)	<b>2.2人</b> (2.2人)

### あなたの回答

(それぞれ一つの番号に○をつけてください)

仕事の効果	1	必要以上の効果
	2	ちょうどよい
	3	効果不十分
	4	取組を知らない・分からない
お金の使い方	1	使いすぎ
	2	ちょうどよい
	3	足りない
今後の進め方	1	もっと力を入れるべき
	2	現状のままで満足
	3	力をいれなくてよい

4を選んだ方  
「お金の使い方」の項目は「今後の進め方」へ

## 集計結果

### (1) 仕事の効果 ( ) 内は回答数

	必要以上の効果	ちょうどよい	効果不十分	取組を知らない・わからない	無回答	全体
R1	<b>2.6%</b> (16)	<b>57.8%</b> (361)	<b>19.4%</b> (121)	<b>16.5%</b> (103)	<b>3.8%</b> (24)	100.0% (625)
H30(参考)	2.3% (14)	55.5% (336)	23.8% (144)	15.9% (96)	2.5% (15)	100.0% (605)

「仕事の効果」のうち、「ちょうどよい」の回答が57.8%と最も多く、続いて「効果不十分」が19.4%となっています。

### (2) お金の使い方 ( ) 内は回答数

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない	無回答	全体
R1	<b>4.3%</b> (27)	<b>61.1%</b> (382)	<b>12.6%</b> (79)	<b>21.9%</b> (137)	100.0% (625)
H30(参考)	5.5% (33)	57.9% (350)	15.0% (91)	21.7% (131)	100.0% (605)

「お金の使い方」のうち、「ちょうどよい」の回答が61.1%と最も多く、続いて「足りない」が12.6%でした。また、「ちょうどよい」の割合は54の施策のうち、2番目に高い数値になっています。

### (3) 仕事の効果×お金の使い方

取組を知らない・わからない 16.5%

	仕事の効果	お金の使い方		
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果		1.1%	1.1%	0.3%
ちょうどよい		1.6%	<b>54.1%</b>	1.0%
効果不十分		1.6%	5.9%	11.4%

令和元年度

取組を知らない・わからない 15.9%

	仕事の効果	お金の使い方		
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果		1.0%	1.2%	0.2%
ちょうどよい		1.5%	<b>51.6%</b>	1.0%
効果不十分		3.0%	5.1%	13.9%

平成30年度

「仕事の効果」と「お金の使い方」の組み合わせでは、「仕事の効果」が「ちょうどよい」、かつ「お金の使い方」が「ちょうどよい」の一番バランスがとれている回答の割合が54.1%で、この組み合わせの回答の平均値(43.3%)より高い数値となっており、54の施策のうち、4番目に高い数値になっています。また、「仕事の効果」が「効果不十分」、「お金の使い方」が「足りない」の割合は、54の施策のうち、5番目に高い数値になっています。

### (4) 今後の進め方 ( ) 内は回答数

	もっと力を入れるべき	現状のままでよい	力をいれなくてよい	無回答	全体
R1	<b>22.4%</b> (140)	<b>51.7%</b> (323)	<b>2.9%</b> (18)	<b>23.0%</b> (144)	100.0% (625)
H30(参考)	23.6% (143)	52.1% (315)	3.1% (19)	21.2% (128)	100.0% (605)

今後の進め方については、「現状のままでよい」が51.7%、「もっと力を入れるべき」が22.4%でした。

## 質問

### 36 駐輪対策の推進

…駐輪場の整備、放置防止対策の実施、店舗等利用者の歩道等への一時駐輪対策などに取り組みます。

#### ■令和元年度の主な事業

- ・鎌倉駅、大船駅周辺における放置自転車等への警告・移動等《5,437万円》
- ・鎌倉駅西口等の自転車等駐車場土地賃借料 《237万円》



放置自転車クリーン対策キャンペーン

#### ◆この施策にかかる経費( )は前年度データ

6,410万円 ※全体予算に占める割合  
(5,744万円) …0.06%(0.05%)

この施策にかかる経費を市民一人あたりに換算した額	372円 (334円)
鎌倉市の負担を市民一人あたりに換算した額	372円 (188円)
この施策に従事する職員数(職員給与費は経費に含む。)	1.6人 (1.6人)

### あなたの回答

(それぞれ一つの番号に○をつけてください)

仕事の効果	1	必要以上の効果	4を選んだ方 ↓ 「今後の進め方」の項目は「お金の使い方」に答えずに次の項目へ
	2	ちょうどよい	
	3	効果不十分	
	4	取組を知らない・分からない	
お金の使い方	1	使いすぎ	
	2	ちょうどよい	
	3	足りない	
今後の進め方	1	もっと力を入れるべき	
	2	現状のままで満足	
	3	力をいれなくてよい	

## 集計結果

#### (1) 仕事の効果 ( ) 内は回答数

	必要以上の効果	ちょうどよい	効果不十分	取組を知らない・わからない	無回答	全体
R1	5.1% (32)	51.7% (323)	25.3% (158)	14.1% (88)	3.8% (24)	100.0% (625)
H30(参考)	3.5% (21)	53.7% (325)	25.6% (155)	14.7% (89)	2.5% (15)	100.0% (605)

「仕事の効果」のうち、「ちょうどよい」の回答が51.7%と最も多く、続いて「効果不十分」が25.3%となっています。

#### (2) お金の使い方 ( ) 内は回答数

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない	無回答	全体
R1	10.1% (63)	56.3% (352)	13.4% (84)	20.2% (126)	100.0% (625)
H30(参考)	9.6% (58)	55.0% (333)	15.7% (95)	19.7% (119)	100.0% (605)

「お金の使い方」のうち、「ちょうどよい」の回答が56.3%と最も多く、続いて「足りない」が13.4%でした。

#### (3) 仕事の効果×お金の使い方

		取組を知らない・わからない 14.1%		
		お金の使い方		
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
仕事の効果	必要以上の効果	2.4%	2.4%	0.2%
	ちょうどよい	2.7%	47.4%	0.5%
	効果不十分	5.0%	6.6%	12.8%

令和元年度

		取組を知らない・わからない 14.7%		
		お金の使い方		
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
仕事の効果	必要以上の効果	2.0%	1.5%	0.0%
	ちょうどよい	3.0%	48.3%	0.8%
	効果不十分	4.6%	5.1%	14.9%

平成30年度

「仕事の効果」と「お金の使い方」の組み合わせでは、「仕事の効果」が「ちょうどよい」、かつ「お金の使い方」が「ちょうどよい」の一番バランスがとれている回答の割合が47.4%で、この組み合わせの回答の平均値(43.3%)より高い数値となっています。また「仕事の効果」が「効果不十分」かつ「お金の使い方」が「ちょうどよい」の割合が54の施策のうち、4番目に高い数値となっています。

#### (4) 今後の進め方 ( ) 内は回答数

	もっと力を入れるべき	現状のままでよい	力をいれなくてよい	無回答	全体
R1	23.4% (146)	51.0% (319)	5.9% (37)	19.7% (123)	100.0% (625)
H30(参考)	24.8% (150)	52.4% (317)	3.6% (22)	19.2% (116)	100.0% (605)

今後の進め方については、「現状のままでよい」が51.0%、「もっと力を入れるべき」が23.4%でした。

## 質問

### 37 公共交通機関の輸送力の向上と利用の促進

…公共交通機関の利便性向上による快適な交通環境の確保をめざし、公共交通機関利用への転換の促進、交通不便地域の解消、駅等のバリアフリー化の推進などに取り組みます。


**令和元年度の主な事業**

- 江ノ電沿線住民等が鎌倉駅構内に並ばずに入場できるようにするための社会実験及びアンケート実施

◆この施策にかかる経費( )は前年度データ

**389万円** ※全体予算に占める割合  
(5,405万円) …**0.004%** (0.05%)

この施策にかかる経費を市民一人あたりに換算した額	<b>23円</b> (314円)
鎌倉市の負担を市民一人あたりに換算した額	<b>23円</b> (169円)
この施策に従事する職員数(職員給与費は経費に含む。)	<b>0.5人</b> (0.5人)



ゴールデンウィークの江ノ電鎌倉駅混雑の様子

### あなたの回答

(それぞれ一つの番号に○をつけてください)

仕事の効果	1	必要以上の効果	4を選んだ方 ↓ 「今後の進め方」項目は「お金の使い方」項目は
	2	ちょうどよい	
	3	効果不十分	
	4	取組を知らない・分からない	
お金の使い方	1	使いすぎ	「今後の進め方」項目は
	2	ちょうどよい	
	3	足りない	
今後の進め方	1	もっと力を入れるべき	「今後の進め方」項目は
	2	現状のままで満足	
	3	力をいれなくてよい	

## 集計結果

(1) 仕事の効果 ( ) 内は回答数

	必要以上の効果	ちょうどよい	効果不十分	取組を知らない・わからない	無回答	全体
<b>R1</b>	<b>2.2%</b> (14)	<b>35.0%</b> (219)	<b>33.6%</b> (210)	<b>25.1%</b> (157)	<b>4.0%</b> (25)	100.0% (625)
H30(参考)	3.5% (21)	41.2% (249)	35.4% (214)	17.7% (107)	2.3% (14)	100.0% (605)

「仕事の効果」のうち、「ちょうどよい」の回答が35.0%と最も多く、続いて、「効果不十分」が33.6%となっています。また、「効果不十分」の割合は54の施策のうち、3番目に高い数値となっています。

(2) お金の使い方 ( ) 内は回答数

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない	無回答	全体
<b>R1</b>	<b>5.4%</b> (34)	<b>40.5%</b> (253)	<b>23.4%</b> (146)	<b>30.7%</b> (192)	100.0% (625)
H30(参考)	5.6% (34)	44.8% (271)	27.3% (165)	22.3% (135)	100.0% (605)

「お金の使い方」のうち、「ちょうどよい」の回答が40.5%と最も多く、続いて「足りない」が23.4%でした。また、「足りない」の割合は、54の施策のうち3番目に高い数値となっています。

(3) 仕事の効果×お金の使い方

取組を知らない・わからない 25.1%

		お金の使い方		
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
仕事の効果	必要以上の効果	0.8%	0.6%	0.6%
	ちょうどよい	1.1%	32.3%	1.1%
	効果不十分	3.5%	7.5%	21.6%

令和元年度

取組を知らない・わからない 17.7%

		お金の使い方		
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
仕事の効果	必要以上の効果	1.3%	1.7%	0.5%
	ちょうどよい	0.7%	37.5%	1.5%
	効果不十分	3.6%	5.6%	25.3%

平成30年度


「仕事の効果」と「お金の使い方」の組み合わせでは、「仕事の効果」が「ちょうどよい」、かつ「お金の使い方」が「ちょうどよい」の一番バランスがとれている回答の割合が32.3%で、この組み合わせの回答の平均値(43.3%)より低い数値となっています。また、「仕事の効果」が「効果不十分」、かつ「お金の使い方」が「ちょうどよい」の割合が54の施策のうち、2番目に高く、「仕事の効果」が「効果不十分」かつ「お金の使い方」が「足りない」の割合が54の施策のうち、3番目に高い数値になっています。

(4) 今後の進め方 ( ) 内は回答数

	もっと力を入れるべき	現状のままでよい	力をいれなくてよい	無回答	全体
<b>R1</b>	<b>32.5%</b> (203)	<b>31.5%</b> (197)	<b>5.6%</b> (35)	<b>30.4%</b> (190)	100.0% (625)
H30(参考)	40.8% (247)	34.2% (207)	2.8% (17)	22.1% (134)	100.0% (605)

今後の進め方については、「もっと力を入れるべき」が32.5%、「現状のままでよい」が31.5%でした。また、「もっと力を入れるべき」の割合は、54の施策のうち5番目に高い数値となっています。

## 質問

38 道路・橋りょうの整備・維持管理		あなたの回答 (それぞれ一つの番号に○をつけてください)							
<p>…道路の安全性・快適性を確保するため、都市計画道路・生活道路の整備、橋りょうの整備、トンネルの点検・管理、道路の管理・維持修繕などに取り組みます。</p>									
<p><b>令和元年度の主な事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大規模住宅地等の道路改良・維持修繕工事 &lt;4億5,169万円&gt; (大船一丁目、寺分、小袋谷、津西、七里ガ浜東等の道路舗装打換など)</li> <li>歩道段差等の改善、歩道改修等工事 &lt;4,191万円&gt;</li> <li>橋りょうの点検調査、設計及び修繕工事 &lt;1億8,189万円&gt;</li> </ul>		<p>4を選んだ方</p> <p>「今後の進め方」の項目は「お金の使い方」に次いで最も低い項目は「今後の進め方」</p>							
<p><b>参考</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市道(車道・歩道)の道路延長…約623.82km</li> <li>橋りょう(道路橋・歩道橋)の数…207橋</li> </ul>  <p>歩道の改修</p>		<p><b>この施策にかかる経費</b>( )は前年度データ</p> <p>14億7,821万円 ※全体予算に占める割合 (14億9,188万円) …1.36%(1.39%)</p> <table border="1"> <tr> <td>この施策にかかる経費を市民一人あたりに換算した額</td> <td>8,578円 (8,664円)</td> </tr> <tr> <td>鎌倉市の負担を市民一人あたりに換算した額</td> <td>6,620円 (6,659円)</td> </tr> <tr> <td>この施策に従事する職員数(職員給与費は経費に含む。)</td> <td>33.0人 (32.0人)</td> </tr> </table>		この施策にかかる経費を市民一人あたりに換算した額	8,578円 (8,664円)	鎌倉市の負担を市民一人あたりに換算した額	6,620円 (6,659円)	この施策に従事する職員数(職員給与費は経費に含む。)	33.0人 (32.0人)
この施策にかかる経費を市民一人あたりに換算した額	8,578円 (8,664円)								
鎌倉市の負担を市民一人あたりに換算した額	6,620円 (6,659円)								
この施策に従事する職員数(職員給与費は経費に含む。)	33.0人 (32.0人)								
<p><b>仕事の効果</b></p> <p>1 必要以上の効果</p> <p>2 ちょうどよい</p> <p>3 効果不十分</p> <p>4 取組を知らない・わからない</p>		<p><b>お金の使い方</b></p> <p>1 使いすぎ</p> <p>2 ちょうどよい</p> <p>3 足りない</p>							
<p><b>今後の進め方</b></p> <p>1 もっと力を入れるべき</p> <p>2 現状のままでよい</p> <p>3 力をいれなくてよい</p>									

## 集計結果

(1) 仕事の効果 ( )内は回答数

	必要以上の効果	ちょうどよい	効果不十分	取組を知らない・わからない	無回答	全体
R1	1.3% (8)	49.0% (306)	29.6% (185)	16.0% (100)	4.2% (26)	100.0% (625)
H30(参考)	2.6% (16)	46.0% (278)	33.2% (201)	15.9% (96)	2.3% (14)	100.0% (605)

「仕事の効果」のうち、「ちょうどよい」の回答が49.0%と最も多く、続いて「効果不十分」が29.6%となっています。また、「効果不十分」の割合は54の施策のうち、5番目に高い数値となっています。

(2) お金の使い方 ( )内は回答数

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない	無回答	全体
R1	6.9% (43)	49.4% (309)	21.9% (137)	21.8% (136)	100.0% (625)
H30(参考)	9.8% (59)	46.8% (283)	22.6% (137)	20.8% (126)	100.0% (605)

「お金の使い方」のうち、「ちょうどよい」の回答が49.4%と最も多く、続いて「足りない」が21.9%でした。また、「足りない」の割合は、54の施策のうち4番目に高い数値となっています。

(3) 仕事の効果×お金の使い方

		お金の使い方			取組を知らない・わからない
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない	16.0%
仕事の効果	必要以上の効果	1.1%	0.0%	0.0%	
	ちょうどよい	2.1%	44.2%	2.1%	
	効果不十分	3.7%	5.3%	19.8%	

令和元年度

		お金の使い方			取組を知らない・わからない
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない	15.9%
仕事の効果	必要以上の効果	1.3%	0.8%	0.3%	
	ちょうどよい	3.1%	39.8%	1.7%	
	効果不十分	5.3%	6.1%	20.7%	

平成30年度

「仕事の効果」と「お金の使い方」の組み合わせでは、「仕事の効果」が「ちょうどよい」、かつ「お金の使い方」が「ちょうどよい」の一番バランスがとれている回答の割合が44.2%で、この組み合わせの回答の平均値(43.3%)より高い数値となっています。また、「仕事の効果」が「効果不十分」かつ「お金の使い方」が「足りない」が54の施策のうち、4番目に高い数値になっています。

(4) 今後の進め方 ( )内は回答数

	もっと力を入れるべき	現状のままでよい	力をいれなくてよい	無回答	全体
R1	32.5% (203)	43.0% (269)	2.6% (16)	21.9% (137)	100.0% (625)
H30(参考)	38.8% (235)	38.7% (234)	2.1% (13)	20.3% (123)	100.0% (605)

今後の進め方については、「現状のままでよい」が43.0%、「もっと力を入れるべき」が32.5%でした。また、「もっと力を入れるべき」の割合は、54の施策のうち5番目に高い数値となっています。



## 質問

### 39 鎌倉らしい住まいづくり

…住みつけたいと思える住まいの環境づくりを進めるため、高齢者や障害者への住宅供給、空き家の利活用の検討、若年ファミリー層定住促進のための施策推進などに取り組みます。

#### 令和元年度の主な事業

- ・市営住宅の管理運営、修繕・改修 <1億5,067万円>
- ・市営住宅集約に向けた事業実施方針案の作成及び測量等調査 <817万円>
- ・高齢者等に対して民間賃貸住宅への入居支援 <42万円>
- ・空き家等の適切な管理に関する指導 <127万円>

#### 参考

- ・市営住宅…市内10カ所(630戸)

市営住宅  
諏訪ヶ谷ハイム



#### ◆この施策にかかる経費( )は前年度データ

**1億9,965万円** ※全体予算に占める割合  
(2億2,170万円) …**0.18%**(0.21%)

この施策にかかる経費を市民一人あたりに換算した額	<b>1,159円</b> (1,288円)
鎌倉市の負担を市民一人あたりに換算した額	<b>368円</b> (502円)
この施策に従事する職員数(職員給与費は経費に含む。)	<b>5.0人</b> (5.0人)

### あなたの回答

(それぞれ一つの番号に○をつけてください)

仕事の効果	1	必要以上の効果	4を選んだ方 ↓ 「今後の進め方」の項目は「お金の使い方」に回答せず
	2	ちょうどよい	
	3	効果不十分	
	4	取組を知らない・分からない	
お金の使い方	1	使いすぎ	「今後の進め方」の項目は「お金の使い方」に回答せず
	2	ちょうどよい	
	3	足りない	
今後の進め方	1	もっと力を入れるべき	「今後の進め方」の項目は「お金の使い方」に回答せず
	2	現状のままで満足	
	3	力をいれなくてよい	

## 集計結果

#### (1) 仕事の効果 ( )内は回答数

	必要以上の効果	ちょうどよい	効果不十分	取組を知らない・わからない	無回答	全体
R1	<b>3.0%</b> (19)	<b>39.8%</b> (249)	<b>25.8%</b> (161)	<b>27.2%</b> (170)	<b>4.2%</b> (26)	100.0% (625)
H30(参考)	3.6% (22)	43.5% (263)	26.8% (162)	23.6% (143)	2.5% (15)	100.0% (605)

「仕事の効果」のうち、「ちょうどよい」の回答が39.8%と最も多く、続いて「効果不十分」が25.8%となっています。

#### (2) お金の使い方 ( )内は回答数

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない	無回答	全体
R1	<b>8.6%</b> (54)	<b>40.6%</b> (254)	<b>17.9%</b> (112)	<b>32.8%</b> (205)	100.0% (625)
H30(参考)	9.9% (60)	43.0% (260)	18.7% (113)	28.4% (172)	100.0% (605)

「お金の使い方」のうち、「ちょうどよい」の回答が40.6%と最も多く、続いて「足りない」が17.9%でした。

#### (3) 仕事の効果×お金の使い方

取組を知らない・わからない 27.2%

		お金の使い方		
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
仕事の効果	必要以上の効果	2.4%	0.3%	0.3%
	ちょうどよい	1.8%	<b>36.3%</b>	1.3%
	効果不十分	4.5%	4.0%	16.3%

令和元年度

取組を知らない・わからない 23.6%

		お金の使い方		
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
仕事の効果	必要以上の効果	2.6%	1.0%	0.0%
	ちょうどよい	2.3%	<b>38.5%</b>	1.5%
	効果不十分	5.0%	3.5%	17.2%

平成30年度

「仕事の効果」と「お金の使い方」の組み合わせでは、「仕事の効果」が「ちょうどよい」、かつ「お金の使い方」が「ちょうどよい」の一番バランスがとれている回答の割合が36.3%で、この組み合わせの回答の平均値(43.3%)より低い数値になっております。

#### (4) 今後の進め方 ( )内は回答数

	もっと力を入れるべき	現状のままでよい	力をいれなくてよい	無回答	全体
R1	<b>23.4%</b> (146)	<b>37.9%</b> (237)	<b>6.4%</b> (40)	<b>32.3%</b> (202)	100.0% (625)
H30(参考)	26.6% (161)	36.9% (223)	8.3% (50)	28.3% (171)	100.0% (605)

今後の進め方については、「現状のままでよい」が37.9%、「もっと力を入れるべき」が23.4%でした。

## 質問

### 40 下水道の整備・管理

…市民の生活環境を向上させるため、下水道の整備、雨水貯留施設の整備、下水道施設の維持・管理・災害対策などに取り組みます。

#### 令和元年度の主な事業

- ・汚水排水施設(管渠・終末処理場)の築造・改築・耐震化 <<4億6,011万円>>  
(汚水管渠の築造・耐震化、山崎下水道終末処理場の改築)
- ・雨水排水施設(管渠等)の築造 <<1億6,700万円>>
- ・七里ガ浜浄化センター及び山崎浄化センターの維持管理 <<11億9,574万円>>
- ・下水道事業実施に伴う市債(借金)償還金 <<40億8,804万円>>

#### ◎参考

- ・下水道汚水管渠…約500km
- ・下水道雨水管渠…約250km
- ・下水道関連施設  
七里ガ浜浄化センター  
七里ガ浜中継ポンプ場外  
山崎浄化センター

#### ◆この施策にかかる経費( )は前年度データ

	<b>52億8,314万円</b> (50億8,292万円)	※全体予算に占める割合 … <b>4.87%</b> (4.73%)
この施策にかかる経費を市民一人あたりに換算した額	<b>30,659円</b> (29,519円)	
鎌倉市の負担を市民一人あたりに換算した額	<b>20,941円</b> (19,963円)	
この施策に従事する職員数(職員給与費は経費に含む。)	<b>47.5人</b> (47.0人)	

### あなたの回答

(それぞれ一つの番号に○をつけてください)

仕事の効果	1	必要以上の効果	4を選んだ方 ↓ 「お金の使い方の項目は」 「今後の進め方」 は
	2	ちょうどよい	
	3	効果不十分	
	4	取組を知らない・わからない	
お金の使い方	1	使いすぎ	「お金の使い方の項目は」 「今後の進め方」 は
	2	ちょうどよい	
	3	足りない	
今後の進め方	1	もっと力を入れるべき	「お金の使い方の項目は」 「今後の進め方」 は
	2	現状のままで満足	
	3	力をいれなくてよい	

## 集計結果

#### (1) 仕事の効果 ( ) 内は回答数

	必要以上の効果	ちょうどよい	効果不十分	取組を知らない・わからない	無回答	全体
R1	<b>1.3%</b> (8)	<b>61.4%</b> (384)	<b>15.0%</b> (94)	<b>18.4%</b> (115)	<b>3.8%</b> (24)	100.0% (625)
H30(参考)	3.6% (22)	61.3% (371)	13.1% (79)	19.0% (115)	3.0% (18)	100.0% (605)

「仕事の効果」のうち、「ちょうどよい」の回答が61.4%と最も多く、続いて「取組を知らない・わからない」が18.4%となっています。また、「ちょうどよい」の割合は54の施策のうち、2番目に高い数値となっています。

#### (2) お金の使い方 ( ) 内は回答数

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない	無回答	全体
R1	<b>8.5%</b> (53)	<b>57.9%</b> (362)	<b>9.6%</b> (60)	<b>24.0%</b> (150)	100.0% (625)
H30(参考)	9.8% (59)	58.2% (352)	7.9% (48)	24.1% (146)	100.0% (605)

「お金の使い方」のうち、「ちょうどよい」の回答が57.9%と最も多く、続いて「足りない」が9.6%でした。

#### (3) 仕事の効果×お金の使い方

		取組を知らない・わからない 18.4%			取組を知らない・わからない 19.0%		
		お金の使い方			お金の使い方		
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
仕事の効果	必要以上の効果	0.5%	0.6%	0.2%	1.5%	1.8%	0.2%
	ちょうどよい	4.6%	<b>55.0%</b>	0.5%	5.6%	<b>54.2%</b>	0.3%
	効果不十分	3.4%	2.2%	9.0%	2.6%	2.1%	7.4%

令和元年度

平成30年度

「仕事の効果」と「お金の使い方」の組み合わせでは、「仕事の効果」が「ちょうどよい」、かつ「お金の使い方」が「ちょうどよい」の一番バランスがとれている回答の割合が55.0%で、この組み合わせの回答の平均値(43.3%)より高い数値となっています。また、「仕事の効果」が「ちょうどよい」かつ「お金の使い方」が「ちょうどよい」が54の施策のうち、2番目に高い数値になっています。

#### (4) 今後の進め方 ( ) 内は回答数

	もっと力を入れるべき	現状のままでよい	力をいれなくてよい	無回答	全体
R1	<b>19.5%</b> (122)	<b>55.4%</b> (346)	<b>1.3%</b> (8)	<b>23.8%</b> (149)	100.0% (625)
H30(参考)	17.4% (105)	57.4% (347)	1.2% (7)	24.1% (146)	100.0% (605)

今後の進め方については、「現状のままでよい」が55.4%、「もっと力を入れるべき」が19.5%でした。また、「現状のままでよい」の割合は、54の施策のうち、3番目に高い数値となっています。

## 質問

41 水辺環境の整備・創出・管理		あなたの回答					
…良好な水辺環境の実現をめざし、河川の維持管理、河川・水路の整備、超過降雨への対応、河川等の親水環境の整備などに取り組みます。		(それぞれ一つの番号に○をつけてください)					
<b>■令和元年度の主な事業</b> ・準用河川の維持修繕・しゅんせつ等 ≪5,655万円≫ ・雨水調整池(25カ所)等の維持管理 ≪450万円≫		<b>仕事の効果</b> 1 必要以上の効果 2 ちょうどよい 3 効果不十分 4 取組を知らない・わからない	4を選んだ方 ↓ <b>「今後の進め方」</b> 回答せずに次の項目は「」				
<b>◎参考</b> ・準用河川… 神戸川・新川・小袋谷川・砂押川				<b>お金の使い方</b> 1 使いすぎ 2 ちょうどよい 3 足りない			
<b>◆この施策にかかる経費( )は前年度データ</b> <b>1億5,643万円</b> ※全体予算に占める割合 (1億7,103万円) … <b>0.14%</b> (0.16%)							
<table border="1"> <tr> <td>この施策にかかる経費を市民一人あたりに換算した額</td> <td><b>908円</b> (993円)</td> </tr> <tr> <td>鎌倉市の負担を市民一人あたりに換算した額</td> <td><b>896円</b> (977円)</td> </tr> <tr> <td>この施策に従事する職員数(職員給与費は経費を含む。)</td> <td><b>1.9人</b> (2.9人)</td> </tr> </table>					この施策にかかる経費を市民一人あたりに換算した額	<b>908円</b> (993円)	鎌倉市の負担を市民一人あたりに換算した額
この施策にかかる経費を市民一人あたりに換算した額	<b>908円</b> (993円)						
鎌倉市の負担を市民一人あたりに換算した額	<b>896円</b> (977円)						
この施策に従事する職員数(職員給与費は経費を含む。)	<b>1.9人</b> (2.9人)						
<b>◎今後の進め方</b> 1 もっと力を入れるべき 2 現状のままで満足 3 力をいれなくてよい							

## 集計結果

(1) 仕事の効果 ( ) 内は回答数

	必要以上の効果	ちょうどよい	効果不十分	取組を知らない・わからない	無回答	全体
R1	1.6% (10)	55.8% (349)	15.4% (96)	23.0% (144)	4.2% (26)	100.0% (625)
H30(参考)	1.7% (10)	52.7% (319)	15.4% (93)	27.6% (167)	2.6% (16)	100.0% (605)

「仕事の効果」のうち、「ちょうどよい」の回答が55.8%と最も多く、続いて「取組を知らない・わからない」が23.0%となっています。

(2) お金の使い方 ( ) 内は回答数

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない	無回答	全体
R1	2.2% (14)	56.0% (350)	13.0% (81)	28.8% (180)	100.0% (625)
H30(参考)	4.0% (24)	51.4% (311)	12.2% (74)	32.4% (196)	100.0% (605)

「お金の使い方」のうち、「ちょうどよい」の回答が56.0%と最も多く、続いて「足りない」が13.0%でした。

(3) 仕事の効果×お金の使い方

		取組を知らない・わからない 23.0%		
		お金の使い方		
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
仕事の効果	必要以上の効果	0.5%	0.5%	0.6%
	ちょうどよい	0.8%	<b>52.3%</b>	1.6%
	効果不十分	1.0%	3.2%	10.7%

令和元年度

		取組を知らない・わからない 27.6%		
		お金の使い方		
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
仕事の効果	必要以上の効果	0.7%	0.3%	0.5%
	ちょうどよい	1.7%	<b>48.8%</b>	0.8%
	効果不十分	1.7%	2.3%	10.9%

平成30年度

「仕事の効果」と「お金の使い方」の組み合わせでは、「仕事の効果」が「ちょうどよい」、かつ「お金の使い方」が「ちょうどよい」の一番バランスがとれている回答の割合が52.3%で、この組み合わせの回答の平均値(43.3%)より高い数値となっています。

(4) 今後の進め方 ( ) 内は回答数

	もっと力を入れるべき	現状のままでよい	力をいれなくてよい	無回答	全体
R1	21.3% (133)	48.3% (302)	1.1% (7)	29.3% (183)	100.0% (625)
H30(参考)	18.2% (110)	48.3% (292)	1.3% (8)	32.2% (195)	100.0% (605)

今後の進め方については、「現状のままでよい」が48.3%、「もっと力を入れるべき」が21.3%でした。

## 質問

### 42 下水道資源の有効利用

…下水道資源の有効利用を進めるため、下水汚泥等の有効利用の検討、未利用資源の利活用、下水道施設上部の活用などに取り組みます。

#### ■令和元年度の主な事業

- 下水処理場から発生する処理水や汚泥の再生資源としての有効利用  
場内用水及び武道館トイレ洗浄水に処理水を使用<<99.7%、1,747千m3>>  
汚泥焼却灰を建設用資材として再生資源化<<100%、273.78トン>>
- 処理場などの下水道施設上部の多目的利用の検討



山崎浄化センター

#### ◆この施策にかかる経費( )は前年度データ

**0万円** ※全体予算に占める割合  
(0万円) …**0.0%**(0.0%)

この施策にかかる経費を市民一人あたりに換算した額 鎌倉市の負担を市民一人あたりに換算した額	<b>0.0円</b> (0.0円)
この施策に従事する職員数 (職員給与費は経費に含む。)	<b>0.0人</b> (0.0人)

### あなたの回答

(それぞれ一つの番号に○をつけてください)

仕事の効果	1	必要以上の効果	4を選んだ方 ↓ 「今後の進め方」の項目は「お金の使い方の」に回答せず
	2	ちょうどよい	
	3	効果不十分	
	4	取組を知らない・分からない	
お金の使い方	1	使いすぎ	「今後の進め方」の項目は「お金の使い方の」に回答せず
	2	ちょうどよい	
	3	足りない	
今後の進め方	1	もっと力を入れるべき	「今後の進め方」の項目は「お金の使い方の」に回答せず
	2	現状のままで満足	
	3	力をいれなくてよい	

## 集計結果

#### (1) 仕事の効果 ( )内は回答数

	必要以上の効果	ちょうどよい	効果不十分	取組を知らない・わからない	無回答	全体
R1	<b>3.5%</b> (22)	<b>44.8%</b> (280)	<b>10.6%</b> (66)	<b>36.3%</b> (227)	<b>4.8%</b> (30)	100.0% (625)
H30(参考)	1.7%	32.6%	15.5%	45.6%	4.6%	100.0%

「仕事の効果」のうち、「ちょうどよい」の回答が44.8%と最も多く、続いて「取組を知らない・わからない」が36.3%となっています。また、「取組を知らない・わからない」の割合は54の施策のうち、4番目に高い数値となっています。

#### (2) お金の使い方 ( )内は回答数

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない	無回答	全体
R1	<b>1.0%</b> (6)	<b>45.9%</b> (287)	<b>10.2%</b> (64)	<b>42.9%</b> (268)	100.0% (625)
H30(参考)	1.5%	33.9%	12.4%	52.2%	100.0%

「お金の使い方」のうち、「ちょうどよい」の回答が45.9%と最も多く、続いて「足りない」が10.2%でした。

#### (3) 仕事の効果×お金の使い方

		お金の使い方			取組を知らない・わからない 36.3%
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない	
仕事の効果	必要以上の効果	0.0%	2.9%	0.5%	36.3%
	ちょうどよい	0.0%	<b>41.8%</b>	1.4%	
	効果不十分	1.0%	1.3%	8.3%	

令和元年度

		お金の使い方			取組を知らない・わからない 45.6%
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない	
仕事の効果	必要以上の効果	0.3%	1.3%	0.0%	45.6%
	ちょうどよい	0.2%	<b>30.1%</b>	1.5%	
	効果不十分	1.0%	2.5%	10.9%	

平成30年度

「取組を知らない・わからない」の割合が36.3%となっており、回答の約4割がこの施策について知らない、わからないという結果であることから、まずは、市民への周知がより必要な施策であると考えられます。

#### (4) 今後の進め方 ( )内は回答数

	もっと力を入れるべき	現状のままでよい	力をいれなくてよい	無回答	全体
R1	<b>15.8%</b> (99)	<b>41.0%</b> (256)	<b>0.8%</b> (5)	<b>42.4%</b> (265)	100.0% (625)
H30(参考)	16.7%	29.9%	1.5%	51.9%	100.0%

今後の進め方については、「現状のままでよい」が41.0%、「もっと力を入れるべき」が15.8%でした。

質問

43 農業・漁業の振興

…農業・漁業経営の安定のため、都市農業の振興、沿岸漁業の振興及び漁業経営の安定化、漁業施設の整備、地産地消の推進、鎌倉ブランド事業の推進などに取り組みます。

■令和元年度の主な事業

- ・農道の整備、「鎌倉やさい」など鎌倉ブランドの認知度向上や鎌倉産の新鮮な野菜の販売、農産物を展示する秋の収穫まつりなどへの支援等 ≪1,085万円≫
- ・大船地区市民農園の運営 ≪104万円≫
- ・栽培漁業の推進や漁業経営の安定化のための支援等 ≪300万円≫
- ・腰越漁港施設の維持修繕等 ≪759万円≫
- ・鎌倉地域漁業支援施設整備協議資料作成 ≪470万円≫



平成26年に完成した腰越漁港

◆この施策にかかる経費（ ）は前年度データ

1億927万円 ※全体予算に占める割合  
(2億1,189万円) …0.10% (0.20%)

この施策にかかる経費を市民一人あたりに換算した額	634円 (1,231円)
鎌倉市の負担を市民一人あたりに換算した額	547円 (864円)
この施策に従事する職員数 (職員給与費は経費に含む。)	8.8人 (7.0人)

あなたの回答

(それぞれ一つの番号に○をつけてください)

仕事の効果	1	必要以上の効果	4を選んだ方 ↓ 「お金の進め方」の項目は「今後の進め方」に回答せず
	2	ちょうどよい	
	3	効果不十分	
	4	取組を知らない・わからない	
お金の使い方	1	使いすぎ	「お金の進め方」の項目は「今後の進め方」に回答せず
	2	ちょうどよい	
	3	足りない	
今後の進め方	1	もっと力を入れるべき	「お金の進め方」の項目は「今後の進め方」に回答せず
	2	現状のままで満足	
	3	力をいれなくてよい	

集計結果

(1) 仕事の効果 ( ) 内は回答数

	必要以上の効果	ちょうどよい	効果不十分	取組を知らない・わからない	無回答	全体
R1	5.8% (36)	51.7% (323)	13.1% (82)	25.3% (158)	4.2% (26)	100.0% (625)
H30(参考)	7.1% (43)	48.4% (293)	15.4% (93)	26.3% (159)	2.8% (17)	100.0% (605)

「仕事の効果」のうち、「ちょうどよい」の回答が51.7%と最も多く、続いて「取組を知らない・わからない」が25.3%となっています。また、「必要以上の効果」の割合は54の施策のうち、4番目に高い数値となっています。

(2) お金の使い方 ( ) 内は回答数

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない	無回答	全体
R1	7.4% (46)	52.3% (327)	9.4% (59)	30.9% (193)	100.0% (625)
H30(参考)	9.8% (59)	49.9% (302)	9.6% (58)	30.7% (186)	100.0% (605)

「お金の使い方」のうち、「ちょうどよい」の回答が52.3%と最も多く、続いて「足りない」が9.4%でした。

(3) 仕事の効果×お金の使い方

		取組を知らない・わからない 25.3%			取組を知らない・わからない 26.3%		
		お金の使い方			お金の使い方		
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
仕事の効果	必要以上の効果	2.2%	2.4%	1.0%	4.1%	2.6%	0.3%
	ちょうどよい	2.4%	46.9%	1.3%	2.3%	43.6%	1.2%
	効果不十分	2.7%	3.0%	7.2%	3.3%	3.6%	8.1%

「仕事の効果」と「お金の使い方」の組み合わせでは、「仕事の効果」が「ちょうどよい」、かつ「お金の使い方」が「ちょうどよい」の一番バランスがとれている回答の割合が46.9%で、この組み合わせの回答の平均値(43.3%)より高い数値となっています。

(4) 今後の進め方 ( ) 内は回答数

	もっと力を入れるべき	現状のままでよい	力をいれなくてよい	無回答	全体
R1	15.0% (94)	47.2% (295)	6.6% (41)	31.2% (195)	100.0% (625)
H30(参考)	14.7% (89)	48.3% (292)	6.4% (39)	30.6% (185)	100.0% (605)

今後の進め方については、「現状のままでよい」が47.2%、「もっと力を入れるべき」が15.0%でした。

## 質問

### 44 商工業振興の充実

…商工業の活性化に向け、商工業振興の推進体制の充実、産業環境の整備、中小企業支援、地域の特性を生かした商店街づくり、鎌倉彫の保護・育成を目的とした事業活動の支援などに取り組みます。

#### ■令和元年度の主な事業

- ・企業が市内に立地する際のオフィスリフォーム等に係る支援 <1,000万円>
- ・市内事業者が実施する地域環境及び地球環境との共存・共生を図るための施設整備に係る支援 <600万円>
- ・商工業元気アップ事業の実施 <211万円>
- ・商店街団体が実施する活性化を図るための事業に係る支援 <400万円>
- ・伝統鎌倉彫事業協同組合への支援など <461万円>

#### ◎参考

- ・商工業元気アップ事業…創業を予定している方や中小企業者による新商品、新技術、新サービスの開発や新事業への挑戦を支援するための制度

#### ◆この施策にかかる経費（ ）は前年度データ

	<b>6億1,266万円</b> (6億1,718万円)	※全体予算に占める割合 … <b>0.56%</b> (0.57%)
この施策にかかる経費を市民一人あたりに換算した額	<b>3,555円</b> (3,584円)	
鎌倉市の負担を市民一人あたりに換算した額	<b>642円</b> (669円)	
この施策に従事する職員数 (職員給与費は経費に含む。)	<b>5.8人</b> (3.8人)	

### あなたの回答

(それぞれ一つの番号に○をつけてください)

仕事の効果	1	必要以上の効果	4を選んだ方 ↓ 「今後の進め方」は「お金の使い方」に次ぐ項目は
	2	ちょうどよい	
	3	効果不十分	
	4	取組を知らない・分からない	
お金の使い方	1	使いすぎ	「今後の進め方」は「お金の使い方」に次ぐ項目は
	2	ちょうどよい	
	3	足りない	
今後の進め方	1	もっと力を入れるべき	「今後の進め方」は「お金の使い方」に次ぐ項目は
	2	現状のままでよい	
	3	力をいれなくてよい	

## 集計結果

#### (1) 仕事の効果 ( ) 内は回答数

	必要以上の効果	ちょうどよい	効果不十分	取組を知らない・わからない	無回答	全体
R1	<b>3.0%</b> (19)	<b>42.7%</b> (267)	<b>15.5%</b> (97)	<b>34.7%</b> (217)	<b>4.0%</b> (25)	100.0% (625)
H30(参考)	3.8% (23)	39.8% (241)	16.7% (101)	36.9% (223)	2.8% (17)	100.0% (605)

「仕事の効果」のうち、「ちょうどよい」の回答が42.7%と最も多く、続いて「取組を知らない・わからない」が34.7%となっています。

#### (2) お金の使い方 ( ) 内は回答数

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない	無回答	全体
R1	<b>13.6%</b> (85)	<b>38.6%</b> (241)	<b>7.8%</b> (49)	<b>40.0%</b> (250)	100.0% (625)
H30(参考)	14.9% (90)	36.0% (218)	7.6% (46)	41.5% (251)	100.0% (605)

「お金の使い方」のうち、「ちょうどよい」の回答が38.6%と最も多く、続いて「使いすぎ」が13.6%でした。

#### (3) 仕事の効果×お金の使い方

		取組を知らない・わからない <b>34.7%</b>		
		お金の使い方		
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
仕事の効果	必要以上の効果	2.6%	0.3%	0.2%
	ちょうどよい	4.8%	<b>36.3%</b>	0.6%
	効果不十分	6.2%	1.9%	7.0%

令和元年度

		取組を知らない・わからない <b>36.9%</b>		
		お金の使い方		
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
仕事の効果	必要以上の効果	3.5%	0.3%	0.0%
	ちょうどよい	4.6%	<b>33.4%</b>	0.5%
	効果不十分	6.8%	2.3%	7.1%

平成30年度

「取組を知らない・わからない」の割合が34.7%となっており、回答の約3割近くがこの施策について知らない、わからないという結果であることから、まずは、市民への周知がより必要な施策であると考えられます。

#### (4) 今後の進め方 ( ) 内は回答数

	もっと力を入れるべき	現状のままでよい	力をいれなくてよい	無回答	全体
R1	<b>11.2%</b> (70)	<b>38.4%</b> (240)	<b>9.9%</b> (62)	<b>40.5%</b> (253)	100.0% (625)
H30(参考)	11.7% (71)	37.0% (224)	9.6% (58)	41.7% (252)	100.0% (605)

今後の進め方については、「現状のままでよい」が38.4%、「もっと力を入れるべき」が11.2%でした。



## 質問

46 安全で快適な観光空間の整備		あなたの回答 (それぞれ一つの番号に○をつけてください)							
…伝統と快適性が調和した観光空間の実現をめざし、観光案内板など観光案内施設の整備と多言語化の推進、公衆トイレやハイキングコースの整備、災害時の観光客への対応、魅力ある海水浴場づくりなどに取り組みます。									
<b>■令和元年度の主な事業</b> ・JR鎌倉駅東口の観光案内所の運営 ≪2,669万円≫ ・観光案内板等の作成 ≪206万円≫ ・海水浴場開設・運営等 ≪1億243万円≫									
<b>◎参考</b> ・海水浴場開設期間… 7月1日(月)～8月31日(土)(62日間) ・開設時間… 午前9時～午後5時									
<b>◆この施策にかかる経費</b> ( ) は前年度データ <b>2億42万円</b> ※全体予算に占める割合 (2億7,783万円) … <b>0.18%</b> (0.26%)									
<table border="1"> <tr> <td>この施策にかかる経費を市民一人あたりに換算した額</td> <td>1,163円 (1,613円)</td> </tr> <tr> <td>鎌倉市の負担を市民一人あたりに換算した額</td> <td>1,088円 (1,445円)</td> </tr> <tr> <td>この施策に従事する職員数(職員給与費は経費に含む。)</td> <td>2.5人 (2.5人)</td> </tr> </table>		この施策にかかる経費を市民一人あたりに換算した額	1,163円 (1,613円)	鎌倉市の負担を市民一人あたりに換算した額	1,088円 (1,445円)	この施策に従事する職員数(職員給与費は経費に含む。)	2.5人 (2.5人)		
この施策にかかる経費を市民一人あたりに換算した額	1,163円 (1,613円)								
鎌倉市の負担を市民一人あたりに換算した額	1,088円 (1,445円)								
この施策に従事する職員数(職員給与費は経費に含む。)	2.5人 (2.5人)								
		<b>仕事の効果</b> 1 必要以上の効果 2 ちょうどよい 3 効果不十分 4 取組を知らない・分からない	4を選んだ方 ↓ 「お金の使い方」は「今後の進め方」へ						
		<b>お金の使い方</b> 1 使いすぎ 2 ちょうどよい 3 足りない							
		<b>今後の進め方</b> 1 もっと力を入れるべき 2 現状のままで満足 3 力をいれなくてよい							

## 集計結果

(1) 仕事の効果 ( ) 内は回答数

	必要以上の効果	ちょうどよい	効果不十分	取組を知らない・わからない	無回答	全体
R1	4.5% (28)	58.7% (367)	19.2% (120)	13.9% (87)	3.7% (23)	100.0% (625)
H30(参考)	3.8% (23)	52.1% (315)	29.3% (177)	12.4% (75)	2.5% (15)	100.0% (605)

「仕事の効果」のうち、「ちょうどよい」の回答が58.7%と最も多く、続いて「効果不十分」が19.2%となっています。また、「ちょうどよい」の割合は54の施策のうち、5番目に高い数値となっています。

(2) お金の使い方 ( ) 内は回答数

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない	無回答	全体
R1	11.8% (74)	56.8% (355)	12.0% (75)	19.4% (121)	100.0% (625)
H30(参考)	9.8% (59)	52.4% (317)	20.8% (126)	17.0% (103)	100.0% (605)

「お金の使い方」のうち、「ちょうどよい」の回答が56.8%と最も多く、続いて「足りない」が12.0%でした。

(3) 仕事の効果×お金の使い方

取組を知らない・わからない 13.9%

仕事の効果	お金の使い方		
	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	2.9%	1.4%	0.2%
ちょうどよい	4.3%	52.2%	0.8%
効果不十分	4.6%	3.2%	11.0%

令和元年度

取組を知らない・わからない 12.4%

仕事の効果	お金の使い方		
	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	2.3%	1.2%	0.3%
ちょうどよい	3.3%	46.3%	1.2%
効果不十分	4.1%	5.0%	19.3%

平成30年度

「仕事の効果」と「お金の使い方」の組み合わせでは、「仕事の効果」が「ちょうどよい」、かつ「お金の使い方」が「ちょうどよい」の一番バランスがとれている回答の割合が52.2%で、この組み合わせの回答の平均値(43.3%)より高い数値となっています。

(4) 今後の進め方 ( ) 内は回答数

	もっと力を入れるべき	現状のままでよい	力をいれなくてよい	無回答	全体
R1	22.1% (138)	51.2% (320)	7.2% (45)	19.5% (122)	100.0% (625)
H30(参考)	34.2% (207)	44.0% (266)	4.5% (27)	17.4% (105)	100.0% (605)

今後の進め方については、「現状のままでよい」が51.2%、「もっと力を入れるべき」が22.1%でした。



## 質問

### 47 地域が一体となった観光振興の推進

…地域が一体となった観光振興を推進するため、観光事業者や観光団体、生産者、市民団体など多様な観光主体間の連携の強化、観光資源を生かして収入を確保していくための仕組みづくりの検討などに取り組みます。

#### ■令和元年度の主な事業

- ・鎌倉ビーチフェスタ(5月)などイベントへの支援<1,230万円>
- ・鎌倉市観光協会に対する運営費等の補助 <5,178万円>
- ・関係団体・協議会(三浦半島観光連絡協議会等)との連携<157万円>

#### ◎参考

延入込観光客数…約1,987万人(平成30年)  
(主な内訳)

- ・鶴岡八幡宮:1,043万人
- ・鎌倉海岸:190万人
- ・銭洗弁財天:97.5万人
- ・天園ハイキングコース:23.8万人
- ・県立大船フラワーセンター:19.5万人
- ・鎌倉文学館:10万人

#### ◆この施策にかかる経費( )は前年度データ

**9,348万円** ※全体予算に占める割合  
(1億1,921万円) …**0.09%** (0.11%)

この施策にかかる経費を市民一人あたりに換算した額	542円 (692円)
鎌倉市の負担を市民一人あたりに換算した額	542円 (673円)
この施策に従事する職員数(職員給与費は経費に含む。)	2.2人 (2.2人)

### あなたの回答

(それぞれ一つの番号に○をつけてください)

仕事の効果	1	必要以上の効果	4を選んだ方 ↓ 「「お金の進め方」 「今後の進め方」 は 回答せずに次の項目は へ
	2	ちょうどよい	
	3	効果不十分	
	4	取組を知らない・分からない	
お金の使い方	1	使いすぎ	
	2	ちょうどよい	
	3	足りない	
今後の進め方	1	もっと力を入れるべき	
	2	現状のままで満足	
	3	力をいれなくてよい	

## 集計結果

#### (1) 仕事の効果 ( ) 内は回答数

	必要以上の効果	ちょうどよい	効果不十分	取組を知らない・わからない	無回答	全体
R1	5.8% (36)	54.4% (340)	15.2% (95)	20.5% (128)	4.2% (26)	100.0% (625)
H30(参考)	6.3% (38)	55.5% (336)	18.5% (112)	16.9% (102)	2.8% (17)	100.0% (605)

「仕事の効果」のうち、「ちょうどよい」の回答が54.4%と最も多く、続いて「取組を知らない・わからない」が20.5%となっています。また、「必要以上の効果」の割合は54の施策のうち、5番目に高い数値となっています。

#### (2) お金の使い方 ( ) 内は回答数

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない	無回答	全体
R1	13.9% (87)	51.4% (321)	8.2% (51)	26.6% (166)	100.0% (625)
H30(参考)	12.4% (75)	53.9% (326)	12.1% (73)	21.7% (131)	100.0% (605)

「お金の使い方」のうち、「ちょうどよい」の回答が51.4%と最も多く、続いて「使いすぎ」が13.9%でした。

#### (3) 仕事の効果×お金の使い方

		取組を知らない・わからない 20.5%		
		お金の使い方		
仕事の効果	必要以上の効果	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
	ちょうどよい	4.8%	0.8%	0.2%
	効果不十分	3.4%	47.5%	1.8%

令和元年度

		取組を知らない・わからない 16.9%		
		お金の使い方		
仕事の効果	必要以上の効果	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
	ちょうどよい	3.6%	2.0%	0.7%
	効果不十分	3.8%	49.1%	1.0%

平成30年度

「仕事の効果」と「お金の使い方」の組み合わせでは、「仕事の効果」が「ちょうどよい」、かつ「お金の使い方」が「ちょうどよい」の一番バランスがとれている回答の割合が47.5%で、この組み合わせの回答の平均値(43.3%)より高い数値となっています。また、「仕事の効果」が「必要以上の効果」かつ「お金の使い方」が「使いすぎ」が54の施策のうち、2番目に高い数値になっています。

#### (4) 今後の進め方 ( ) 内は回答数

	もっと力を入れるべき	現状のままでよい	力をいれなくてよい	無回答	全体
R1	14.2% (89)	47.4% (296)	11.8% (74)	26.6% (166)	100.0% (625)
H30(参考)	20.8% (126)	47.9% (290)	10.1% (61)	21.2% (128)	100.0% (605)

今後の進め方については、「現状のままでよい」が47.4%、「もっと力を入れるべき」が14.2%でした。また「力をいれなくてよい」の割合は、54の施策のうち、2番目に高い数値となっています。

## 質問

### 48 雇用支援の充実

…就職をめざす市民が効果的な就職活動を行えるよう、雇用支援の充実、求人情報や企業説明会といった就労情報の提供などに取り組みます。

#### ■令和元年度の主な事業

- 鎌倉の企業就職面接会の開催(年1回) ≪43万円≫
- 就職対策ミニ講座の開催(毎月) ≪103万円≫
- 湘南・横浜若者サポートステーションと連携した、就労困難若年者の職業的自立の支援 ≪50万円≫

◎参考

- 地域若者サポートステーション…働くことに悩みを抱えている若者に対して就労に向けた支援を行っている
- かながわ若者就職支援センター…若者の就職を支援するために神奈川県が設置・運営している

### あなたの回答

(それぞれ一つの番号に○をつけてください)

仕事の効果	1	必要以上の効果
	2	ちょうどよい
	3	効果不十分
	4	取組を知らない・分からない
お金の使い方	1	使いすぎ
	2	ちょうどよい
	3	足りない
今後の進め方	1	もっと力を入れるべき
	2	現状のままで満足
	3	力をいれなくてよい

4を選んだ方  
「お金の使い方」は「今後の進め方」の項目は

◆この施策にかかる経費( )は前年度データ

**1,255万円** ※全体予算に占める割合  
(1,325万円) …**0.01%** (0.01%)

この施策にかかる経費を市民一人あたりに換算した額	<b>73円</b> (77円)
鎌倉市の負担を市民一人あたりに換算した額	<b>72円</b> (76円)
この施策に従事する職員数(職員給与費は経費に含む。)	<b>0.8人</b> (0.8人)

## 集計結果

(1) 仕事の効果 ( ) 内は回答数

	必要以上の効果	ちょうどよい	効果不十分	取組を知らない・わからない	無回答	全体
R1	<b>1.1%</b> (7)	<b>38.1%</b> (238)	<b>22.9%</b> (143)	<b>33.9%</b> (212)	<b>4.0%</b> (25)	100.0% (625)
H30(参考)	0.7% (4)	38.3% (232)	22.5% (136)	35.5% (215)	3.0% (18)	100.0% (605)

「仕事の効果」のうち、「ちょうどよい」の回答が38.1%と最も多く、続いて「取組を知らない・わからない」が33.9%となっています。

(2) お金の使い方 ( ) 内は回答数

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない	無回答	全体
R1	<b>3.0%</b> (19)	<b>40.0%</b> (250)	<b>17.3%</b> (108)	<b>39.7%</b> (248)	100.0% (625)
H30(参考)	4.1% (25)	37.5% (227)	17.7% (107)	40.7% (246)	100.0% (605)

「お金の使い方」のうち、「ちょうどよい」の回答が40.0%と最も多く、続いて「足りない」が17.3%でした。

(3) 仕事の効果×お金の使い方

取組を知らない・わからない **33.9%**

	仕事の効果	お金の使い方		
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果		0.6%	0.3%	0.2%
ちょうどよい		0.6%	<b>35.0%</b>	1.1%
効果不十分		1.8%	4.6%	16.0%

令和元年度

取組を知らない・わからない **35.5%**

	仕事の効果	お金の使い方		
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果		0.5%	0.2%	0.0%
ちょうどよい		1.2%	<b>34.5%</b>	1.3%
効果不十分		2.5%	2.8%	16.4%

平成30年度

「取組を知らない・わからない」の割合が33.9%となっており、回答の約4割がこの施策について知らない、わからないという結果であることから、まずは、市民への周知がより必要な施策であると考えられます。

(4) 今後の進め方 ( ) 内は回答数

	もっと力を入れるべき	現状のままでよい	力をいれなくてよい	無回答	全体
R1	<b>23.0%</b> (144)	<b>33.6%</b> (210)	<b>4.0%</b> (25)	<b>39.4%</b> (246)	100.0% (625)
H30(参考)	22.1% (134)	33.1% (200)	4.5% (27)	40.3% (244)	100.0% (605)

今後の進め方については、「現状のままでよい」が33.6%、「もっと力を入れるべき」が23.0%でした。

## 質問

49 働く環境の充実		あなたの回答							
…勤労者が心身共に健康で働き続けられるよう、勤労者福利厚生事業の支援、雇用・労働環境の向上などに取り組みます。		(それぞれ一つの番号に○をつけてください)							
<p>■令和元年度の主な事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・湘南勤労者福祉サービスセンターの運営支援 ≪2,118万円≫</li> <li>・勤労者のための融資預託、その他支援 ≪3,083万円≫</li> </ul>		<p>4を選んだ方</p> <p>「今後の進め方」は「お金の使い方」へ</p>	1	必要以上の効果					
<p>◎参考</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・湘南勤労者福祉サービスセンター…鎌倉市、藤沢市、茅ヶ崎市にある中小企業・個人事業所の勤労者の福祉向上などを目的に公益財団法人湘南産業振興財団が運営している。</li> </ul>			2	ちょうどよい					
			3	効果不十分					
			4	取組を知らない・分からない					
<p>◆この施策にかかる経費（ ）は前年度データ</p> <p><b>5,671万円</b> ※全体予算に占める割合 ( 6,328万円) …<b>0.05%</b> (0.06%)</p>		1	使いすぎ						
<table border="1"> <tr> <td>この施策にかかる経費を市民一人あたりに換算した額</td> <td><b>329円</b> (368円)</td> </tr> <tr> <td>鎌倉市の負担を市民一人あたりに換算した額</td> <td><b>155円</b> (164円)</td> </tr> <tr> <td>この施策に従事する職員数(職員給与費は経費に含む。)</td> <td><b>0.6人</b> (0.6人)</td> </tr> </table>		この施策にかかる経費を市民一人あたりに換算した額	<b>329円</b> (368円)	鎌倉市の負担を市民一人あたりに換算した額	<b>155円</b> (164円)	この施策に従事する職員数(職員給与費は経費に含む。)	<b>0.6人</b> (0.6人)	2	ちょうどよい
この施策にかかる経費を市民一人あたりに換算した額	<b>329円</b> (368円)								
鎌倉市の負担を市民一人あたりに換算した額	<b>155円</b> (164円)								
この施策に従事する職員数(職員給与費は経費に含む。)	<b>0.6人</b> (0.6人)								
		3	足りない						
		1	もっと力を入れるべき						
		2	現状のままで満足						
		3	力をいれなくてよい						

## 集計結果

(1) 仕事の効果 ( ) 内は回答数

	必要以上の効果	ちょうどよい	効果不十分	取組を知らない・わからない	無回答	全体
R1	<b>1.4%</b> (9)	<b>37.9%</b> (237)	<b>14.9%</b> (93)	<b>41.4%</b> (259)	<b>4.3%</b> (27)	100.0% (625)
H30(参考)	1.5% (9)	36.7% (222)	15.5% (94)	43.1% (261)	3.1% (19)	100.0% (605)

「仕事の効果」のうち、「取組を知らない・わからない」の回答が最も多く、続いて「ちょうどよい」が37.9%となっています。また「取組を知らない・わからない」の割合は、54の施策のうち2番目に高い数値となっています。

(2) お金の使い方 ( ) 内は回答数

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない	無回答	全体
R1	<b>5.4%</b> (34)	<b>38.9%</b> (243)	<b>8.6%</b> (54)	<b>47.0%</b> (294)	100.0% (625)
H30(参考)	5.6% (34)	36.2% (219)	9.9% (60)	48.3% (292)	100.0% (605)

「お金の使い方」のうち、「ちょうどよい」の回答が38.9%で最も多く、続いて「足りない」が8.6%でした。

(3) 仕事の効果×お金の使い方

		お金の使い方			取組を知らない・わからない 41.4%
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない	
仕事の効果	必要以上の効果	1.3%	0.2%	0.0%	41.4%
	ちょうどよい	1.4%	<b>34.9%</b>	0.5%	
	効果不十分	2.7%	3.8%	8.2%	

令和元年度

		お金の使い方			取組を知らない・わからない 43.1%
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない	
仕事の効果	必要以上の効果	1.0%	0.2%	0.2%	43.1%
	ちょうどよい	1.3%	<b>33.7%</b>	0.3%	
	効果不十分	3.3%	2.3%	9.4%	

平成30年度

「取組を知らない・わからない」の割合が41.4%となっており、回答の約4割がこの施策について知らない、わからないという結果であることから、まずは、市民への周知がより必要な施策であると考えられます。

(4) 今後の進め方 ( ) 内は回答数

	もっと力を入れるべき	現状のままでよい	力をいれなくてよい	無回答	全体
R1	<b>11.8%</b> (74)	<b>34.7%</b> (217)	<b>6.4%</b> (40)	<b>47.0%</b> (294)	100.0% (625)
H30(参考)	14.2% (86)	33.2% (201)	4.3% (26)	48.3% (292)	100.0% (605)

今後の進め方については、「現状のままでよい」が34.7%、「もっと力を入れるべき」が11.8%でした。

## 質問

### 50 技能振興の充実

…技能振興の充実をめざし、技能職団体の育成、啓発活動、技能者の経済的社会的地位及び技術水準の向上などに取り組みます。

#### ■令和元年度の主な事業

- ・市民生活の向上に貢献してきた技能功労者に対する表彰事業 《23万円》
- ・技能職団体連絡協議会への活動支援 《27万円》

#### ◎参考

- ・技能職団体連絡協議会…33職種39団体 (1,239人) が加盟  
平成31年3月31日現在



特産の彫刻漆器「鎌倉彫」

#### ◆この施策にかかる経費（ ）は前年度データ

**677万円** ※全体予算に占める割合  
(697万円) …**0.01%**(0.01%)

この施策にかかる経費を市民一人あたりに換算した額	<b>39円</b> (40円)
鎌倉市の負担を市民一人あたりに換算した額	
この施策に従事する職員数 (職員給与費は経費に含む。)	<b>0.8人</b> (0.8人)

### あなたの回答

(それぞれ一つの番号に○をつけてください)

仕事の効果	1	必要以上の効果	4を選んだ方 ↓ 「お金の使い方の項目は」 「今後の進め方」 は ↑
	2	ちょうどよい	
	3	効果不十分	
	4	取組を知らない・分からない	
お金の使い方	1	使いすぎ	「お金の使い方」
	2	ちょうどよい	
	3	足りない	
今後の進め方	1	もっと力を入れるべき	「今後の進め方」
	2	現状のままで満足	
	3	力をいれなくてよい	

## 集計結果

#### (1) 仕事の効果 ( ) 内は回答数

	必要以上の効果	ちょうどよい	効果不十分	取組を知らない・わからない	無回答	全体
R1	<b>1.6%</b> (10)	<b>46.6%</b> (291)	<b>14.1%</b> (88)	<b>33.3%</b> (208)	<b>4.5%</b> (28)	100.0% (625)
H30(参考)	1.3% (8)	45.5% (275)	15.5% (94)	35.2% (213)	2.5% (15)	100.0% (605)

「仕事の効果」のうち、「ちょうどよい」の回答が46.6%と最も多く、続いて「取組を知らない・わからない」が33.3%となっています。

#### (2) お金の使い方 ( ) 内は回答数

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない	無回答	全体
R1	<b>3.4%</b> (21)	<b>46.4%</b> (290)	<b>10.9%</b> (68)	<b>39.4%</b> (246)	100.0% (625)
H30(参考)	4.8% (29)	43.5% (263)	12.2% (74)	39.5% (239)	100.0% (605)

「お金の使い方」のうち、「ちょうどよい」の回答が46.4%と最も多く、続いて「足りない」が10.9%でした。

#### (3) 仕事の効果×お金の使い方

取組を知らない・わからない **33.3%**

仕事の効果	必要以上の効果 ちょうどよい	お金の使い方		
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
仕事の効果	必要以上の効果 ちょうどよい	0.8%	0.5%	0.2%
	ちょうどよい	0.8%	<b>43.2%</b>	1.4%
	効果不十分	1.8%	2.7%	9.3%

令和元年度

取組を知らない・わからない **35.2%**

仕事の効果	必要以上の効果 ちょうどよい	お金の使い方		
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
仕事の効果	必要以上の効果 ちょうどよい	0.8%	0.3%	0.2%
	ちょうどよい	1.2%	<b>41.3%</b>	1.5%
	効果不十分	2.8%	1.8%	10.6%

平成30年度

「取組を知らない・わからない」の割合が33.3%となっており、回答の約3割がこの施策について知らない、わからないという結果であることから、まずは、市民への周知がより必要な施策であると考えられます。

#### (4) 今後の進め方 ( ) 内は回答数

	もっと力を入れるべき	現状のままでよい	力をいれなくてよい	無回答	全体
R1	<b>14.6%</b> (91)	<b>41.0%</b> (256)	<b>4.6%</b> (29)	<b>39.8%</b> (249)	100.0% (625)
H30(参考)	15.2% (92)	40.2% (243)	5.1% (31)	39.5% (239)	100.0% (605)

今後の進め方については、「現状のままでよい」が41.0%、「もっと力を入れるべき」が14.6%でした。

➤ 質問

51 消費者施策の推進		あなたの回答 (それぞれ一つの番号に○をつけてください)							
<p>…安心した消費生活がおくれるまちをめざし、消費者被害の発生防止、情報提供と教育機会の提供、消費生活センターの運営、消費者被害の回復支援などに取り組みます。</p>									
<p><b>■令和元年度の主な事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>消費生活センターの運営 ≪1,207万円≫</li> <li>消費者被害の未然防止に係る啓発事業 ≪47万円≫</li> </ul>									
<p>◎参考</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>消費生活相談件数…1,970件(平成30年度)</li> <li>消費生活センター…商品やサービスの契約トラブルなど、消費生活に関する相談に応じている。</li> </ul>		<p>◆この施策にかかる経費( )は前年度データ</p> <p><b>3,623万円</b> ※全体予算に占める割合 (3,666万円) …<b>0.03%</b> (0.03%)</p> <table border="1"> <tr> <td>この施策にかかる経費を市民一人あたりに換算した額</td> <td>210円 (213円)</td> </tr> <tr> <td>鎌倉市の負担を市民一人あたりに換算した額</td> <td>203円 (198円)</td> </tr> <tr> <td>この施策に従事する職員数(職員給与費は経費に含む。)</td> <td>3.0人 (3.0人)</td> </tr> </table>		この施策にかかる経費を市民一人あたりに換算した額	210円 (213円)	鎌倉市の負担を市民一人あたりに換算した額	203円 (198円)	この施策に従事する職員数(職員給与費は経費に含む。)	3.0人 (3.0人)
この施策にかかる経費を市民一人あたりに換算した額	210円 (213円)								
鎌倉市の負担を市民一人あたりに換算した額	203円 (198円)								
この施策に従事する職員数(職員給与費は経費に含む。)	3.0人 (3.0人)								
		<p>仕事の効果</p> <p>1 必要以上の効果</p> <p>2 ちょうどよい</p> <p>3 効果不十分</p> <p>4 取組を知らない・分からない</p>	<p>4を選んだ方</p> <p>「お金の使い方」は「今後の進め方」の項目は</p>						
		<p>お金の使い方</p> <p>1 使いすぎ</p> <p>2 ちょうどよい</p> <p>3 足りない</p>							
		<p>今後の進め方</p> <p>1 もっと力を入れるべき</p> <p>2 現状のままでよい</p> <p>3 力をいれなくてよい</p>							

➤ 集計結果

(1) 仕事の効果 ( ) 内は回答数

	必要以上の効果	ちょうどよい	効果不十分	取組を知らない・わからない	無回答	全体
R1	2.1% (13)	54.1% (338)	11.7% (73)	28.0% (175)	4.2% (26)	100.0% (625)
H30(参考)	1.5% (9)	51.9% (314)	14.2% (86)	29.6% (179)	2.8% (17)	100.0% (605)

「仕事の効果」のうち、「ちょうどよい」の回答が54.1%と最も多く、続いて「取組を知らない・わからない」が28.0%となっています。

(2) お金の使い方 ( ) 内は回答数

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない	無回答	全体
R1	5.9% (37)	54.4% (340)	5.9% (37)	33.8% (211)	100.0% (625)
H30(参考)	5.0% (30)	52.9% (320)	7.3% (44)	34.9% (211)	100.0% (605)

「お金の使い方」のうち、「ちょうどよい」の回答が54.4%と最も多く、続いて「使いすぎ」、「足りない」がともに5.9%でした。

(3) 仕事の効果×お金の使い方

取組を知らない・わからない 28.0%

		お金の使い方		
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
仕事の効果	必要以上の効果	1.8%	0.3%	0.0%
	ちょうどよい	1.8%	50.6%	0.6%
	効果不十分	2.4%	3.5%	5.3%

令和元年度

取組を知らない・わからない 29.6%

		お金の使い方		
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
仕事の効果	必要以上の効果	0.7%	0.8%	0.0%
	ちょうどよい	1.7%	47.6%	1.2%
	効果不十分	2.6%	4.5%	6.1%

平成30年度

「仕事の効果」と「お金の使い方」の組み合わせでは、「仕事の効果」が「ちょうどよい」、かつ「お金の使い方」が「ちょうどよい」の一番バランスがとれている回答の割合が50.6%で、この組み合わせの回答の平均値(43.3%)より高い数値となっています。

(4) 今後の進め方 ( ) 内は回答数

	もっと力を入れるべき	現状のままでよい	力をいれなくてよい	無回答	全体
R1	11.2% (70)	50.4% (315)	4.8% (30)	33.6% (210)	100.0% (625)
H30(参考)	12.7% (77)	49.6% (300)	3.3% (20)	34.4% (208)	100.0% (605)

今後の進め方については、「現状のままでよい」が50.4%、「もっと力を入れるべき」が11.2%でした。

## 質問

### O-1 市民自治

…「市民のための地方自治」を推進するため、市民自治の確立に向けた意識の醸成、地域コミュニティの活性化、市民参画のための広報・広聴、協働によるまちづくり、地域福祉の推進などに取り組みます。

#### ■令和元年度の主な事業

- 自治会・町内会が所有する公会堂等の建築改良工事等に対する補助（城廻自治会館・南鎌倉自治会館の建築改良工事など）≪1,500万円≫
- 鎌倉・大船各市民活動センターの管理運営 ≪1,354万円≫
- 「大船地域づくり会議」の運営等支援 ≪3万円≫

#### ◆この施策にかかる経費( )は前年度データ

**7億4,112万円** ※全体予算に占める割合  
(7億5,944万円) …**0.68%**(0.71%)

この施策にかかる経費を市民一人あたりに換算した額	<b>4,301円</b> (4,410円)
鎌倉市の負担を市民一人あたりに換算した額	<b>4,254円</b> (4,368円)
この施策に従事する職員数(職員給与費は経費に含む。)	<b>35.4人</b> (37.2人)

#### ◎参考

大船地域づくり会議…大船地域の住民や団体が主体となり、行政と協働で地域課題を考え、解決に取組む組織(平成24年10月設立)

### あなたの回答

(それぞれ一つの番号に○をつけてください)

仕事の効果	1	必要以上の効果	4を選んだ方 ↓ 「「 <b>お金の使い方</b> 」に「 <b>今後の進め方</b> 」は
	2	ちょうどよい	
	3	効果不十分	
	4	取組を知らない・分からない	
お金の使い方	1	使いすぎ	「 <b>今後の進め方</b> 」は
	2	ちょうどよい	
	3	足りない	
今後の進め方	1	もっと力を入れるべき	の項目は
	2	現状のままで満足	
	3	力をいれなくてよい	

## 集計結果

### (1) 仕事の効果 ( ) 内は回答数

	必要以上の効果	ちょうどよい	効果不十分	取組を知らない・わからない	無回答	全体
<b>R1</b>	<b>4.2%</b> (26)	<b>52.0%</b> (325)	<b>14.4%</b> (90)	<b>24.6%</b> (154)	<b>4.8%</b> (30)	100.0% (625)
H30(参考)	4.1%	54.2%	13.2%	24.1%	4.3%	100.0% (605)

「仕事の効果」のうち、「ちょうどよい」の回答が52.0%と最も多く、続いて「取組を知らない・わからない」が24.6%となっています。

### (2) お金の使い方 ( ) 内は回答数

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない	無回答	全体
<b>R1</b>	<b>18.2%</b> (114)	<b>45.4%</b> (284)	<b>5.0%</b> (31)	<b>31.4%</b> (196)	100.0% (625)
H30(参考)	17.4%	47.9%	4.3%	30.4%	100.0% (605)

「お金の使い方」のうち、「ちょうどよい」の回答が45.4%で最も多く、続いて「使いすぎ」が18.2%でした。また、「使いすぎ」の割合は、54の施策のうち5番目に高い数値となっています。

### (3) 仕事の効果×お金の使い方

取組を知らない・わからない 24.6%

		お金の使い方		
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
仕事の効果	必要以上の効果	3.5%	0.3%	0.3%
	ちょうどよい	6.9%	43.2%	0.5%
	効果不十分	7.8%	1.9%	4.2%

令和元年度

取組を知らない・わからない 24.1%

		お金の使い方		
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
仕事の効果	必要以上の効果	3.8%	0.3%	0.0%
	ちょうどよい	6.9%	46.1%	0.2%
	効果不十分	6.6%	1.5%	4.1%

平成30年度

「仕事の効果」と「お金の使い方」の組み合わせでは、「仕事の効果」が「ちょうどよい」、かつ「お金の使い方」が「ちょうどよい」の一番バランスがとれている回答の割合が43.2%で、この組み合わせの回答の平均値(43.3%)とほぼ同じです。

### (4) 今後の進め方 ( ) 内は回答数

	もっと力を入れるべき	現状のままでよい	力を入れなくてよい	無回答	全体
<b>R1</b>	<b>9.4%</b> (59)	<b>47.5%</b> (297)	<b>11.7%</b> (73)	<b>31.4%</b> (196)	100.0% (625)
H30(参考)	9.6%	51.7%	8.1%	30.6%	100.0% (605)

今後の進め方については、「現状のままでよい」が47.5%、「力を入れなくてよい」が11.7%でした。また「力を入れなくてよい」の割合は、54の施策のうち、3番目に高い数値となっています。

## 質問

### 0-2 行財政運営

…事業実施に伴う市債(借入金)の返還の他、本庁舎・各支所の維持・管理運営や税務、戸籍の行政サービスの推進など、市政運営に必要となる事業です。

#### 令和元年度の主な事業

- 過去に発行した各事業の実施に伴う市債(借入金)の返済金 <<39億5,238万円>>
- ふるさと寄附金推進事業の実施 <<2億3,766万円 ※寄附見込3億円>>
- 市役所本庁舎及び支所の管理 <<4億1,104万円>>
- RPAの導入やくらしの手続きガイドなどのICTを活用した取組<<1,396万円>>
- その他、税務、戸籍、選挙、総務事務などの行政サービス



#### くらしの手続きガイド

…転入・転居・出生など、8つのライフイベントについて、簡単な質問に答えるだけで手続き内容や必要な書類等が分かります。



#### ◆この施策にかかる経費( )は前年度データ

	169億3,131万円 (169億6,132万円)	※全体予算に占める割合 …15.60%(15.79%)
この施策にかかる経費を市民一人あたりに換算した額	98,254円 (98,501円)	
鎌倉市の負担を市民一人あたりに換算した額	95,359円 (97,797円)	
この施策に従事する職員数(職員給与費は経費に含む。)	274.6人 (275.3人)	

### あなたの回答

(それぞれ一つの番号に○をつけてください)

仕事の効果	1	必要以上の効果	4を選んだ方 ↓ 「今後の進め方」の項目は「お金の使い方」に回答せず
	2	ちょうどよい	
	3	効果不十分	
	4	取組を知らない・分からない	
お金の使い方	1	使いすぎ	「今後の進め方」の項目は「お金の使い方」に回答せず
	2	ちょうどよい	
	3	足りない	
今後の進め方	1	もっと力を入れるべき	「今後の進め方」の項目は「今後の進め方」に回答せず
	2	現状のままで満足	
	3	力をいれなくてよい	

## 集計結果

#### (1) 仕事の効果 ( )内は回答数

	必要以上の効果	ちょうどよい	効果不十分	取組を知らない・わからない	無回答	全体
R1	5.1% (32)	47.8% (299)	16.8% (105)	25.3% (158)	5.0% (31)	100.0% (625)
H30(参考)	6.1% (37)	44.8% (271)	20.2% (122)	24.8% (150)	4.1% (25)	100.0% (605)

「仕事の効果」のうち、「ちょうどよい」の回答が47.8%と最も多く、続いて「取組を知らない・わからない」が25.3%となっています。

#### (2) お金の使い方 ( )内は回答数

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない	無回答	全体
R1	24.6% (154)	41.0% (256)	3.2% (20)	31.2% (195)	100.0% (625)
H30(参考)	30.6% (185)	36.4% (220)	2.1% (13)	30.9% (187)	100.0% (605)

「お金の使い方」のうち、「ちょうどよい」の回答が41.0%と最も多く、続いて「使いすぎ」が24.6%でした。また「使いすぎ」の割合は、54の施策のうち2番目に高い数値となっています。

#### (3) 仕事の効果×お金の使い方

		お金の使い方			25.3%
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない	
仕事の効果	必要以上の効果	4.2%	1.0%	0.0%	25.3%
	ちょうどよい	8.5%	38.4%	0.2%	
	効果不十分	12.0%	1.6%	3.0%	

令和元年度

		お金の使い方			24.8%
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない	
仕事の効果	必要以上の効果	5.3%	0.7%	0.0%	24.8%
	ちょうどよい	8.8%	34.4%	0.3%	
	効果不十分	16.5%	1.3%	1.8%	

平成30年度

「仕事の効果」と「お金の使い方」の組み合わせでは、「仕事の効果」が「ちょうどよい」、かつ「お金の使い方」が「ちょうどよい」の一番バランスがとれている回答の割合が38.4%で、この組み合わせの回答の平均値(43.3%)より低い数値となっています。また「仕事の効果」が「必要以上」かつ「お金の使い方」が「使いすぎ」は54の施策のうち3番目、「仕事の効果」が「ちょうどよい」かつ「お金の使い方」が「使いすぎ」は54の施策のうち3番目、また「仕事の効果」が「効果不十分」かつ「お金の使い方」が「使いすぎ」の割合は2番目に高い数値となっています。

#### (4) 今後の進め方 ( )内は回答数

	もっと力を入れるべき	現状のままでよい	力をいれなくてよい	無回答	全体
R1	11.0% (69)	46.2% (289)	11.4% (71)	31.4% (196)	100.0% (625)
H30(参考)	13.2% (80)	44.3% (268)	11.6% (70)	30.9% (187)	100.0% (605)

今後の進め方については、「現状のままでよい」が46.2%、「力をいれなくてよい」が11.4%でした。また「力をいれなくてよい」の割合は、54の施策のうち4番目に高い数値となっています。


## 質問

### O-3 歴史的遺産と共生するまちづくり

…歴史的遺産の保全にとどまらず、市民が暮らしやすく、誇りに思えるまちをめざすため、鎌倉の魅力や価値を共有するとともに、「住み続けたい、住んでみたい、訪れたい」まちづくりに取り組みます。

#### ■令和元年度の主な事業

- 神奈川県、横浜市、鎌倉市、逗子市で組織する「4縣市世界遺産登録推進委員会」の運営負担金 <<430万円>>
- 鎌倉市歴史的風致維持向上計画に搭載した構成事業の進行管理 <<38万円>>
- 平成28年4月に認定された日本遺産のストーリーを通じた鎌倉の魅力の発信 <<222万円>>



若宮大路

#### ◆この施策にかかる経費( )は前年度データ

**3,319万円** ※全体予算に占める割合  
(4,180万円) ……**0.03%** (0.04%)

この施策にかかる経費を市民一人あたりに換算した額 鎌倉市の負担を市民一人あたりに換算した額	<b>193円</b> (243円)
この施策に従事する職員数 (職員給与費は経費に含む。)	<b>3.0人</b> (4.0人)

### あなたの回答

(それぞれ一つの番号に○をつけてください)

仕事の効果	1	必要以上の効果
	2	ちょうどよい
	3	効果不十分
	4	取組を知らない・わからない
お金の使い方	1	使いすぎ
	2	ちょうどよい
	3	足りない
今後の進め方	1	もっと力を入れるべき
	2	現状のままで満足
	3	力をいれなくてよい

4を選んだ方  
↓  
「お金の進め方」の項目は「今後の進め方」の項目は「」

## 集計結果

(1) 仕事の効果 ( ) 内は回答数

	必要以上の効果	ちょうどよい	効果不十分	取組を知らない・わからない	無回答	全体
R1	<b>4.6%</b> (29)	<b>45.3%</b> (283)	<b>18.9%</b> (118)	<b>26.6%</b> (166)	<b>4.6%</b> (29)	100.0% (625)
H30(参考)	4.1% (25)	42.1% (255)	24.0% (145)	26.3% (159)	3.5% (21)	100.0% (605)

「仕事の効果」のうち、「ちょうどよい」の回答が45.3%と最も多く、続いて「取組を知らない・わからない」が26.6%となっています。

(2) お金の使い方 ( ) 内は回答数

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない	無回答	全体
R1	<b>10.4%</b> (65)	<b>45.9%</b> (287)	<b>10.9%</b> (68)	<b>32.8%</b> (205)	100.0% (625)
H30(参考)	12.7% (77)	43.1% (261)	12.7% (77)	31.4% (190)	100.0% (605)

「お金の使い方」のうち、「ちょうどよい」の回答が45.9%と最も多く、続いて「足りない」が10.9%でした。

(3) 仕事の効果×お金の使い方

取組を知らない・わからない 26.6%

	仕事の効果	お金の使い方		
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果		2.7%	1.3%	0.5%
ちょうどよい		2.2%	<b>41.1%</b>	1.0%
効果不十分		5.4%	3.5%	9.4%

令和元年度

取組を知らない・わからない 26.3%

	仕事の効果	お金の使い方		
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果		3.1%	0.7%	0.3%
ちょうどよい		1.0%	<b>39.0%</b>	0.7%
効果不十分		8.6%	3.5%	11.7%

平成30年度

「仕事の効果」と「お金の使い方」の組み合わせでは、「仕事の効果」が「ちょうどよい」、かつ「お金の使い方」が「ちょうどよい」の一番バランスがとれている回答の割合が41.4%で、この組み合わせの回答の平均値(43.3%)より低い数値となっています。

(4) 今後の進め方 ( ) 内は回答数

	もっと力を入れるべき	現状のままでよい	力をいれなくてよい	無回答	全体
R1	<b>15.8%</b> (99)	<b>42.6%</b> (266)	<b>8.6%</b> (54)	<b>33.0%</b> (206)	100.0% (625)
H30(参考)	17.5% (106)	39.5% (239)	11.7% (71)	31.2% (189)	100.0% (605)

今後の進め方については、「現状のままでよい」が42.6%、「もっと力を入れるべき」が15.8%でした。